

資格課程の手びき2026

和光大学の資格課程 P 2

教職課程

教職課程参照ページフローチャート P 9

共通事項 P 10

幼稚園課程 P 15

小学校課程 P 29

中学校・高等学校課程 P 37

授業一覧表 P 43

諸資格課程

諸資格課程専用科目(8000番台科目)
授業一覧表 P 73

図書館司書課程 P 74

学校図書館司書教諭課程 P 76

社会教育主事課程 P 78

博物館学芸員課程 P 84

資格課程の手びき2026

異質力で、輝く。》》

▲▲▲和光大学

資格課程の概要

本学の教育課程を構成する授業科目は、共通教養科目、外国語科目、および専門科目に分けられ、それぞれ卒業に必要な単位数が定められており、それを修得すれば、学士の学位が得られることになっています。このようにして学士の学位を得た者が、さらにさまざまな資格を取得できる制度があります。本学では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校教員、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、博物館学芸員になるために必要な教育課程を置いており、これらを一括して資格課程と呼んでいます。各々の課程に定められた必要な授業科目の単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位取得証明書を取得できるようになっています。資格課程の履修を希望する者は、次に掲げている本学の資格課程の特色について理解したうえで、意欲的で充実した学修に励んでください。

(1) 資格課程の特色

本学の創設者である初代学長梅根悟は、開学時の学長告辞において、ヨーロッパ大学史を引用しながら、次のような見解を示しています（1966年）。

「ユニヴァーシティは諸君も知っているように、今から七、八百年前にイタリーのポロニアや、フランスのパリに生れたものであり、その頃そこに群がり集まった多くの学者と学生の群れに始まるものでありますが、その当時は町のあちらこちらで学者たちが講義を開いており、学生たちはめいめい思い思いに自分の聴きたいと思う学者の講義をきいておりました。卒業だの、単位制度だの、試験だのというものもなく、学生は自分の聴きたいだけの講義を聴いて、何年かたって、もう聴く必要を感じず講義はなくなったと思えば、そこで学習を打ち切って、その町を去ったり、そこで職業についたりするのです。……即ち大学は基本的には、みずから学問修業に志す人たちの自発的な集団であって、その志なき者の来るべきところではないのです。しかもそれは形式的な資格や学歴を超越して、みずからの内面的な知的要求を満足させることを目的として集った人びとの集団であるべきなのです。」

「しかしその内に学位という制度が生まれ、一定の知的職業につくためには何々学士、何々博士という学位を持っていなければならないことになりました。そうなるこの学位には社会的特権がついておりますから、学位を取るためには一定の学問分野について十分に勉強した上で、厳格な試験を受けてパスしなければならないという制度が生れたのです。これは当然のことです。そしてこの学位試験はその頃のギルドの親方試験が一般にそうであったように、極めて厳格なものでありましたから、なかなか容易には取れないものであり、中には10年も20年も学生生活をつづけて、なお学位試験にパスしない学生がいましたし、途中で断念する者も少なくありませんでした。中国の昔の科学に老学生、老受験生がいたのと同じであります。この資格試験のためのきびしい勉強の場としての大学、それが大学の第二の側面となったのです。」

「諸君の中には本学に学ぶことによって一定の資格を得ようとしている人が多いことと思います。文学士、経済学士の称号を取りたいと思う人、これは大部分の人がそうでしょうし、教員免許状その他の資格を得たいと思っている人も多いでしょう。これは即ち前に申しました第二の側面ですが本学では決して資格の安売りはしない方針であります。このような資格はそれぞれ社会的な特権を意味しますから、その付与は当然厳正に行われなければなりません。医者になるためには大学に6年以上在学して、医学士の称号を得ていなければなりません。もし大学が医学士の称号をいいかげんに与え、ろくすっぽ勉強もしていない学生にどしどし単位を与えたとしたら、どうでしょうか、その被害をこうむるのは患者であり、国民でありましょう。だから医師になるための基礎資格を与える権限をもっている大学が、医学士になるための学習の指導や単位の認定に当たって厳格であるのは、まさに国民の大学に対する要求であると言っているのです。」

本学の資格課程は、開学時の入学登録学生にむけた学長告辞の方針が貫かれた教育課程となるように配慮されており、これがこの課程の特色といえるでしょう。

(2) 資格課程の理念 ・教育の目標

和光学園は、1933年に大正自由教育運動の精神を継承する和光学園小学校を母体として創設された。以来、教育の歩みを止めることなく、現在は幼稚園から大学院までを網羅する一貫した教育体制を備えた総合学園へと発展を遂げている。

和光大学は、民間教育研究会であるコア・カリキュラム連盟（現・日本生活教育連盟）の梅根悟を初代学長に迎え、1966年に設立された。梅根は、この新しい大学のビジョンを「自由で創造的で、単なる目先の実利実用への直接の功利性にのみ局蹐（きょくせき）しない基礎的な研究が、活発に共同して行われている場」であると語っている。

その教育方針は【少人数教育】、【総合的知性・教養の涵養】、【総合性と専門性の統一】、【自由な研究と創造の場】を柱として、開学以来堅持している。

和光大学の教育が目指す人間像は、「哲学する生活者」という言葉に表されている。これは、自らの生活の現実や体験から出発し、現実世界に存在する問題や事象を諸科学の世界に結びつけ、置き換えて、その原理・法則を解き明かし、自らの手で現実の生活をより望ましい姿に変えていこうとする理念的な人間像である。

そして、資格課程が目指す専門職像とは、専門的職業人としての知見を自らのものとしつつ、よりよく生きるための深い教養と豊かな人間性、自由な精神を備えた人材である。こうした資質に基づき、総合的な人間観と教育観の上に立って、現実の子どもや市民の生活にひきつけながら、学校や地域社会における学習活動や環境を自らの責任においてつくりかえていくことができる教育・文化の担い手の育成を目指している。

教育や文化に関わる専門職は、人びとの精神的な成長や生活の充実に深く関与する存在である。それゆえ、和光大学では単に知識の伝達や資料の扱いに長けた実務家を養成することだけを目的とはしていない。対象となる人間とその周囲を取り巻く生活現実には実に多様である。その内面に踏み込む支援を行うことができる専門職を育成するためには、【総合的知性・教養の涵養】、【総合性と専門性の統一】こそ必要と考えており、そのために多種多様な授業科目と、学生の主体的な学習と研究の自由を保障する履修システムが準備されている。

他方で、学生にとって教育という営為は、往々にして学問的関心より実践的関心が先にあり、そこから理論的探究に展開するものであることから、常に眼前の諸課題に対してどうしたらよりよい実践が可能となるのか、思索を深めさせることを重視している。

また、資格課程に限らず全学的に、少人数の集団における教員と学生、あるいは学生同士の人間的な交流を基に、狭い専門にとらわれない「現実世界・生活に根ざした総合的知性の育成」が図られている。これは、単に多様な分野を広く教える・学ぶことだけを指すものではなく、学生自身の諸問題を「問題」として認識し、議論や体験によってそれを深め、解決の方途を探求し、反省的に思考できる人間の形成を目指している。

本学の資格課程は、開学以来、社会に責任のある資格取得を目的とする教育課程として厳格な姿勢を示してきた。その根底には、建学の精神として継承されてきた初代学長梅根悟の教育方針があり、総合的知性・教養を備えつつ、専門性を高めた「哲学する生活者」としての学校教育・社会教育専門職の養成を目標としている。

(3) 和光大学で取得できる免許状及び資格の種類とその概要

《教育職員》

高等学校以下の学校の教諭になるためには、教育職員免許法に基づく教員免許状が必要です。教育職員免許状の取得のためには、卒業に必要な単位の他に、教職課程の諸科目の単位を修得しなければなりません。本学では資格課程の受講申請は2年次から（心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生による教職課程《幼稚園》を除く）となっていますが、教科に関する科目（コード番号が8000番台以外の科目など）は1年次でも履修できるものもあります。教育職員免許状取得希望者は、綿密な履修計画を立てて取り組んでください。なお、各学科別に取得できる教科が異なるので、1年次の時から下記の取得できる免許・資格を参照してください。

所属学科以外の免許状の取得については、教学支援課窓口にご相談してください。

各学科で開設している免許・資格の種類

- * 幼稚園・小学校教諭一種免許状と中学校・高等学校教諭一種免許状の同時履修となる受講申請はできません。
- * 保育士資格については、心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程のみ取得可能です。詳細は「学修の手びき」心理教育学科のページを参照してください。また幼児教育課程の学生は幼稚園教諭一種免許状の受講申請を1年次に行います。

(2021年度以降入学生対象)

学部学科		免許状の種類 (教科)	幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状(教科)	高等学校教諭 一種免許状(教科)
現代人間学部	心理教育学科心理学専修					
	心理教育学科子ども教育専修	○	○			
	人間科学科				保健体育	保健体育
表現学部	総合文化学科				国語・英語	国語・英語
	芸術学科				美術	美術
経済経営学部	経済学科				社会	地理歴史・公民
	経営学科					商業・情報

(2019年度～2020年度入学生対象)

学部学科		免許状の種類 (教科)	幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状(教科)	高等学校教諭 一種免許状(教科)
現代人間学部	心理教育学科心理学専修					
	心理教育学科子ども教育専修	○	○			
	現代社会学科				社会	地理歴史・公民
表現学部	人間科学科				保健体育	保健体育
	総合文化学科				国語・英語	国語・英語
経済経営学部	芸術学科				美術	美術
	経済学科				社会	地理歴史・公民
	経営学科					商業・情報

(2016年度～2018年度入学生対象)

* 教学支援課にお問い合わせください。

学部学科		免許状の種類 (教科)	幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状(教科)	高等学校教諭 一種免許状(教科)
現代人間学部	心理教育学科心理学専修					
	心理教育学科子ども教育専修	○	○			
	現代社会学科				社会	地理歴史・公民
表現学部	身体環境共生学科				保健体育	保健体育
	総合文化学科				国語・英語	国語・英語
経済経営学部	芸術学科				美術	美術
	経済学科				社会	地理歴史・公民
	経営学科					商業・情報

資格課程の受講 手続き

(1) 受講申請の時期

《図書館司書》（全学部全学科共通）

図書館法の規定によって、主として公共図書館などにおいて、専門的業務をつかさどる職員に要求される資格です。

《学校図書館司書教諭》（全学部全学科共通）

小、中・高等学校の学校図書館において、専門的業務をつかさどる教諭に要求されている資格で、学校図書館法によって規定されています。なお、この資格は教育職員免許状を取得していることが条件となります。

《社会教育主事》（全学部全学科共通）

社会教育法の規定によって、学校外の青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーション活動を含む）をつかさどる専門職員となるためのものです。この課程を修了し、社会教育主事補の職歴を1年以上経て、主事に任用されるための基礎資格が得られます。

《博物館学芸員》（全学部全学科共通）

博物館法の規定によって、博物館の専門的業務に従事する職員をいいます。本学におけるこの課程を修了し、学芸員として就職するためには、各種法人、地方自治体等それぞれの博物館の設置者による採用試験に合格することが条件となります。

資格課程の受講申請は、下表の時期に受け付けます。幼稚園・小学校以外の課程は3年次以降の4月に申請することも可能ですが、2年次から順序を追って履修しないと4年次の卒業と同時に免許・資格を取得できない場合もあります。したがって免許・資格取得を目指す学生は、1年次から「資格課程の手びき」を熟読し、履修計画を立ててください。

資格課程	幼稚園課程		小学校課程
対象学生	心理教育学科子ども教育専修 幼児教育課程	左記以外の学生	全学生
申請時期	1年次4月のみ	2年次4月のみ	2年次4月のみ

資格課程	中学校課程	高等学校課程	図書館司書課程	学校図書館司書教諭課程	社会教育主事課程	博物館学芸員課程
対象学生	全学生					
申請時期	2年次以降毎年4月					

(2) 受講申請手続き のながれ

(1) オリエンテーション

資格課程の受講申請を希望する学生は、希望する課程の下記オリエンテーションに出席し、必要な説明を受けてください。

資格課程オリエンテーション

- 幼稚園・小学校課程（出席必須）：3月23日（月）
- 中学校・高等学校課程（出席必須）：3月23日（月）
- 諸資格課程（図書館司書／社会教育主事／博物館学芸員）：3月23日（月）

オリエンテーションの時間及び会場、開催方法に変更がある場合等は和光ポータルにて通知します。

【注意】幼稚園・小学校課程は、他の資格課程と異なり受講者数が定員で制限されています。3月23日（月）のオリエンテーション時に受講者を決定しますので、希望者は必ず出席してください。
なお、受講希望者数が定員数枠を超えた場合は、レポート等の方法で受講者を決定します。定員数枠を満たさなかった場合は先着順となります。

(2) 受講申請料
① 教職課程(幼稚園)

50,000円

※幼児教育課程に属する学生は保育士課程と同時申請の扱いとなるため、30,000円とします。

② 教職課程(小学校)

50,000円

※教職課程(幼稚園)と同時に申請する場合は30,000円とします。

例) 幼稚園課程と小学校課程を同時に申請する場合

50,000円(幼稚園課程) + 30,000円(小学校課程) 計80,000円

③ 教職課程
(中学校、高等学校)

(2020年度以降入学生対象)

1 教科目 30,000円

2 教科目から1教科につき 15,000円

※同じ教科の中学校・高等学校は両方申請しても1教科と換算します。

※中学校「社会」+高校「地理歴史」+高校「公民」は1教科と換算します。

例) 中学校「英語」+高校「英語」の場合: 1教科として換算

中学校「英語」+高校「美術」の場合: 2教科として換算

(2019年度以前入学生対象)

1 教科目 30,000円

2 教科目から1教科につき 15,000円

※同じ教科の中学校・高等学校は両方申請しても1教科と換算します。

※中学校「社会」+高校「地理歴史」および中学校「社会」+高校「公民」は1教科と換算します。高校「地理歴史」+高校「公民」は2教科と換算します。

例) 中学校「英語」+高校「英語」の場合: 1教科として換算

中学校「英語」+高校「美術」の場合: 2教科として換算

中学校「社会」+高校「地理歴史」+高校「公民」の場合: 2教科として換算

④ 図書館司書課程
学校図書館司書教諭課程
社会教育主事課程
博物館学芸員課程

1 課程目 15,000円

2 課程目から1課程につき 7,500円

※博物館学芸員課程は、教材費を別途3,000円徴収します。

例) 図書館司書課程+博物館学芸員課程の場合: 2課程として換算

(3) 手続き方法

下記の各受付期限内に「①資格希望登録」および「②受講申請料の納入」を行ってください。

① ②の手続きが未完了の場合は、当該年度の資格課程への申請はできません。特に幼稚園・小学校課程については翌年度以降も申請を行うことはできません。

① 資格希望登録の受付期間 3月23日(月)～4月5日(日) 23:59

P5資格課程オリエンテーションの案内にしたがい和光ポータルから登録を行ってください。

② 受講申請料の納入の締切日 4月9日(木) 13:00まで

資格希望登録をした者に、受講申請料の納入方法を和光ポータル経由で案内します。

(4) 受講上の注意

① 受講申請料は在学中及び卒業後2年間有効です。卒業後3年目以降に科目等履修生として資格課程を受講する場合は再度受講申請料を納入する必要があり、この場合の受講申請料の有効期限は納入から2年間です。

② 学内の転部転科生、再入学生について、旧学籍で受講申請し、新学籍でも受講する場合は、新学籍としての受講申請手続きが必要です。なお、受講申請料の納入は不要です。

③ 一度納入した受講申請料は一切返還しません。

④ 受講申請料未納者には、資格取得のための単位認定を行うことができません。

⑤ 中高教職課程は、中学校と高等学校両方の申請をおすすめします。自治体によっては、教員採用試験の採用枠が中学校と高等学校共通の場合があります。

(3) 受講の取消・変更

資格課程の受講を取り消す場合は、必ず教学支援課に申し出て、修得単位の今後の取扱いについて指導を受けてください。

実習参加について

(1) こども性暴力防止法の施行に伴う対応について

こども性暴力防止法の施行（2026年12月25日）により、こどもに対して教育・保育等を行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。本学学生においても、以下の通り対応が求められる可能性があります。

- ①実習を履修する学生に対して、実習を行う前に法に基づく犯罪事実確認が行われる場合があります。
- ②上記の手续を通じて特定性犯罪前科が確認された学生については、こどもに接する実習を行うことはできません。
- ③実習を行うことができない場合は、教員免許および保育士資格の取得要件を満たすことができません。

(2) 麻しん抗体の確認について

資格課程における学外での実習および介護等体験を行う予定の学生は、麻しん抗体の確認が必要です。

以下、該当するものの書類（写し）が必要になりますので、実習が終了するまで保管しておいてください。

- ・麻しんワクチン接種歴の証明：母子健康手帳の記録（医療機関証明）または接種証明書（ワクチン接種から抗体価が確実に上がるまでには時間を要しますので計画的に準備を進めてください）
- ・麻しん罹患歴あり：母子健康手帳の記録（医療機関証明）または麻しん罹患証明書
- ・麻しん抗体あり：麻しん抗体価検査結果（実習基準あり）

※いずれにも該当しない場合や根拠となる書類が無い場合は、予防接種が必要です。

（医師により予防接種不相当と診断されている場合は、個別に教学支援課窓口にご相談してください）

(3) 出席・成績・評価の扱い

教育実習、介護等体験、諸資格実習等の実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず事前に科目担当教員に申し出るとともに、実習終了後、それぞれの参加証明書（教学支援課発行）をもって科目担当教員へ連絡してください。

「実習参加証明書」を科目担当教員に提示することで、必ずしも当該日時の欠席が出席扱いとなるわけではありません。欠席の場合の評価の扱いや対応は、履修している科目の担当教員の判断によります。そのため、実習等により欠席をする場合は、直接担当教員にその旨を理由と共に伝える必要があります。

(4) 実習に必要な経費について

実習に必要な経費（交通費、給食費、資料代等）は実習生の負担とします。トラブル防止の観点から、実習先との金銭のやりとりが生じた場合には、必ず記録を残しておくようにしてください。

証明書等の交付について

「教育職員免許状取得見込証明書」およびその他の資格の取得見込証明書は次の条件を満たしている場合に限り発行します。

- ① 該当する資格の課程を受講申請済みであること。
- ② 「卒業見込証明書」の発行条件を満たしていること。
- ③ 「教育実習」の単位を修得済みであること、または当該年度に修得予定であること。
（③は教職課程のみ）

その他、必要な証明書がある場合は、教学支援課窓口にご相談してください。

科目等履修生

教職課程・保育課程

本学学部在籍中に教職課程の受講申請を行い、または、保育士課程に在籍し、免許・資格取得に取り組んでいた者が、単位・要件を満たさなかった場合、科目等履修生（教職課程履修生・保育課程履修生）制度によって、不足単位・要件となる科目を履修することができます。

本制度は学部在籍中に受講申請していない教科の履修や在籍していなかった課程の資格、他大学の卒業生による不足単位・要件を満たすための履修を目的としたものではありませんので、その場合は課程を持つ学科（心理教育学科子ども教育専修を除く）へ編入学を行い、学部生として資格取得に取り組んでください。

(1) 出願資格

《教職課程》

本学学部在籍中に教職課程（小学校・中学・高校）の受講申請を行い、免許取得に取り組んでいた者。かつ学士の学位を有している者。

《保育課程》

本学学部在籍中に教職課程（幼稚園）の受講申請を行い、または、保育士課程に在籍し、免許・資格取得に取り組んでいた者。かつ学士の学位を有している者。

※保育専修、子ども教育専修幼児教育課程以外の幼稚園課程履修生が、免許取得後に、保育士課程科目を履修することはできません。また、保育専修、子ども教育専修幼児教育課程の卒業生が、在学中に幼稚園課程の受講申請を行わなかった場合、幼稚園免許のための科目等履修をすることはできません。

諸資格課程

学士の学位を有する者は、科目等履修生として講義を履修し、本学で資格（図書館司書・学校図書館司書教諭・社会教育主事・博物館学芸員）取得に取り組むことができます。

(1) 出願資格

学士の称号を有している者、あるいは学士の学位を有している者。

各課程共通事項

(1) 履修料

1 単位につき13,000円

(2) 学生教育研究災害
保険(学研災)

保険料800円

(3) 資格課程受講申請料

- ① 新規に課程を受講する者は、受講申請料を納入してください（納入から2年間有効）。手続き方法は6ページ参照のこと。
- ② 本学卒業生で、在学中に該当する課程の受講申請料を納入していて、卒業後2年以内の者は不要です。

編入生の資格課程
の履修

校内の転部転科生、再入学生および学外からの編入生で、資格課程の履修を希望する場合は、必ず**教学支援課で履修指導**を受けてください。他大学において、教職課程およびその他の資格課程を受講している場合は、「単位修得証明書」および「学力に関する証明書」を教学支援課に持参してください。

大学院生の資格課
程の履修

大学院生として、新規に資格課程の受講をすることはできません。ただし、各資格取得に必要な単位を取り残して大学院に進む者は、「科目等履修生」として在籍することによってこれを取ることができます。この場合、**科目等履修生**として履修できる科目の上限は3科目（半期科目は0.5科目と数える）であることに注意してください。

資格課程
サポートセンター

本学では2019年4月から資格課程サポートセンター（G107）を開設し、教職・諸資格（司書、社会教育主事、博物館学芸員）の取得を目指す学生の学びのサポートを行っています。

資格課程サポートセンターでは、学校現場や教育行政に豊富な知識と経験をもった教職アドバイザーが在学学生・卒業生の指導・相談にあたります。また、採用試験対策の各種講座や、現役の教員として活躍する本学卒業生との交流イベントなどを開催しています。

なお、教職課程（幼稚園）の学生に対しては、保育実習センター（G105）が開設されており、資料の提供、スタッフによる在学学生の指導・相談にあたっています。

センターでの学び①

個人利用（自主学習、グループ学習）

自習はもちろん、自主ゼミを組んで勉強することもできます。諸資格の資料も閲覧できます。

センターでの学び②

相談利用（教職アドバイザーによる相談・指導）

経験豊かな先生による相談、面接・小論文・模擬授業指導等が受けられます。

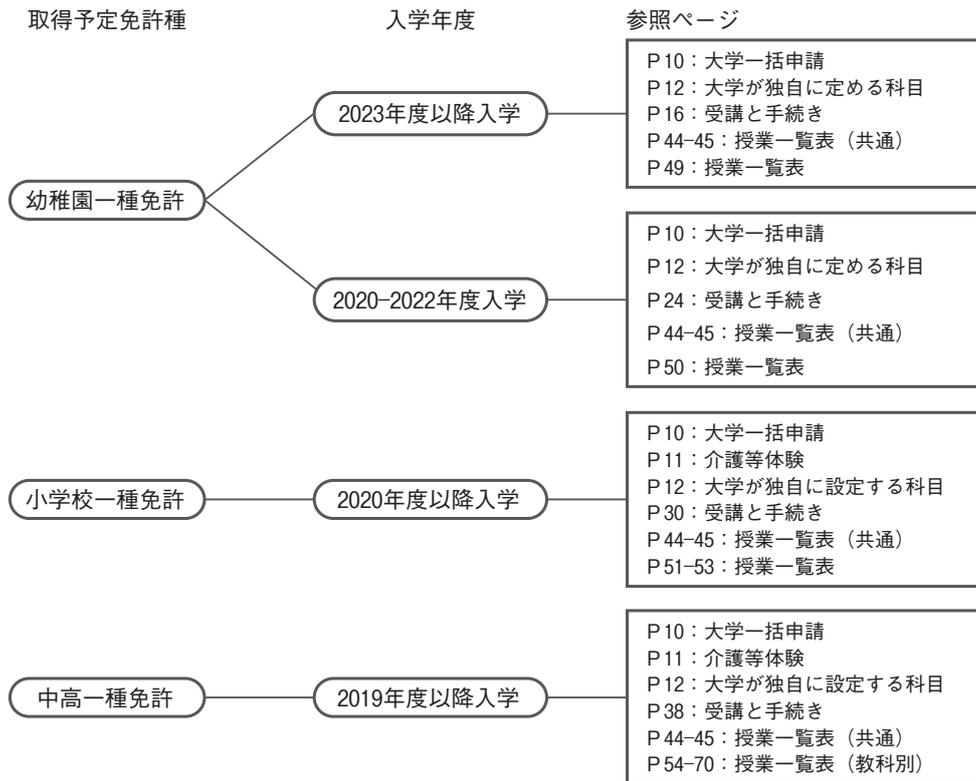


予約ページは左のQRコードを読み込んでね☆
和光ポータル「お気に入りリンク集」からもアクセスできるよ！

教職課程

教職課程参照ページフローチャート

取得する免許種と入学年度によって参照するページが異なります。
フローチャートに沿って当該ページを必ずよく読んで理解して履修してください。



教職課程共通事項

I. 教育職員免許状 「大学一括申請」

教職課程の所定の単位を修得した授与資格者は、授与権者である都道府県教育委員会へ授与手続きをすることにより免許状が交付されます。

本学の場合は、東京都教育委員会から一括して授与されるので、授与希望者は「教員免許状大学一括申請」説明会に参加し、「教育職員免許状申請書（大学一括申請用）」の確認・署名・手数料納付等の手続きをとってください。

なお、この説明会に参加しなかった者は、大学一括申請の対象外となり、都道府県教育委員会へ個人で申請をすることになります。また、下記の場合も個人申請となります。

- ①他大学での「科目等履修生」の単位を使って免許状を申請する場合
- ②免許法上最低修得単位数を満たす場合

※和光大学での教職課程の教員免許取得に必要な所定の単位数には達していないものの、免許法上最低修得単位数を満たしている場合は、個人申請して免許状を取得することになります。

教育職員免許状大学一括申請に関するスケジュール

《10月頃 大学一括申請説明会》…持ち物：黒のボールペン、シャチハタでない印鑑

*申請手数料は別途納入のこと

宣誓書（大学一括申請用）の署名
教育職員免許状申請書の記載・*申請手数料(3,300円)の納入

(※金額は2025年度現行)



《2月末～3月初旬掲示発表（卒業判定結果発表後）》

教 職 判 定 結 果 発 表



《3月上旬》

東京都教育委員会へ免許状申請



《3月下旬》（教学支援課で交付）

免 許 状 交 付

(注) 免許状の再交付（申請した教育委員会にて手続き）

東京都では、教育職員免許状は、単なる紛失を理由としては再交付されないので、自分の免許状の記号番号・授与年月日などは、必ず控えておいてください。再交付が認められるのは、火災・水害等の自然災害により亡失し、市・区・町・村長などの証明のある場合に限られています。

教育職員免許状 について

1. 効力

教育職員免許状は、すべての都道府県において効力をもちます。国立私立学校の別はありません。

2. 欠格条項（教育職員免許法第5条第1項から抜粋）

- ・拘禁刑以上の刑に処せられた者
- ・免許状取り上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- ・国立又は公立の学校の教員であって懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

3. 授与権者

文部科学大臣の監督のもとに、免許状授与の権限を国から委任された機関で、都道府県教育委員会がそれに当たります。

Ⅱ. 介護等体験 (小・中学校のみ)

介護等の体験を義務付ける法律が1997年6月に成立し、小・中学校の教員免許状を取得するためには、1998年度以降入学者から、社会福祉施設および特別支援学校（盲・ろう・養護学校）で計7日間の介護等体験を行うことが必要となりました。

介護等体験を行うには、①介護等体験説明会に出席し、②大学所定の申込書に必要事項を記入し、③大学を通して、社会福祉施設および教育委員会に申請します。したがって、大学で行う説明会に出席しないと介護等体験を行うことができません。

また、④社会福祉施設および特別支援学校のオリエンテーションを受けることが必須です。このオリエンテーションに参加しない場合は、介護等体験の派遣を認めません。

下記のスケジュールを参考に、日時や詳細については、資格課程掲示板および和光ポータルで連絡します。

介護等体験のスケジュール

時 期	内 容
体験前年度11月	介護等体験説明会・介護等体験申請料納入（次年度4月から介護等体験を行う予定の学生は必ず参加してください）
体験前年度3月	オリエンテーション（社会福祉施設）を受ける
体験年度4月	健康診断を受ける
5月	オリエンテーション（特別支援学校）を受ける
6月	介護等体験受入決定通知
6月～翌年3月	介護等体験実施

介護等体験を必要としな
い場合は

* 身体障害者手帳に、障がいの程度が1級から6級であるとして記載がある場合には、介護等体験は必要ではありません。この場合、身体障害者手帳を持参して、教学支援課で確認をとってください。なお、本人の希望がある場合は、「本人の身体の状況、受入施設の状況等を総合的に勘案しつつ、可能な限りその意思を尊重することが望ましい」とされているので、介護等体験を行うことも可能です。

体験期間中の授業欠席

* 体験期間が授業期間と重複する場合には、体験実施後に「介護等体験参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を教学支援課で交付します。必要な者は手続きをしてください。ただし、その場合も、必ず**事前**に該当する授業の担当教員に介護等体験に行く旨を申し出てください（出席等の扱いについては、P7「実習参加について（3）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(1) 手続き方法

①2026年度介護等体験

2026年度に介護等体験を実施できる学生は、2025年度中の説明会に出席し、手続きを完了した者のみです。その中で、資格課程の受講申請をしていない者は、3月の「資格課程オリエンテーション」に参加の上、受講申請をしてください。

②2027年度介護等体験

2027年度に介護等体験を希望する学生は、2026年11月頃に実施する介護等体験説明会に出席し、手続きをしてください。1年次生など、この説明会の時点では資格課程の受講申請をしていない学生も、2026年度の介護等体験の手続きは可能です。その場合、2027年4月に資格課程の受講申請が必要です。

(2) 介護等体験申請料

15,000円（保険料及び体験料を含む）

* 一度納入された申請料は一切返還しません。

Ⅲ. 大学が独自に 設定する科目

教育職員免許状を取得するために、「大学が独自に設定する科目」の履修方法について十分に理解して履修計画を立ててください。

履修方法について不明な点は教学支援課で確認してください。

2019年度以降入学生

2019年度以降入学生は「大学が独自に設定する科目」について下記のように履修をしてください。

①幼稚園課程

〈1〉	「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の修得単位数	(マイナス)	16単位 (免許法上最低修得単位数)
〈2〉	「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数	(マイナス)	21単位 (免許法上最低修得単位数)
〈3〉	「大学が独自に設定する科目」の修得単位数		

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が14単位以上になるように修得してください。

②小学校課程

〈1〉	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数	(マイナス)	30単位 (免許法上最低修得単位数)
〈2〉	「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数	(マイナス)	27単位 (免許法上最低修得単位数)
〈3〉	「大学が独自に設定する科目」の修得単位数		

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が2単位以上になるように修得してください。

③中学校・高等学校課程

〈1〉	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数	(マイナス)	中学28単位、高校24単位 (免許法上最低修得単位数)
〈2〉	「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数	(マイナス)	中学27単位、高校23単位 (免許法上最低修得単位数)
〈3〉	「大学が独自に設定する科目」の修得単位数		※中学校は「福祉介護論」を必ず履修してください。

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が中学4単位以上、高校12単位以上になるように修得してください。

Ⅳ. 旧課程と新課程の適用について (2018年度以前入学生対象)

「教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令（平成29年文部科学省令第41号）」が2017年11月17日に公布され、2019（平成31）年4月1日から施行されました。これに伴い、施行日（2019年4月1日）以後は、本学でも改正後の教職課程（以下、新課程）を開設しました。

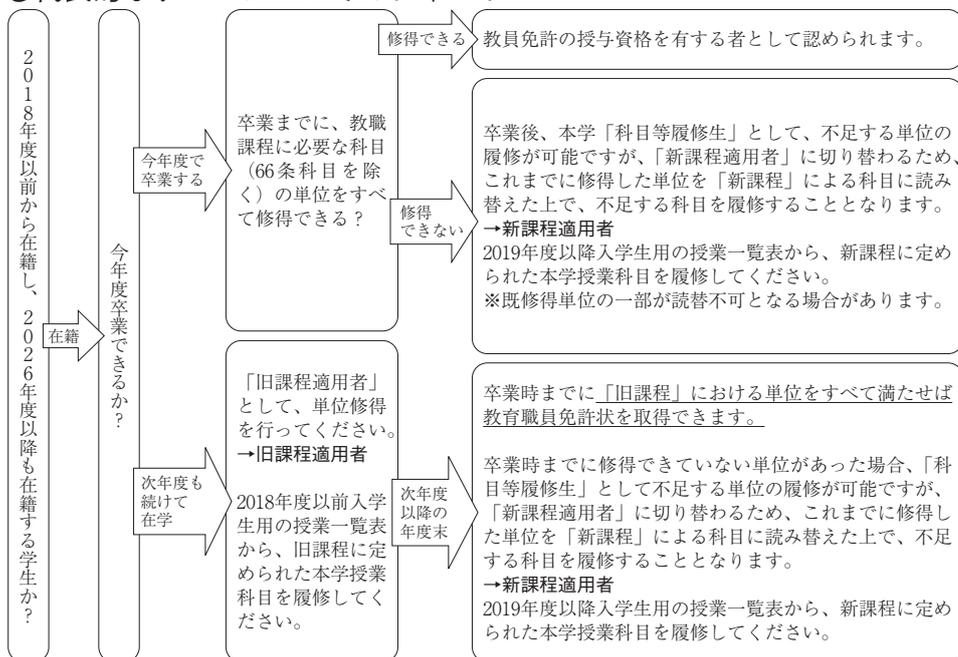
原則として、2018年度以前入学生（一部を除きます。下記の「※」を確認してください）は、旧課程が適用され、旧課程に定められた科目の単位を修得することで教育職員免許状を取得することができます。履修方法は、2018年度以前入学生《2018年度から2019年度以降へ継続した学籍で大学に在学する者の場合（2018年度以前入学生）》の授業一覧表を参照することになります。2018年度以前入学生は最長在学年限までに単位要件を満たすことができないため掲載を省略しています。2018年度以前入学生で新たに教職課程の受講を希望する学生は、別途、教学支援課に問い合わせてください。

※ただし2018年度以前入学生でも、2018年度から2019年度以降へ継続した学籍のない者（下記に該当する者）の場合、旧課程履修の有無に関わらず新課程が適用されますので注意してください。

施行日（2019年4月1日）以降に、 ・再入学した者 ・科目等履修生として在籍している者 ※編入学生については、教学支援課へお問い合わせください	} 新課程適用者となります
---	----------------------

新課程適用者の履修方法は2019年度以降入学生《2018年度から2019年度以降へ継続した学籍のない者の場合（再入学生、科目等履修生）》の該当するページおよび授業一覧表を参照してください。

●代表的なケースについてのチャート



※旧課程適用者から新課程適用者となる場合、不足単位について必ず教学支援課資格係まで問い合わせてください。学力に関する証明書を発行し、不足単位について確認が必要です。

教職課程(幼稚園)2023年度以降入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程生 登録手続き・教育実習	子ども教育専修幼児教育課程生以外 登録手続き・教育実習	【参考】保育士課程関係
1 年次	4月 子ども教育専修新入生学科説明会 教職課程(幼稚園)申請 受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修カルテ入力 履修登録 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する 学校インターンシップDを履修することが望ましい	1年次生向け資格課程オリエンテーション 履修登録 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する	子ども教育専修新入生学科説明会 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習開拓条件を満たすよう履修する
	3月	新2年次生向け資格課程オリエンテーション	
2 年次	4月 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習開拓条件を満たすよう履修する 保育インターンシップを履修することが望ましい	受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修登録 ☆教育実習開拓条件を満たすよう履修する 学校インターンシップDを履修することが望ましい 履修カルテ入力	保育実習1開拓有資格者発表 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習参加条件を満たすよう履修する 保育実習1(施設)報告会 保育実習1開拓説明会 保育実習1希望調査票提出
	10月 教育実習園開拓説明会	教育実習園開拓説明会	保育実習2・3開拓説明会
	3月 教育実習園開拓有資格者発表	教育実習園開拓有資格者発表	保育実習1参加有資格者発表
3 年次	4月 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する 幼児教育課程所属学生以外は保育インターンシップを履修することが望ましい 教育実習希望調査票提出		大学の健康診断を受診 保育実習1(施設)報告会 保育実習2・3希望調査票提出 保育実習1(保育所)事前指導
	5月 8月 9月		保育実習1(保育所)実施 保育実習1(保育所)事後指導 保育実習1(施設)事前指導
	11月 教育実習事前・事後指導(初等)第1回指導 (3・4年次生合同実習報告会)		保育実習1(保育所)実習報告会
	2月 3月 教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(初等)第2回指導(3月下旬)		保育実習1(施設)実施 保育実習1(施設)事後指導
4 年次	4月 履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出 教育実習事前・事後指導(初等)第3回指導		大学の健康診断を受診 保育実習2・3参加有資格者発表 保育実習2・3事前指導 保育実習1(施設)報告会
	5月 6月 7月 8月 9月 教職・保育実践演習(小・幼・保)		保育実習2(保育所)または保育実習3(施設)実施 保育実習2・3事後指導
	10月 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う		保育士登録説明会 登録手続きを行う
	11月 教育実習事前・事後指導(初等)第4回指導 (3・4年次生合同実習報告会)		3・4年次生合同実習報告会
	12月 教職課程判定対象者揭示		
	2月 教職課程判定結果発表		保育士資格判定結果発表
	3月 教育職員免許状取得		

※小学校・幼稚園教職課程をあわせて受講する学生は、上記とは異なるスケジュールで免許取得を目指します。
担当教員の指示に従ってください。

1. 教職課程(幼稚園)の受講と手続き

履修の方法

幼稚園教員免許課程は、次の1～3の受講パターンがあり、それぞれ履修の方法が一部異なります。

1. 保育士課程受講者があわせて幼稚園課程を受講する場合
(現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみ)
2. 小学校教職課程受講者があわせて幼稚園課程を受講する場合
3. 幼稚園課程のみ受講する場合

1の場合は、1、2年次に資格課程の専門科目の大部分の履修が予定されているため、1年次に保育士課程と幼稚園課程の受講申請を済ませ、目的的な養成教育を受けることになります。

2の場合は、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次に申請します。幼・小課程共通開設科目がいくつかありますので、早めの履修を勧めます。1年次から計画的に履修を進めましょう。

3の場合も、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次に申請します。

3つの場合とも、資格取得のための最低必修単位数は同じですので、次ページをよく見て計画的に履修を進めましょう。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照

次ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

- ・ 修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。
- ・ 前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

教職課程(幼稚園)を受講している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援課で確認してください。

単位の修得

(1) 単位の見方

(2) 履修に関する注意事項

2023年度以降入学生対象

教育職員免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数

教育職員免許状(幼稚園一種)を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①(基礎資格)及び②~⑤(最低修得単位数)それぞれの条件を満たすことが必要です。

- ①基礎資格…学士の学位を有すること(学部を卒業することによって得られます)
- ②領域及び保育内容の指導法に関する科目※2026年度以降入学生用(→詳細はP48参照)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
領域に関する専門的事項	健康	16	子どもと健康	1	
	人間関係		子どもと人間関係	1	
	環境		子どもと環境	1	
	言葉		子どもとことば	1	
	表現		子どもと音楽表現	1	
音楽表現1				1	
音楽表現2				1	
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			子どもと造形表現	1	
			保育内容(健康)	2	
			保育内容(人間関係)	2	
			保育内容(生活と環境)	2	
			保育内容(ことば)	2	
			保育内容(表現)	2	
上記2つの事項を合わせた内容に係る科目			保育内容総論	1	
			本学での修得単位数	17	2

- ③教育の基礎的理解に関する科目等※2026年度以降入学生用(→詳細はP48参照)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	保育原理	2	
			保育者・教師論	2	
			初等教育の制度と社会	2	
			初等教育心理学 発達心理学	2	2
			特別なニーズのある乳幼児への保育と教育	2	
			保育・教育カリキュラム論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)	2	
			子ども理解と保育・教育相談	1	
			初等教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(初等) 教育実習(初等)	1 4	
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習(小・幼・保)	2	
計		21	本学での修得単位数	24	2

※「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」の内容は、子ども理解と保育・教育相談に含まれています。

②領域及び保育内容の指導法に関する科目※2023～2025年度入学生用（→詳細はP49参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
領域に関する専門的事項	健康	16	子どもと健康	1	
	人間関係		子どもと人間関係	1	
	環境		子どもと環境	1	
	言葉		子どもとことば	1	
	表現		子どもと音楽表現	2	
音楽表現1				1	
	音楽表現2			1	
	子どもと造形表現		2		
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容（健康）		2		
	保育内容（人間関係）		2		
	保育内容（生活と環境）		2		
	保育内容（ことば）		2		
	保育内容（表現）		2		
	保育内容総論		2		
上記2つの事項を合わせた内容に係る科目					
本学での修得単位数			20	2	

③教育の基礎的理解に関する科目等※2023～2025年度入学生用（→詳細はP49参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） 	10	保育原理	2	
			保育者論	2	
			初等教育の制度と社会	2	
			初等教育心理学 発達心理学	2	2
			特別なニーズのある乳幼児への保育と教育	2	
			保育カリキュラム論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 	4	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）	2	
			子ども理解と保育・教育相談	2	
			初等教育相談		2
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（初等） 教育実習（初等）	1 4	
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習（小・幼・保）	2	
計		21	本学での修得単位数	23	4

※「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」の内容は、「子ども理解と保育・教育相談」に含まれています。

④大学が独自に設定する科目※2023～2026年度入学生共通
(→詳細は2023～2025年度入学生はP 49参照/2026年度以降入学生はP 48参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
14	14

- 〈1〉 = 「②領域及び保育内容の指導法に関する科目」の修得単位数 ^(マイナ) 16単位 (免許法上最低修得単位数)
 〈2〉 = 「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数 ^(マイナ) 21単位 (免許法上最低修得単位数)
 〈3〉 = 「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数
 ※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 が14単位以上になるように修得してください。

⑤免許法施行規則第66条に定める科目
(66条科目→詳細はP 44参照)

免許法施行規則に定める科目	免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
日本国憲法	2	2
体育	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	—
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 情報機器の操作		2

教育実習

教育実習は、本学が幼稚園に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

※小学校の教職課程をあわせて履修している者は教員・教学支援課の指導に従うこと。

(1)教育実習園開拓の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習園の開拓を行う必要があります。実習園の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

【2023～2025年度入学生】

- ① 3年次以上であること。
- ② 「保育原理」・「発達心理学」・「初等教育心理学」・「初等教育方法 (情報通信技術の活用含む)」・「保育内容総論」・「保育者論」のうち 8 単位以上を修得済みであること。
- ③ 開拓年度中に②の未修得単位を修得見込みであること。

【2026年度以降入学生】

- ① 3年次以上であること。
- ② 「保育原理」・「発達心理学」・「初等教育心理学」・「初等教育方法 (情報通信技術の活用含む)」・「保育内容総論」・「保育者・教師論」のうち 4 科目以上を修得済みであること。
- ③ 開拓年度中に②の未修得科目を修得見込みであること。

(2)教育実習園の開拓

実際の実習園開拓の方法は実習園の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず 2 年次10月の「開拓説明会」に参加をし、2～3月に複数の園を見学し、検討の上、3年次5月に希望調査票を提出してください。

(3)教育実習園の決定

実習園の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導 (初等)」の第 2 回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立園での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定園あるいは実習日程等については、変更になる場合もありますので、必ず、本人が確認してください。

(4) 教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習園を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

【2023～2025年度入学生】

- ① 「保育原理」・「発達心理学」・「初等教育心理学」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）」・「保育内容総論」・「保育者論」・「子ども理解と保育・教育相談」・「保育カリキュラム論」のうち14単位以上を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導に全て参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

【2026年度以降入学生】

- ① 「保育原理」・「発達心理学」・「初等教育心理学」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）」・「保育内容総論」・「保育者・教師論」・「子ども理解と保育・教育相談」・「保育・教育カリキュラム論」のうち7科目以上を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導に全て参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導（初等）」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習（初等）」「教職・保育実践演習（小・幼・保）」とともに実習年度に行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導（初等）」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習園を訪問し、指導することになっています。そのため、実習の具体的計画（特に責任実習担当日時）が決定したときには、必ず訪問指導担当教員および保育実習センターに連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、その都度指示に従って忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習園との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は教学支援課で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援課で手続きを行ってください（扱いについてはP7「実習参加について（3）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習園に対してお礼状を出してください。

また、実習報告書および教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず保育実習センターに提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習（初等）」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」の第4回指導では、実習報告会を行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導（初等）」の単位修得ができないため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習園が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ園にとっては、計画した年間の教育課程、園運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りにより費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等やむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援課へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 領域及び保育内容の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
 - A. 認められます。

- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
 - A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。従って、例えば小学校課程の「教育原理」を中高課程の「教育原理」の単位に流用することはできません。双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。

- ◆Q 3. 「スポーツ実技」「子どもの生活と英語」の単位は、共通教養・外国語科目に数えられますか？
 - A. 数えられません。これらは幼稚園・小学校の教職課程および保育士課程に定められた教養科目で、本学の共通教養・外国語科目ではありません。従って、卒業のためには共通教養・外国語科目は別に履修する必要があります。

- ◆Q 4. 幼児教育課程以外の学生は、教職課程の履修は2年次から始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
 - A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(幼稚園)2020年度～2022年度入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程生 登録手続き・教育実習	子ども教育専修幼児教育課程生以外 登録手続き・教育実習	【参考】保育士課程関係
1 年次	4月 子ども教育専修新入生学科説明会 教職課程(幼稚園)申請 受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修カルテ入力 履修登録 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する 学校インターンシップDを履修することが望ましい	1年次生向け資格課程オリエンテーション 履修登録 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する	子ども教育専修新入生学科説明会 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習開拓条件を満たすよう履修する
	3月	新2年次生向け資格課程オリエンテーション	
2 年次	4月 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習開拓条件を満たすよう履修する 保育インターンシップを履修することが望ましい	受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修登録 ☆教育実習開拓条件を満たすよう履修する 学校インターンシップDを履修することが望ましい 履修カルテ入力	保育実習1開拓有資格者発表 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習参加条件を満たすよう履修する 保育実習1(施設)報告会 保育実習1開拓説明会 保育実習1希望調査票提出
	10月 教育実習開拓説明会	教育実習開拓説明会	保育実習2・3開拓説明会
	3月 教育実習開拓有資格者発表	教育実習開拓有資格者発表	保育実習1参加有資格者発表
3 年次	4月 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する 幼児教育課程所属学生以外は保育インターンシップを履修することが望ましい 教育実習希望調査票提出		大学の健康診断を受診 保育実習1(施設)報告会 保育実習2・3希望調査票提出 保育実習1(保育所)事前指導
	5月		
	8月		保育実習1(保育所)実施 保育実習1(保育所)事後指導 保育実習1(施設)事前指導
	9月		
	11月 教育実習事前・事後指導(初等)第1回指導 (3・4年次生合同実習報告会)		保育実習1(保育所)実習報告会
2月		保育実習1(施設)実施 保育実習1(施設)事後指導	
3月 教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(初等)第2回指導(3月下旬)			
4 年次	4月 履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出 教育実習事前・事後指導(初等)第3回指導		大学の健康診断を受診 保育実習2・3参加有資格者発表 保育実習2・3事前指導 保育実習1(施設)報告会
	5月		
	6月 教育実習実施		
	7月		
	8月		
	9月 教職・保育実践演習(小・幼・保)		保育実習2(保育所)または保育実習3(施設)実施 保育実習2・3事後指導
	10月 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う		保育士登録説明会 登録手続きを行う
	11月 教育実習事前・事後指導(初等)第4回指導 (3・4年次生合同実習報告会)		3・4年次生合同実習報告会
	12月 教職課程判定対象者揭示		
	2月 教職課程判定結果発表		保育士資格判定結果発表
	3月 教育職員免許状取得		

※小学校・幼稚園教職課程をあわせて受講する学生は、上記とは異なるスケジュールで免許取得を目指します。
担当教員の指示に従ってください。

1. 教職課程(幼稚園)の受講と手続き

履修の方法

幼稚園教員免許課程は、次の1～3の受講パターンがあり、それぞれ履修の方法が一部異なります。

1. 保育士課程受講者があわせて幼稚園課程を受講する場合
(現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみ)
2. 小学校教職課程受講者があわせて幼稚園課程を受講する場合
3. 幼稚園課程のみ受講する場合

1の場合は、1、2年次に資格課程の専門科目の大部分の履修が予定されているため、1年次に保育士課程と幼稚園課程の受講申請を済ませ、目的的な養成教育を受けることになります。

2の場合は、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次に申請します。幼・小課程共通開設科目がいくつかありますので、早めの履修を勧めます。1年次から計画的に履修を進めましょう。

3の場合も、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次に申請します。

3つの場合とも、資格取得のための最低必修単位数は同じですので、次ページをよく見て計画的に履修を進めましょう。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照

次ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

- ・ 修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。
- ・ 前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

教職課程(幼稚園)を受講している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援課で確認してください。

単位の修得

(1) 単位の見方

(2) 履修に関する注意事項

2020年度～2022年度入学生対象

教育職員免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数

教育職員免許状(幼稚園一種)を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①(基礎資格)及び②～⑤(最低修得単位数)それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること(学部を卒業することによって得られます)

②領域及び保育内容の指導法に関する科目(→詳細はP50参照)

免許法施行規則に定める科目区分等	免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目			
		授業科目	単位数		
			必修	選択	
領域に関する専門的事項	16	国語	国語の内容・構成	2	
		算数	算数の内容・構成		2
		生活	生活科の内容・構成	2※	
		音楽	子どもの音楽	2	
			音楽(楽器演奏1)		2
			音楽(楽器演奏2)		2
図画工作	子どもの造形	2※			
	子どもの造形		2		
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	子どもの体育	2		
		保育内容(健康)	2		
		保育内容(人間関係)	2		
		保育内容(生活と環境)	2		
		保育内容(ことば)	2		
		保育内容(表現)	2		
		保育内容総論	2		
上記2つの事項を合わせた内容に係る科目					
		本学での修得単位数	18	10	

※「生活科の内容・構成」「子どもの造形」のうち1科目2単位が選択必修となります。

③教育の基礎的理解に関する科目等(→詳細はP50参照)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	
		必修		選択	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	保育原理	2	
			保育者論	2	
			初等教育の制度と社会	2	
			初等教育心理学 発達心理学	2	2
			特別なニーズのある乳幼児への保育と教育	2	
			保育カリキュラム論 (2020年度までは「幼児教育課程論」)	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法※b	4	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)※a (2021年度までは「初等教育方法」)	2	
			子ども理解と保育・教育相談	2	
			初等教育相談		2
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(初等) 教育実習(初等)	1 4	
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習(小・幼・保)	2	
計		21	本学での修得単位数	23	4

※a「初等教育方法」を履修済みの学生は「初等教育方法(情報通信技術の活用含む)」を履修する必要はありません。

※b「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」の内容は、「子ども理解と保育・教育相談」に含まれています。

④大学が独自に設定する科目（→詳細はP50参照）

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
14	14

〈1〉 = 「②領域及び保育内容の指導法に関する科目」の修得単位数^(マイナ) 16単位（免許法上最低修得単位数）

〈2〉 = 「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数^(マイナ) 21単位（免許法上最低修得単位数）

〈3〉 = 「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

※〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉が14単位以上になるように修得してください。

⑤免許法施行規則第66条に定める科目

（66条科目→詳細はP44参照）

免許法施行規則に定める科目	免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
日本国憲法	2	2
体育	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	—
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 情報機器の操作		2

教育実習

教育実習は、本学が幼稚園に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

※小学校の教職課程をあわせて履修している者は教員・教学支援課の指導に従うこと。

(1)教育実習園開拓の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習園の開拓を行う必要があります。実習園の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
- ② 「保育者論」・「初等教育心理学」・「保育原理」・「初等教育の制度と社会」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」・「子ども理解と保育・教育相談」のうち6単位以上を修得済みであること。
- ③ 「保育者論」・「保育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」をすべて単位修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。

(2)教育実習園の開拓

実際の実習園開拓の方法は実習園の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず2年次10月の「開拓説明会」に参加をし、2～3月に複数の園を見学し、検討の上、3年次5月に希望調査票を提出してください。

(3)教育実習園の決定

実習園の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導（初等）」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立園での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定園あるいは実習日程等については、変更になる場合もありますので、必ず、本人が確認してください。

(4)教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は実習園を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「初等教育心理学」・「保育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位を修得済みであること。
- ② 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導にすべて参加済みであること。

※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

(5)教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導(初等)」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導(初等)」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習(初等)」「教職・保育実践演習(小・幼・保)」とともに実習年度に行います。

(6)教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導(初等)」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習園を訪問し、指導することになっています。そのため、実習の具体的計画(特に責任実習担当日時)が決定したときには、必ず訪問指導担当教員および保育実習センターに連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、その都度指示に従って忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習園との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援課で相談してください。

(7)教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書(非欠席扱いのお願い)」を交付しますので教学支援課で手続きを行ってください(扱いについてはP7「実習参加について(3)出席・成績・評価の扱い」を参照)。

(8)教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習園に対してお礼状を出してください。

また、実習報告書および教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず保育実習センターに提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習(初等)」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導(初等)」の第4回指導では、実習報告会を行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導(初等)」の単位修得ができないため、教育職員免許状も取得できません。

(9)実習辞退

実習園が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ園にとっては、計画した年間の教育課程、園運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りには費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等やむをえない事情があって実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援課へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 領域及び保育内容の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
 - A. 認められます。

- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
 - A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。従って、例えば小学校課程の「教育原理」を中高課程の「教育原理」の単位に流用することはできません。双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。

- ◆Q 3. 「スポーツ実技」「子どもの生活と英語」の単位は、共通教養・外国語科目に数えられますか？
 - A. 数えられません。これらは幼稚園・小学校の教職課程および保育士課程に定められた教養科目で、本学の共通教養・外国語科目ではありません。従って、卒業のためには共通教養・外国語科目は別に履修する必要があります。

- ◆Q 4. 幼児教育課程以外の学生は、教職課程の履修は2年次から始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
 - A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(小学校)2020年度以降入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	心理教育学科 子ども教育専修 初等教育課程生	心理教育学科 子ども教育専修初等教育課程生以外	介護等体験
	登録手続き・教育実習		
1 年次	4月	子ども教育専修新入生学科説明会 学校インターンシップAを履修することが望ましい 履修登録 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する	介護等体験説明会 申請料を支払い、次年度の体験を登録
	11月		
	3月	新2年次生向け資格課程オリエンテーション	
2 年次	4月	受講申請料を支払い、資格課程に登録 学校インターンシップB・Cを履修することが望ましい 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	大学の健康診断を受診 特別支援学校オリエンテーション 介護等体験実施 (3月までのどこかで2+5日間)
	5月 6月	受講申請料を支払い、資格課程に登録 学校インターンシップA・B・Cを履修することが望ましい 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	
	1月	第1回教育実習校開拓説明会 (教育実習希望票提出)	
	3月	教育実習校開拓有資格者発表 第2回教育実習校開拓説明会	
3 年次	4月	履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する	
	6月	教育実習校開拓期限	
	9月 12月	教育実習事前・事後指導(初等)第1回指導	
	3月	教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(初等)第2回指導	
4 年次	4月	履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出 教育実習事前・事後指導(初等)第3回指導	
	5月		
	6月	教育実習(初等)実施	
	9月 10月	教職・保育実践演習(小・幼・保) 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う	
		教育実習事前・事後指導(初等)第4回指導	
	12月 2月 3月	教職課程判定対象者揭示 教職課程判定結果発表 教育職員免許状取得	

1. 教職課程(小学校)の受講と手続き

履修の方法

一般に資格課程のカリキュラムは、独自の履修方式によって学修されるように構成されています。

それぞれの資格にかかわる受講申請は2年次生から、すなわち、大学における学習方法を一応知るようになってから、この課程の学習を始めるように考慮されています。その時点で小学校・幼稚園免許両方もしくは、どちらか一方を取得するように選択します。ただし、小学校・幼稚園免許のための教職課程は、4年間の「目的的培养」になっていますので、1年次開講の科目で履修可能なものは履修しておくことを勧めます。また、学外における教育実習が必修となっており、その実習に参加するためには、それ以前に最低履修科目が定められていて、例えばその単位が修得できない場合には実習に参加できなくなるというように、学修上の順序性、系統性が厳格に定められています。したがって、教職課程の履修については、各自十分に注意し、努力してください。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照
- 介護等体験 ※ P 11参照

単位の修得

(1) 単位の見方

右ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

- ・ 修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。
- ・ 前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 履修に関する注意事項

教職課程(小学校)を受講している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援課で確認してください。

教育職員免許状取得に必要な基礎資格、最低修得単位数及び介護等体験

教育職員免許状（小学校一種）を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①（基礎資格）、②～⑤（最低修得単位数）及び⑥（介護等体験）それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること（学部を卒業することによって得られます）

②教科及び教科の指導法に関する科目※2023年度以降入学生用

（→詳細は2023～2025年度入学生は P52参照／2026年度以降入学生は P51参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	国語の内容・構成	2	
	社会		社会科の内容・構成 1		2
			社会科の内容・構成 2		2
	算数		算数の内容・構成	2	
	理科		理科の内容・構成	2 ※ a	
	生活		生活科の内容・構成	2	
	音楽		音楽（楽器演奏 1）	2	
	図画工作		子どもの造形		2
	家庭		家庭科の内容・構成	2 ※ a	
	体育		子どもの体育		2
	外国語	小学校英語の研究		2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		初等教科教育法（国語）	2	
	社会		初等教科教育法（社会）	2	
	算数		初等教科教育法（算数）	2	
	理科		初等教科教育法（理科）	2	
	生活		初等教科教育法（生活）	2	
	音楽		初等教科教育法（音楽）	2	
	図画工作		初等教科教育法（図画工作）	2	
	家庭		初等教科教育法（家庭）	2	
	体育		初等教科教育法（体育）	2	
	外国語		初等教科教育法（英語）	2	
上記 2 つの事項を合わせた内容に係る科目					
			本学での修得単位数	30	10

※ a 「理科の内容・構成」「家庭科の内容・構成」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。

②教科及び教科の指導法に関する科目※2020～2022年度入学生用（→詳細は P53参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	国語の内容・構成	2	
	社会		社会科の内容・構成 1		2
			社会科の内容・構成 2		2
	算数		算数の内容・構成	2	
	理科		理科の内容・構成	2 ※ c	
	生活		生活科の内容・構成	2	
	音楽		音楽（楽器演奏 1） ※ b 子どもの音楽 ※ b	2	
	図画工作		子どもの造形		2
	家庭		家庭科の内容・構成	2 ※ c	
	体育		子どもの体育		2
	外国語	小学校英語の研究		2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		初等教科教育法（国語）	2	
	社会		初等教科教育法（社会）	2	
	算数		初等教科教育法（算数）	2	
	理科		初等教科教育法（理科）	2	
	生活		初等教科教育法（生活）	2	
	音楽		初等教科教育法（音楽）	2	
	図画工作		初等教科教育法（図画工作）	2	
	家庭		初等教科教育法（家庭）	2	
	体育		初等教科教育法（体育）	2	
	外国語		初等教科教育法（英語）	2	
上記 2 つの事項を合わせた内容に係る科目					
			本学での修得単位数	30	10

※ c 「理科の内容・構成」「家庭科の内容・構成」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。
・ ※ b 「音楽（楽器演奏 1）」 「子どもの音楽」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。

③教育の基礎的理解に関する科目等※2020年度以降入学生共通

(→詳細は2020～2022年度入学生は P53参照/2023～2025年度入学生は P52参照/
2026年度以降入学生は P51参照)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上 最低修得 単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数 必修 選択	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者・教師論/教職概論※d	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		初等教育の制度と社会	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		初等教育心理学 発達心理学	2	2
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		児童への特別支援教育	2	
・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	保育・教育カリキュラム論/教育課程論※e	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	10	初等道徳教育論	2	
	・総合的な学習の時間の指導法		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	
	・特別活動の指導法		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)※f (2021年度までは「初等教育方法」)	2	
	・教育の方法及び技術			2	
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		初等生徒指導論	2	
	・生徒指導の理論及び方法		初等教育相談	2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育実習事前・事後指導(初等) 教育実習(初等)	1 4	
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教職・保育実践演習(小・幼・保)	2			
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(初等) 教育実習(初等)	1 4	
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習(小・幼・保)	2	
計		27	29	2	

※ d 2026年度入学生は「保育者・教師論」を、2020～2025年度入学生は「教職概論」を履修してください。

※ e 2026年度入学生は「保育・教育カリキュラム論」を、2020～2025年度入学生は「教育課程論」を履修してください。

※ f 「初等教育方法」を履修済みの場合は「初等教育方法(情報通信技術の活用含む)」を履修する必要はありません。

④大学が独自に設定する科目※2020年度以降入学生共通

(→詳細は2020～2022年度入学生は P53参照/2023～2025年度入学生は P52参照/
2026年度以降入学生は P51参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
2	2

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 が2単位以上になるように修得してください。

〈1〉 = 「②教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数 $\frac{(\text{イイナス})}{\text{---}}$ 30単位(免許法上最低修得単位数)

〈2〉 = 「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数 $\frac{(\text{イイナス})}{\text{---}}$ 27単位(免許法上最低修得単位数)

〈3〉 = 「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

⑤免許法施行規則第66条に定める科目

(66条科目→詳細は P44参照)

免許法上の科目区分	免許法上 最低修得単位数	本学での 修得単位数
日本国憲法	2	2
体育	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	— 2

⑥介護等体験(→詳細は P11参照)

教育実習

教育実習は、本学が小学校に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

(1) 教育実習校開拓の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習校の開拓を行う必要があります。実習校の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
 - ② 「保育者・教師論／教職概論※g」・「初等教育心理学」・「教育原理」・「初等教育の制度と社会」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」・「初等教育相談」のうち6単位以上を修得済みであること。
 - ③ 「初等教育心理学」・「教育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位をすべて修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
 - ④ 「保育・教育カリキュラム論／教育課程論※h」・「初等教科教育法（国語、算数、理科を含む10単位以上）」・「初等生徒指導論」の単位をすべて修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
 - ⑤ 「初等特別活動論および総合的な学習の時間」・「初等道德教育論」・「初等教育相談」のうち2単位以上を修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
- ※g 2026年度入学生は「保育者・教師論」を、2020～2025年度入学生は「教職概論」を履修してください。
- ※h 2026年度入学生は「保育・教育カリキュラム論」を、2020～2025年度入学生は「教育課程論」を履修してください。

(2) 教育実習校の開拓

実際の実習校開拓の方法は実習校の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず、第1回（2年次の1月）および第2回（2年次の3月末頃）の「開拓説明会」に参加し、適切な指示を受けてください。

特に母校での実習を希望する者は、3年次4月までには実習希望の旨を伝えて指示を受けてください。

(3) 教育実習校の決定

実習校の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導（初等）」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立校での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定校あるいは実習日程等については、変更になる場合もありますので、必ず、本人が確認してください。

(4) 教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習校を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「初等教育心理学」・「教育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位をすべて修得済みであること。
 - ② 「保育・教育カリキュラム論／教育課程論※i」・「初等教科教育法（国語、算数、理科を含む10単位以上）」・「初等生徒指導論」の単位を全て修得済みであり、かつ「初等特別活動論および総合的な学習の時間」・「初等道德教育論」・「初等教育相談」のうち2単位以上を修得済みであること。
 - ③ 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導にすべて参加済みであること。
- ※①②③を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。
- ※i 2026年度入学生は「保育・教育カリキュラム論」を、2020～2025年度入学生は「教育課程論」を履修してください。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導（初等）」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習（初等）」「教職・保育実践演習（小・幼・保）」とともに実習年度に行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導（初等）」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習校を訪問し、指導することになっています。そのため、実習期間の変更があったり、実習の具体的計画（特に研究授業担当日時）が決定したりしたときには、必ず訪問指導担当教員および教学支援課に連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、実習開始2週間前から教学支援課で交付しますので忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習校との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援課で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援課で手続きを行ってください（扱いについてはP7「実習参加について（3）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習校に対してお礼状を出してください。

また、教育実習終了報告書および教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず教学支援課に提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習（初等）」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」の第4回指導は、実習報告会という形で行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導（初等）」の単位修得ができなくなるため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習校が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ校にとっては、計画した年間の教育課程、授業運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等やむをえない事情があって実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援課へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 教科及び教科の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
 - A. 認められます。

- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
 - A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。
従って、例えば小学校課程の「教育原理」を中高課程の「教育原理」の単位に流用することはできません。
双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。

- ◆Q 3. 子ども教育専修幼児教育課程以外の学生は、教職課程は2年次から履修が始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
 - A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(中学校・高等学校)2019年度以降入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。教職課程受講申請を3年次に行った場合などは、2年次の予定が3年次に繰り下がるなど、ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	登録手続き・教育実習	教職関係科目	介護等体験 (中学校免許取得者のみ)
1年次	4月 1年次生向け資格課程オリエンテーション	履修登録 「教科に関する専門的事項」 「66条科目」履修開始 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する	
	3月 新2年次生向け資格課程オリエンテーション		
2年次	4月 受講申請料を支払い、資格課程を受講開始 履修カルテ入力	履修登録 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」 「教育の基礎的理解に関する科目等」履修開始 ☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	介護等体験説明会 申請料を支払い、次年度の体験を登録 社会福祉施設オリエンテーション
	11月		
	1月 第1回教育実習校開拓説明会		
3年次	3月 教育実習校開拓有資格者発表 第2回教育実習校開拓説明会	履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する	大学の健康診断を受診 特別支援学校オリエンテーション 介護等体験実施 (3月までのどこかで2+5日間)
	4月 履修カルテ入力		
	5月		
	7月 教育実習校開拓期限		
	10月 「教育実習事前・事後指導(中高)」第1回指導 和光中高授業参観		
3月 教育実習有資格者発表 「教育実習事前・事後指導(中高)」第2回指導			
4年次	4月 履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 教育実習書類提出	履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教職実践演習	
	5月 「教育実習事前・事後指導(中高)」第3回指導 教育実習実施 「教育実習事前・事後指導(中高)」第4回指導		
	9月		
	10月 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、手続きを行う		
	12月 教職課程判定対象者掲示		
	2月 教職課程判定結果発表		
	3月 教育職員免許状取得		

1. 教職課程(中学校・高等学校)の受講と手続き

履修の方法

一般に資格課程のカリキュラムは、独自の履修方式によって学修されるように構成されています。

それぞれの資格にかかわる受講申請は2年次生から、すなわち、大学における学習方法を一応知るようになってから、この課程の学習を始めるように考慮されています。教職課程では、学外における教育実習が必修となっており、その実習に参加するためには、それ以前に最低履修科目が定められていて、例えばその単位が修得できない場合には実習に参加できなくなるというように、学修上の順序性、系統性が厳格に定められています。本学の教職課程は、前項の特色を反映して、原則として3年間で履修するように設定されています。したがって、教職課程の履修については、各自十分に注意し、努力してください。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照
- 介護等体験(中学校免許取得者のみ) ※ P 11参照

単位の修得

(1) 単位の見方

右ページの表の②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

- ・ 修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。
- ・ 前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 教職課程専用科目に関する注意

資格課程のためだけに開講されている科目(コード番号8000番台の科目)は、一切卒業所要単位にはなりません。また、教職課程を受講していない者は、これらの科目を履修することはできません。

※不明な点は、必ず教学支援課で確認してください。

教育職員免許状取得に必要な基礎資格、最低修得単位数及び介護等体験

教育職員免許状(中学校教諭一種・高等学校教諭一種)を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①(基礎資格)、②～⑤(最低修得単位数)及び⑥(介護等体験)それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること(学部を卒業することによって得られます)

②教科及び教科の指導法に関する科目(→詳細はP54、P56～P70参照)

免許法施行規則に定める科目区分等	免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
教科に関する専門的事項	中学28 高校24	中学28～44 高校24～28
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		教科によって異なります(教科教育法 中学8単位、高校4単位含む※)
上記2つの事項を合わせた内容に係る科目		

※教科教育法は、中学校社会科は「社会科・地歴科教育法」(4単位)及び「社会科・公民科教育法」(4単位)の計8単位を修得しなければなりません。社会科以外の中学校の教科については、各科教育法「1」、「2」の計8単位を修得しなければなりません。高校については、各科教育法(「1」と「2」がある場合には「1」)の4単位が最低修得単位数となります。

③教育の基礎的理解に関する科目等(→詳細はP54～P55参照)

科目名	免許法施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが必要な事項	免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目	
			授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	教師論	2
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理* a	4
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育心理学	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法(中学校免許取得希望者のみ必修)	中学10 高校8	特別支援教育概論	2
	・総合的な学習(探求)の時間の指導法		道徳教育論	2
	・特別活動の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2
	・教育の方法及び技術		特別活動論	2
	・情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法		教育方法論	2
	・生徒指導の理論及び方法		情報技術活用論* b	2
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導論	2
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談論	2
教育実践に関する科目	教育実習	中学5 高校3	教育実習事前・事後指導(中高) 教育実習	中学5 高校3
	教職実践演習	2	教職実践演習(中高)	2
計		中学27 高校23		中学31 高校27

* a 教育原理は8000番台科目。
* b 2022年度以降入学生のみ必修。

④大学が独自に設定する科目(→詳細はP54、P56～P70参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
中学4 高校12	中学4(「福祉介護論」必修) 高校12

※中学校免許取得者は「福祉介護論」を必ず履修してください。

※〈1〉+〈2〉+〈3〉が中学4単位以上、高校12単位以上になるように修得してください。

- 〈1〉＝「②教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数(マイナ) 中学28単位、高校24単位(免許法上最低修得単位数)
- 〈2〉＝「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数(マイナ) 中学27単位、高校23単位(免許法上最低修得単位数)
- 〈3〉＝「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

⑤免許法施行規則第66条に定める科目(66条科目→詳細はP44参照)

免許法施行規則に定める科目	免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
日本国憲法	2	2
体育	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	—
		2

⑥介護等体験

(→詳細はP11参照)

教育実習

教育実習は、本学が中学校、高等学校に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

(1) 教育実習校開拓の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習校の開拓を行う必要があります。実習校の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
 - ② 「教師論」・「教育心理学」・「教育原理」・「道徳教育論」・「特別活動論」・「教育方法論」・「情報技術活用論（2022年度以降入学生のみ）」・「生徒・進路指導論」・「教育相談論」のうち6単位以上修得済みであること。
 - ③ 「教育心理学」・「教育原理」・実習教科の「各科教育法（「1」と「2」がある場合には「1」のみ、社会科の場合は「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」両方）」をすべて単位修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
- ※ただし、中学校での教育実習を希望する者は、3年次までに「道徳教育論」の単位を修得することが望ましい。
- ※教育原理は8000番台科目。

(2) 教育実習校の開拓

実際の実習校開拓の方法は実習校の種類等によって様々であるため、必ず、第1回（2年次の1月）および第2回（2年次の3月末頃）の「開拓説明会」に参加し、適切な指示を受けてください。開拓時期は年々早まる傾向にあります。特に母校で実習を希望する者は、遅くとも2年次終了までには実習希望の旨を伝えて指示を受けてください。

(3) 教育実習校の決定

実習校の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立学校での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

(4) 教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習校を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「教育心理学」・「教育原理」・実習教科の「各科教育法（「1」と「2」がある場合には「1」のみ、社会科の場合には「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」両方）」の単位を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導」の第1回・2回・3回指導にすべて参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。
- ※教育原理は8000番台科目。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習」「教職実践演習」とともに実習年度に行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導」担当教員が実習生の指導責任者・実習評価担当者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。原則として、担当教員が実習期間中に実習校を訪問し、指導することになっています。そのため、実習期間が決定したり、実習の具体的な計画（特に教育現場実習や研究授業担当日時）が決定したときには、必ず担当教員に連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、実習開始2週間前から教学支援課で交付しますので忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習校との事前打ち合わせ時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援課で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになりますので、実習参加前に欠席する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援課で手続きを行ってください（扱いについてはP 7「実習参加について（3）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習校に対してお礼状を出してください。

また、教育実習終了報告書（教育実習体験報告書原稿を兼ねる）は、実習終了後所定の期間内に必ず教学支援課に提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導」の第4回指導は、体験報告会という形で行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導」の単位修得ができなくなるため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習校が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ校にとっては、計画した年間の教育課程、授業運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があって実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援課へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 教職課程は2年次から履修が始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
- A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した科目の単位が教職の単位として認められるのは、2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職のカリキュラムは年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。
- ◆Q 2. 教科及び教科の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許の所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
- A. 認められます。
- ◆Q 3. 社会科と国語科を申請していますが、「社会科・地歴科教育法」または「社会科・公民科教育法」の単位を国語科の「大学が独自に設定する科目」の単位として使うことはできますか？
- A. できません。「大学が独自に設定する科目」の単位として認められる科目は当該の申請教科の授業一覧表として開講されている科目に限ります。他教科の教科及び教科の指導法に関する科目を認めることはできません。
- ◆Q 4. 社会科と地歴科を申請しています。教科教育法は「社会科・地歴科教育法」を取得すればよいのですか？
- A. それだけでは不十分です。社会科を申請している場合は、「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」を両方とも取得する必要があります。
- ◆Q 5. 「福祉介護論」の単位の扱いについて教えてください。
- A. 「福祉介護論」の単位は「大学が独自に設定する科目」として認められます。中学校・高等学校両方の免許課程を申請している人は、「福祉介護論」を修得すると、中学校だけでなく、高等学校（商業科と情報科を除く）の「大学が独自に設定する科目」の単位としても認めることができます。
- ◆Q 6. 中学校と高等学校両方の免許課程を申請しているのですが、中学校免許取得者のみ必修の「道徳教育論」を修得した場合、この科目の単位は高等学校免許の単位としては認められないのですか？
- A. 高等学校の「大学が独自に設定する科目」の単位としても認められます（但し、商業科と情報科を除く）。
- ◆Q 7. 社会科と国語科の免許取得に取り組んでいます。この場合、教育実習は2回行う必要がありますか？
- A. 必要ありません。例えば、国語科で教育実習を行えば、社会科の教育実習の単位としても認めることができます。この場合、改めて社会科で教育実習を行う必要はありません。なお、遅くとも実習校開拓時（通常は3年次4月）にどちらの教科で実習を行うかを各自で決断する必要があります。また、実習校への申込手続きが完了した後で、実習教科を変更することはできません。
- ◆Q 8. 教職の単位も履修登録単位数上限に含まれますか？
- A. 教職の単位には、①履修登録単位数上限に含まれないものと、②履修登録単位数上限のうちに含むものがあります。
- ① 履修登録単位数上限に含まれないもの…教職課程専用科目の単位
(科目のコード番号が8000番台の科目)
- ② 履修登録単位数上限のうちに含むもの…それ以外の科目（科目のコード番号が8000番台でない科目）
(66条科目の共通教養科目・外国語科目と、教科及び教科の指導法に関する科目のうち各学科の専門科目として開講されている科目)

教職課程 授業一覧表

全入学年度 全校種（幼・小・中・高）・全教科 共通

教育職員免許法施行規則第66条に定める科目…………… P 44

教職課程専用科目（8000番台科目）…………… P 45

2019年度以降入学生授業一覧表

幼稚園課程、小学校課程、中学校・高等学校課程 … P 47

2026年度 教職課程(幼・小・中・高)66条科目 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表に示す科目は教職課程においては「66条科目」として数えられます。
各科目の履修条件・休講等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の1000番台の科目→共通教養課程を参照
 下表の2000番台の科目→外国語課程を参照
 下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照
 下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照
 下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P45)を参照

対象＝幼稚園・小学校・中学校・高校 教職課程受講者

教育職員免許法施行規則第66条に定める科目

免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講				2023年度～2025年度開講			
		コード番号	科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科 目 [授 業] 名	単 位	重 複	
2 単位	日本国憲法	必 選 修 択	1125	法と人権(日本国憲法2単位を含む)	4	×	法と人権(日本国憲法2単位を含む)	4	
			1127	現代社会と憲法(日本国憲法2単位を含む)	4	×	現代社会と憲法(日本国憲法2単位を含む)	4	
2 単位	体 育	選 択 必 修	1054～1055	スポーツ文化(テニス1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(テニス1,2)	各1	
			1056～1057	スポーツ文化(卓球1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(卓球1,2,3)	各1	
			1058～1060	スポーツ文化(バレーボール1,2,3)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(バレーボール1,2,3,4)	各1	
			1061～1062	スポーツ文化(バスケットボール1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(バスケットボール1,2)	各1	
			1063～1065	スポーツ文化(バドミントン1,2,3)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(バドミントン1,2,3)	各1	
			1066～1067	スポーツ文化(サッカー1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(サッカー1,2)	各1	
			1068～1069	スポーツ文化(フットサル1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(フットサル1,2)	各1	
			1070～1071	スポーツ文化(ゴルフ1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(ゴルフ1,2)	各1	
			1072～1073	スポーツ文化(フィットネス1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(フィットネス1,2)	各1	
			1074～1075	スポーツ文化(障がい者スポーツ1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(障がい者のスポーツ1,2)	各1	
			1076～1077	スポーツ文化(スポーツレクリエーション1,2)	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スポーツ文化(スポーツレクリエーション1,2)	各1	
			1078	スポーツ文化(ボルダリング)	1	○	【2023年度、2024年度開講】 スポーツ文化(ボルダリング)	1	
			3451～3453	スポーツ実技 【※幼稚園・小学校課程のみ】 保育士課程・幼稚園課程・小学校課程より 1課程以上の受講申請がある学生のみ履修可	各1	×	スポーツ実技【※幼稚園・小学校課程のみ】	1	
2 単位	外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	選 択 必 修	5427～5428	英語で語る3,4	各2	○	英語で語る1,2,3,4	各2	
			2001～2090	英語A1,B1～英語A4,5,B4,5	各1	×	【2023年度、2024年度開講】英語A1,B1～英語A5,0,B5,0 【2025年度開講】英語A1,B1～英語A4,0,B4,0	各1	
			2097～2104	英語EA、英語EB 英語PA、英語PB 【※幼稚園・小学校課程のみ】 心理教育学科子ども教育専修生のみ履修可	各1	×	【2025年度開講】 英語EA、英語EB 英語PA、英語PB 【※幼稚園・小学校課程のみ】 心理教育学科子ども教育専修生のみ履修可	各1	
			2105～2114	英語初級A1,B1～初級A5,B5	各1	×	【2023年度、2025年度開講】英語初級A1,B1～初級A5,B5 【2024年度開講】英語初級A1,B1～初級A6,B6	各1	
			2121～2146	英語中級A1,B1～中級A1,3,B1,3	各1	○	【2023年度、2024年度開講】英語中級A1,B1～中級A1,3,B1,3 【2025年度開講】英語中級A1,B1～中級A1,2,B1,2	各1	
			2147～2148	英語上級A1,B1	各1	○	【2023年度、2024年度開講】英語上級A1,B1～上級A2,B2 【2025年度開講】英語上級A1,B1～上級A1,B1	各1	
			2251～2254	中国語中級A1,B1～中級A2,B2	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 中国語中級A1,B1～中級A2,B2	各1	
			2351～2352	朝鮮語中級A1,B1	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 朝鮮語中級A1,B1	各1	
			2361～2362	朝鮮語上級A1,B1 【※小学校課程除く】	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 朝鮮語上級A1,B1【※小学校課程除く】	各1	
			2451～2452	フランス語中級A1,B1	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 フランス語中級A1,B1	各1	
			2551～2552	ドイツ語中級A1,B1	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 ドイツ語中級A1,B1	各1	
			2651～2652	ロシア語中級A1,B1 【※小学校課程除く】	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 ロシア語中級A1,B1【※小学校課程除く】	各1	
			2751～2752	イタリア語中級A1,B1	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 イタリア語中級A1,B1	各1	
			2851～2852	スペイン語中級A1,B1 【※小学校課程除く】	各1	○	【2023年度～2025年度開講】 スペイン語中級A1,B1【※小学校課程除く】	各1	
			3473	子どもの生活と英語【※幼稚園課程のみ】 保育士課程・幼稚園課程より 1課程以上の受講申請がある学生のみ履修可	各2	×	子どもの生活と英語 【※幼稚園課程生のみ】	2	
2 単位	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	必 選 修 択	8591～8593	情報機器の操作	各2	×	【2023年度～2025年度開講】 情報機器の操作	各2	

2026年度 教職課程専用科目 授業一覧表

下表と各課程の授業一覧表を照らし合わせて、履修計画を立てること。

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 人数制限(抽選)優先条件とは…「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注3) オンライン科目「時間割外」とは…全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。

注4) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「-」は履修不可です。

対象＝幼稚園・小学校・中学校・高校 教職課程受講者

授 業 コ ー ド	科 目 [授 業] 名	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	単 位 数	オンライ ン 科 目	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8591	情報機器の操作[1]	人数制限(抽選)	有	前期	2	—	—	2	3	4	立野貴之	×	
8592	情報機器の操作[2]	人数制限(抽選)	有	後期	2	—	—	2	3	4	立野貴之	×	
8593	情報機器の操作[3]	なし	—	後期	2	時間割外	—	2	3	4	等々力賢	×	

※「情報機器の操作」の履修登録・単位認定は1授業のみ。

※「情報機器の操作」は人数制限(抽選)科目です。履修希望者は掲示の指示に従ってください。なお、4年次生の履修を優先とします。

対象＝社会科・地理歴史科・公民科受講者

授 業 コ ー ド	科 目 [授 業] 名	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	単 位 数	オンライ ン 科 目	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8598	人文地理学	なし	—	通年	4	—	—	2	3	4	阿部恵伯	×	
8599	地誌	なし	—	通年	4	—	—	2	3	4	阿部恵伯	×	
8600	自然地理学	なし	—	通年	4	—	—	2	3	4	井上宏昭	×	
8603	哲学概論	なし	—	通年	4	—	—	2	3	4	伊吹浩一	×	
8595	日本史概説	なし	—	通年	4	—	—	2	3	4	棚井仁	×	
8597	外国史概説	なし	—	通年	4	—	—	2	3	4	吉村貴之	×	

※上記の科目は全て卒業所要単位数に含まれない。履修計画の際には充分注意すること。

2019年度以降入学生 授業一覧表

幼稚園課程

心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園…………… P 48

小学校課程

心理教育学科 子ども教育専修 小学校…………… P 51

中学校・高等学校課程

【全学科共通】教育の基礎的理解に関する科目等、各教科の指導法… P 54

【全教科共通】教育実習事前・事後指導、教育実習…………… P 55

人間科学科 保健体育科…………… P 56

総合文化学科 国語科・英語科…………… P 58

芸術学科 美術科…………… P 62

経済学科 社会科・地理歴史科・公民科…………… P 64

経営学科 商業科・情報科…………… P 67

2026年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園 授業一覧表

対象＝2026年度以降入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目 (本冊子P44参照)

8単位 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【小学校課程申請者のみ】履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者のみ】履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講						2025年度開講		2024年度開講		2023年度開講	
		科目 [授 業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授 業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授 業] 名	単位	重複	オンライン科目
必修	3461	保育原理	2	×									
1科目	3424	●保育者・教師論[1]	2	×									
選択必修	未開講	保育者・教師論[2]	2	—									
必修	未開講	初等教育の制度と社会	2	—									
必修	3426	初等教育心理学	2	×									
選択	3401	発達心理学	2	×									
1科目	未開講	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]	2	—									
選択必修	未開講	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]	2	—									
1科目	未開講	保育・教育カリキュラム論[1]	2	—									
選択必修	未開講	保育・教育カリキュラム論[2]	2	—									
1科目	3405	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×									
選択必修	3406	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×									
1科目	未開講	子ども理解と保育・教育相談[1]	1	—									
選択必修	未開講	子ども理解と保育・教育相談[2]	1	—									
選択	未開講	初等教育相談	2	—									
1科目	未開講	教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	—									
選択必修	未開講	教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	—									
1科目	未開講	教育実習(初等)[1]	4	—									
選択必修	未開講	教育実習(初等)[2]	4	—									
1科目	未開講	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	—									
選択必修	未開講	教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	—									

領域及び保育内容の指導法に関する科目

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講					
		科目 [授 業] 名	単位	重複	オンライン科目		
1科目	3449	子どもと健康[1]	1	×			
選択必修	3450	子どもと健康[2]	1	×			
1科目	3445	子どもと人間関係[1]	1	×			
選択必修	3446	子どもと人間関係[2]	1	×			
1科目	3447	子どもと環境[1]	1	×			
選択必修	3448	子どもと環境[2]	1	×			
1科目	3443	子どもとことば[1]	1	×			
選択必修	3444	子どもとことば[2]	1	×			
1科目	3465	子どもと音楽表現[1-1]	1	×			
選択必修	3466	子どもと音楽表現[1-2]	1	×			
	3467	子どもと音楽表現[1-3]	1	×			
	3468	子どもと音楽表現[1-4]	1	×			
選択	未開講	音楽表現[1]	1	—			
	未開講	音楽表現[2]	1	—			
選択	未開講	音楽表現2[1]	1	—			
	未開講	音楽表現2[2]	1	—			
1科目	3462	子どもと造形表現[1-1]	1	×			
選択必修	3463	子どもと造形表現[1-2]	1	×			
	3464	子どもと造形表現[1-3]	1	×			
1科目	未開講	保育内容(健康)[1]	2	—			
選択必修	未開講	保育内容(健康)[2]	2	—			
1科目	3517	保育内容(人間関係)[1]	2	×			
選択必修	3518	保育内容(人間関係)[2]	2	×			
1科目	未開講	保育内容(生活と環境)[1]	2	—			
選択必修	未開講	保育内容(生活と環境)[2]	2	—			
1科目	未開講	保育内容(ことば)[1]	2	—			
選択必修	未開講	保育内容(ことば)[2]	2	—			
1科目	未開講	保育内容(表現)[1]	2	—			
選択必修	未開講	保育内容(表現)[2]	2	—			
	未開講	保育内容(表現)[3]	2	—			
1科目	未開講	保育内容総論[1]	1	—			
選択必修	未開講	保育内容総論[2]	1	—			

2027年度以降
順次掲載されていきます。

大学が独自に設定する科目

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講					
		科目 [授 業] 名	単位	重複	オンライン科目		
1科目	3151	発達障がい基礎	2	×			
	3120	保育学	2	×			
	3141	保育記録の研究	2	×			
	3182	世界の教育と子育て	2	×			
選択科目	3416	グローバル化と教育	2	×		時間割外	
	3187	学校インターンシップA	2	×			
	3190	学校インターンシップD	2	×			
	未開講	保育インターンシップ[1]	2	○			
	休講	保育インターンシップ[2]	2	—			
	未開講	乳児保育[1]	1	—			
	未開講	乳児保育[2]	1	—			
	未開講	乳児保育の理論	2	—			

2026年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園 授業一覧表

対象=2023年度～2025年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6条に定める科目 (本冊子P44参照)

8単位 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)

各科目の履修条件等は「学修の手引き」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【小学校課程申請者のみ】履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者のみ】履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目名	単位	重複	オンライン科目												
必修	3461	保育原理	2	×													
必修	3612	保育者論	2	×													
必修	3455	初等教育の制度と社会	2	×													
1科目	3426	初等教育心理学	2	×		初等教育心理学[1]	2	×		初等教育心理学[1]	2	×		初等教育心理学[1]	2	×	
選択必修	3401	発達心理学	2	×		発達心理学[2]	2	×		発達心理学[2]	2	×		発達心理学[2]	2	×	
1科目	3487	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]	2	×													
選択必修	3488	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]	2	×													
必修	3604	保育カリキュラム論	2	×													
1科目	3405	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×													
選択必修	3406	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×													
1科目	3707	子ども理解と保育・教育相談[1]	2	×													
選択必修	3708	子ども理解と保育・教育相談[2]	2	×													
選択	3489	初等教育相談	2	×													
1科目	3523	教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×	
選択必修	3524	教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×													
1科目	3525	教育実習(初等)[1]	4	×		●教育実習(初等)[1]	4	×		●教育実習(初等)[1]	4	×		●教育実習(初等)[1]	4	×	
選択必修	3526	教育実習(初等)[2]	4	×													
1科目	3527	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		●教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		●教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		●教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×	
選択必修	3528	教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×													

領域及び保育内容の指導法に関する科目

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目名	単位	重複	オンライン科目												
1科目	3449	子どもと健康[1]	1	×		子どもと健康[1]	1	×		子どもと健康[1]	1	×		子どもと健康	1	×	
選択必修	3450	子どもと健康[2]	1	×		子どもと健康[2]	1	×		子どもと健康[2]	1	×		子どもと健康	1	×	
1科目	3445	子どもと人間関係[1]	1	×		子どもと人間関係[1]	1	×		子どもと人間関係[1]	1	×		子どもと人間関係	1	×	
選択必修	3446	子どもと人間関係[2]	1	×		子どもと人間関係[2]	1	×		子どもと人間関係[2]	1	×		子どもと人間関係	1	×	
1科目	3447	子どもと環境[1]	1	×		子どもと環境[1]	1	×		子どもと環境[1]	1	×		子どもと環境	1	×	
選択必修	3448	子どもと環境[2]	1	×		子どもと環境[2]	1	×		子どもと環境[2]	1	×		子どもと環境	1	×	
1科目	3443	子どもとことば[1]	1	×		子どもとことば[1]	1	×		子どもとことば[1]	1	×		子どもとことば	1	×	
選択必修	3444	子どもとことば[2]	1	×		子どもとことば[2]	1	×		子どもとことば[2]	1	×		子どもとことば	1	×	
1科目	3608	子どもと音楽表現[2-1]	2	×		子どもと音楽表現[1]	2	×		子どもと音楽表現[1]	2	×		子どもと音楽表現[1]	2	×	
選択必修	3609	子どもと音楽表現[2-2]	2	×		子どもと音楽表現[2]	2	×		子どもと音楽表現[2]	2	×		子どもと音楽表現[2]	2	×	
1科目	3610	子どもと音楽表現[2-3]	2	×		子どもと音楽表現[3]	2	×		子どもと音楽表現[3]	2	×		子どもと音楽表現[3]	2	×	
選択必修	3611	子どもと音楽表現[2-4]	2	×		子どもと音楽表現[4]	2	×		子どもと音楽表現[4]	2	×		子どもと音楽表現[4]	2	×	
1科目						子どもと音楽表現[5]	2	×		子どもと音楽表現[5]	2	×		子どもと音楽表現[5]	2	×	
選択	休講	音楽表現1[1]	1	—													
選択	休講	音楽表現1[2]	1	—													
1科目	3605	子どもと造形表現[2-1]	2	×		子どもと造形表現[1]	2	×		子どもと造形表現[1]	2	×		子どもと造形表現[1]	2	×	
選択必修	3606	子どもと造形表現[2-2]	2	×		子どもと造形表現[2]	2	×		子どもと造形表現[2]	2	×		子どもと造形表現[2]	2	×	
1科目	3607	子どもと造形表現[2-3]	2	×		子どもと造形表現[3]	2	×		子どもと造形表現[3]	2	×		子どもと造形表現[3]	2	×	
選択必修	3519	保育内容(健康)[1]	2	×													
1科目	3518	保育内容(健康)[2]	2	×													
選択必修	3517	保育内容(人間関係)[1]	2	×													
1科目	3518	保育内容(人間関係)[2]	2	×													
選択必修	3515	保育内容(生活と環境)[1]	2	×													
1科目	休講	保育内容(生活と環境)[2]	2	—													
選択必修	3510	保育内容(ことば)[1]	2	×													
1科目	休講	保育内容(ことば)[2]	2	—													
選択必修	3512	保育内容(表現)[1]	2	×													
1科目	3513	保育内容(表現)[2]	2	×													
選択必修	3703	保育内容総論[1]	2	×													
1科目	休講	保育内容総論[2]	2	—													
選択必修						保育内容総論[3]	2	×		保育内容総論[3]	2	×		保育内容総論[3]	2	×	

大学が独自に設定する科目

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目名	単位	重複	オンライン科目												
1科目	3151	発達障がい基礎	2	×													
選択必修	3120	発達とコミュニケーション	2	×													
1科目	3141	遊びの研究	2	×													
選択必修	3182	保育記録の研究	2	×													
1科目	3416	世界の教育と子育て	2	×													
選択必修	3187	グローバル化と教育	2	×													
1科目	3190	学校インターンシップA	2	×													
選択必修	3541	学校インターンシップD	2	×													
1科目	休講	学校インターンシップ[1]	2	—													
選択必修	3705	保育インターンシップ[2]	2	×													
1科目	休講	乳児保育[1]	2	×													
選択必修	3486	乳児保育[2]	2	×													
1科目						乳児保育[3]	2	×		乳児保育[3]	2	×		乳児保育[3]	2	×	
選択必修						乳児保育の理論	2	×		乳児保育の理論	2	×		乳児保育の理論	2	×	

2026年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園 授業一覧表

対象=2020年度～2022年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6条に定める科目 (本冊子P44参照)

8年制 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【小学校課程申請者のみ】履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者のみ】履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目名	単位	重復	オンライン科目												
必修	3461	保育原理	2	×													
必修	3612	保育者論	2	×													
必修	3455	初等教育の制度と社会	2	×													
1科目選択必修	3426	初等教育心理学	2	×		初等教育心理学[1]	2	×		初等教育心理学[1]	2	×		初等教育心理学[1]	2	×	
選択	3401	発達心理学	2	×													
1科目選択必修	3716	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]	2	×													
1科目選択必修	3406	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]	2	×													
必修	3604	保育カリキュラム論	2	×													
1科目選択必修	3405	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×													
1科目選択必修	3406	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×													
1科目選択必修	3719	子ども理解と保育・教育相談[1]	2	×													
1科目選択必修	3719	子ども理解と保育・教育相談[2]	2	×													
選択	3489	初等教育相談	2	×													
1科目選択必修	3523	教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×													
1科目選択必修	3524	教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×													
1科目選択必修	3525	教育実習(初等)[1]	4	×													
1科目選択必修	3526	教育実習(初等)[2]	4	×													
1科目選択必修	3527	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×													
1科目選択必修	3528	教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×													

領域及び保育内容の指導法に関する科目

必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目名	単位	重復	オンライン科目												
選択	3429	●国語の内容・構成[1]	2	×													
選択	3613	国語の内容・構成[2]	2	×													
選択	3432	●算数の内容・構成[1]	2	×													
選択	3614	算数の内容・構成[2]	2	×													
1科目選択必修	3621	●子どもの音楽[1]	2	×													
1科目選択必修	3622	子どもの音楽[2]	2	×													
1科目選択必修	3623	子どもの音楽[3]	2	×													
1科目選択必修	3624	子どもの音楽[4]	2	×													
1科目選択必修	3625	子どもの音楽[5]	2	×													
1科目選択必修	3626	子どもの音楽[6]	2	×													
選択	3435	●音楽(楽器演奏)[1]	2	×													
選択	3436	音楽(楽器演奏)[2]	2	×													
選択	3437	音楽(楽器演奏)[3]	2	×													
選択	3438	音楽(楽器演奏)[4]	2	×													
選択	3439	音楽(楽器演奏)[5]	2	×													
選択	3440	音楽(楽器演奏)[6]	2	×													
選択	3441	音楽(楽器演奏)[7]	2	×													
1科目選択必修	3713	●生活科の内容・構成[1]	2	×													
1科目選択必修	3615	生活科の内容・構成[2]	2	×													
1科目選択必修	3436	●子どもの造形[1]	2	×													
1科目選択必修	3437	子どもの造形[2]	2	×													
1科目選択必修	3619	子どもの造形[3]	2	×													
1科目選択必修	3620	子どもの造形[4]	2	×													
1科目選択必修	3440	子どもの造形[5]	2	×													
1科目選択必修	3441	子どもの造形[6]	2	×													
1科目選択必修	3519	保育内容(健康)[1]	2	×													
1科目選択必修	3518	保育内容(健康)[2]	2	×													
1科目選択必修	3517	保育内容(人間関係)[1]	2	×													
1科目選択必修	3518	保育内容(人間関係)[2]	2	×													
1科目選択必修	3515	保育内容(生活と環境)[1]	2	×													
1科目選択必修	3516	保育内容(生活と環境)[2]	2	×													
1科目選択必修	3517	保育内容(生活と環境)[3]	2	×													
1科目選択必修	3721	保育内容(ことば)[1]	2	×													
1科目選択必修	3512	保育内容(ことば)[2]	2	×													
1科目選択必修	3513	保育内容(ことば)[3]	2	×													
1科目選択必修	3512	保育内容(表現)[1]	2	×													
1科目選択必修	3513	保育内容(表現)[2]	2	×													
1科目選択必修	3703	保育内容総論[1]	2	×													
1科目選択必修	3704	保育内容総論[2]	2	×													
1科目選択必修	3705	保育内容総論[3]	2	×													

大学が独自に設定する科目

必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目名	単位	重復	オンライン科目												
選択	3151	発達障がい基礎	2	×													
選択	3120	発達とコミュニケーション	2	×													
選択	3141	保育学	2	×													
選択	3182	保育記録の研究	2	×													
選択	3416	世界の教育と子育て	2	×													
選択	3187	グローバル化と教育	2	×													
選択	3190	学校インターンシップA	2	×													
選択	3541	学校インターンシップB	2	×													
選択	3705	学校インターンシップC	2	×													
選択	3706	学校インターンシップD	2	×													
選択	3707	学校インターンシップE	2	×													
選択	3708	学校インターンシップF	2	×													
選択	3709	学校インターンシップG	2	×													
選択	3710	学校インターンシップH	2	×													
選択	3711	学校インターンシップI	2	×		学校インターンシップI	2	×		学校インターンシップI	2	×					

2026年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 小学校 授業一覧表

対象=2026年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目 (本冊子P44参照)

● 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照
 科目名に●印が付いている科目は【幼稚園課程申請者】が履修可の科目です。
 科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者】が履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講				2025年度開講		2024年度開講		2023年度開講	
		科目[授業]名	単位	重複	オンライン科目	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位
必修	3454	教育原理	2	×							
1科目 選択必修	3424	保育者・教師論[1]	2	×							
	未開講	●■保育者・教師論[2]	2	—							
必修	未開講	初等教育の制度と社会	2	—							
必修	3426	初等教育心理学	2	×							
選択	3401	発達心理学	2	×							
必修	3163	児童への特別支援教育	2	×							
1科目 選択必修	未開講	保育・教育カリキュラム論[1]	2	—							
	未開講	●■保育・教育カリキュラム論[2]	2	—							
必修	未開講	初等道德教育論	2	—							
必修	未開講	初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	—							
1科目 選択必修	3405	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×							
	3406	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×							
必修	未開講	初等生徒指導論	2	—							
必修	未開講	初等教育相談	2	—							
1科目 選択必修	未開講	教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	—							
	未開講	●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	—							
1科目 選択必修	未開講	教育実習(初等)[1]	4	—							
	未開講	●教育実習(初等)[2]	4	—							
1科目 選択必修	未開講	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	—							
	未開講	●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	—							

教科及び教科の指導法に関する科目

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講			
		科目[授業]名	単位	重複	オンライン科目
必修	未開講	国語の内容・構成[1]	2	—	
選択	未開講	社会科の内容・構成1	2	—	
選択	未開講	社会科の内容・構成2	2	—	
必修	3432	算数の内容・構成[1]	2	×	
1科目 選択必修	未開講	理科の内容・構成	2	—	
	未開講	家庭科の内容・構成[1]	2	—	
	休講	家庭科の内容・構成[2]	2	—	
必修	3434	生活科の内容・構成[1]	2	×	
必修	未開講	音楽(楽器演奏1)	2	—	
選択	3436	子どもの造形[1]	2	×	
	3437	子どもの造形[2]	2	×	
選択	3440	●■子どもの体育[1]	2	×	
	3441	子どもの体育[2]	2	×	
選択	3417	小学校英語の研究	2	×	
必修	未開講	初等教科教育法(国語)	2	—	
必修	未開講	初等教科教育法(社会)	2	—	
必修	未開講	初等教科教育法(算数)	2	—	
必修	未開講	初等教科教育法(理科)	2	—	
必修	未開講	初等教科教育法(生活)	2	—	
1科目 選択必修	未開講	初等教科教育法(音楽)[1]	2	—	
	未開講	初等教科教育法(音楽)[2]	2	—	
1科目 選択必修	未開講	初等教科教育法(図画工作)[1]	2	—	
	未開講	初等教科教育法(図画工作)[2]	2	—	
1科目 選択必修	未開講	初等教科教育法(家庭)[1]	2	—	
	未開講	初等教科教育法(家庭)[2]	2	—	
必修	未開講	初等教科教育法(体育)	2	—	
必修	未開講	初等教科教育法(英語)	2	—	

大学が独自に設定する科目

必修/選択必修/選択	コード番号	2026年度開講			
		科目[授業]名	単位	重複	オンライン科目
1科目 選択必修	3187	学校インターンシップA	2	×	
	未開講	学校インターンシップB	4	—	
	未開講	学校インターンシップC	2	—	
	3190	学校インターンシップD	2	○	
	休講	障がい者の学習支援	2	—	
	休講	学校特別支援インターンシップ	2	—	
	3416	グローバル化と教育	2	×	時間別外
	3151	発達障がいの基礎	2	×	
	3182	世界の教育と子育て	2	×	

2027年度以降
順次掲載されていきます。

2026年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 小学校 授業一覧表

対象→2023年度～2025年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目 (本冊子P44参照)

●日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【幼稚園課程申請者】が履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者】が履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択/選択必修	コード番号	2026年度開講			オンライン科目	2025年度開講			2024年度開講			2023年度開講		
		科目 [授 業] 名	単位	重複		科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科目 [授 業] 名	単 位	重 複
必修	3454	教育原理	2	×		教育原理	2		教育原理	2		教育原理	2	
必修	3602	教職概論	2	×		教職概論	2		教職概論	2		教職概論	2	
必修	3455	初等教育の制度と社会	2	×		初等教育の制度と社会	2		初等教育の制度と社会	2		初等教育の制度と社会	2	
1科目 選択必修	3426	初等教育心理学	2	×		初等教育心理学[1]	2		初等教育心理学[1]	2		初等教育心理学[1]	2	
選択	3401	発達心理学	2	×		初等教育心理学[2]	2		初等教育心理学[2]	2		初等教育心理学[2]	2	
必修	3163	児童への特別支援教育	2	×		発達心理学	2		発達心理学	2		発達心理学	2	
必修	3603	教育課程論	2	×		児童への特別支援教育	2		児童への特別支援教育	2		児童への特別支援教育	2	
必修	3456	初等道德教育論	2	×		教育課程論	2		教育課程論	2		教育課程論	2	
必修	3457	初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	×		初等道德教育論[2]	2		初等道德教育論	2		初等道德教育論	2	
1科目 選択必修	3405	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	
1科目 選択必修	3406	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	
必修	3458	初等生徒指導論	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	
必修	3489	初等教育相談	2	×		初等生徒指導論	2		初等生徒指導論	2		初等生徒指導論	2	
1科目 選択必修	3523	教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		初等教育相談	2		初等教育相談	2		初等教育相談	2	
1科目 選択必修	3524	●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×		教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1		教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1		教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	
1科目 選択必修	3525	教育実習(初等)[1]	4	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1		●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1		●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	
1科目 選択必修	3526	●教育実習(初等)[2]	4	×		教育実習事前・事後指導(初等)[3]	1		教育実習事前・事後指導(初等)[3]	1		教育実習事前・事後指導(初等)[3]	1	
1科目 選択必修	3527	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		教育実習(初等)[1]	4		教育実習(初等)[1]	4		教育実習(初等)[1]	4	
1科目 選択必修	3528	●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×		●教育実習(初等)[2]	4		●教育実習(初等)[2]	4		●教育実習(初等)[2]	4	
						●教育実習(初等)[3]	4		●教育実習(初等)[3]	4		●教育実習(初等)[3]	4	
						教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2		教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2		教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	
						●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2		●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2		●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	
						●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[3]	2		●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[3]	2		●■教職・保育実践演習(小・幼・保)[3]	2	

教科及び教科の指導法に関する科目

必修/選択/選択必修	コード番号	2026年度開講			オンライン科目	2025年度開講			2024年度開講			2023年度開講		
		科目 [授 業] 名	単位	重複		科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科目 [授 業] 名	単 位	重 複
必修	3429	国語の内容・構成[1]	2	×		国語の内容・構成[1]	2		国語の内容・構成[1]	2		国語の内容・構成[1]	2	
選択	3430	社会科の内容・構成1	2	×		社会科の内容・構成1	2		社会科の内容・構成1	2		社会科の内容・構成1	2	
選択	3431	社会科の内容・構成2	2	×		社会科の内容・構成2	2		社会科の内容・構成2	2		社会科の内容・構成2	2	
1科目 選択必修	3432	算数の内容・構成[1]	2	×		算数の内容・構成[1]	2		算数の内容・構成[1]	2		算数の内容・構成[1]	2	
1科目 選択必修	3433	理科の内容・構成	2	×		理科の内容・構成	2		理科の内容・構成	2		理科の内容・構成	2	
1科目 選択必修	3438	家庭科の内容・構成[1]	2	×		家庭科の内容・構成[1]	2		家庭科の内容・構成[1]	2		家庭科の内容・構成[1]	2	
1科目 選択必修	3434	休講 家庭科の内容・構成[2]	2	—		家庭科の内容・構成[2]	2		家庭科の内容・構成[2]	2		家庭科の内容・構成[2]	2	
必修	3434	生活科の内容・構成[1]	2	×		生活科の内容・構成[1]	2		生活科の内容・構成[1]	2		生活科の内容・構成[1]	2	
必修	3435	音楽(楽器演奏1)	2	×		音楽(楽器演奏1)	2		音楽(楽器演奏1)[1-2]	2		音楽(楽器演奏1)[1]	2	
選択	3436	子どもの造形[1]	2	×		子どもの造形[1]	2		子どもの造形[1]	2		子どもの造形[1]	2	
選択	3437	子どもの造形[2]	2	×		子どもの造形[2]	2		子どもの造形[2]	2		子どもの造形[2]	2	
選択	3440	●■子どもの体育[1]	2	×		●■子どもの体育[1]	2		●■子どもの体育[1]	2		●■子どもの体育[1]	2	
選択	3441	●■子どもの体育[2]	2	×		●■子どもの体育[2]	2		●■子どもの体育[2]	2		●■子どもの体育[2]	2	
選択	3417	小学校英語の研究	2	×		子どもの体育[3]	2		子どもの体育[3]	2		子どもの体育[3]	2	
必修	3490	初等教科教育法(国語)	2	×		小学校英語の研究	2		小学校英語の研究	2		小学校英語の研究	2	
必修	3491	初等教科教育法(社会)	2	×		初等教科教育法(国語)	2		初等教科教育法(国語)	2		初等教科教育法(国語)	2	
必修	3492	初等教科教育法(算数)	2	×		初等教科教育法(社会)	2		初等教科教育法(社会)	2		初等教科教育法(社会)	2	
必修	3493	初等教科教育法(理科)	2	×		初等教科教育法(算数)	2		初等教科教育法(算数)	2		初等教科教育法(算数)	2	
必修	3494	初等教科教育法(生活)	2	×		初等教科教育法(理科)	2		初等教科教育法(理科)	2		初等教科教育法(理科)	2	
1科目 選択必修	3495	初等教科教育法(音楽)[1]	2	×		初等教科教育法(生活)	2		初等教科教育法(生活)	2		初等教科教育法(生活)	2	
1科目 選択必修	3496	初等教科教育法(音楽)[2]	2	×		初等教科教育法(音楽)[1]	2		初等教科教育法(音楽)[1]	2		初等教科教育法(音楽)[1]	2	
1科目 選択必修	3497	初等教科教育法(図画工作)[1]	2	×		初等教科教育法(音楽)[2]	2		初等教科教育法(音楽)[2]	2		初等教科教育法(音楽)[2]	2	
1科目 選択必修	3498	初等教科教育法(図画工作)[2]	2	×		初等教科教育法(図画工作)[1]	2		初等教科教育法(図画工作)[1]	2		初等教科教育法(図画工作)[1]	2	
1科目 選択必修	3499	初等教科教育法(家庭)[1]	2	×		初等教科教育法(図画工作)[2]	2		初等教科教育法(図画工作)[2]	2		初等教科教育法(図画工作)[2]	2	
1科目 選択必修	3501	休講 初等教科教育法(家庭)[2]	2	—		初等教科教育法(家庭)[1]	2		初等教科教育法(家庭)[1]	2		初等教科教育法(家庭)[1]	2	
必修	3502	初等教科教育法(体育)	2	×		初等教科教育法(家庭)[2]	2		初等教科教育法(家庭)[2]	2		初等教科教育法(家庭)[2]	2	
必修	3502	初等教科教育法(英語)	2	×		初等教科教育法(体育)	2		初等教科教育法(体育)	2		初等教科教育法(体育)	2	
						初等教科教育法(英語)	2		初等教科教育法(英語)	2		初等教科教育法(英語)	2	

大学が独自に設定する科目

必修/選択/選択必修	コード番号	2026年度開講			オンライン科目	2025年度開講			2024年度開講			2023年度開講		
		科目 [授 業] 名	単位	重複		科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科目 [授 業] 名	単 位	重 複	科目 [授 業] 名	単 位	重 複
選択科目	3187	学校インターンシップA	2	×		学校インターンシップA	2		学校インターンシップA	2		学校インターンシップA	2	
選択科目	3188	学校インターンシップB	4	×		学校インターンシップB	4		学校インターンシップB	4		学校インターンシップB	4	
選択科目	3189	学校インターンシップC	2	×		学校インターンシップC	2		学校インターンシップC	2		学校インターンシップC	2	
選択科目	3190	学校インターンシップD	2	○		学校インターンシップD	2		学校インターンシップD	4		学校インターンシップD	4	
選択科目	3416	障がい者の学習支援	2	—		障がい者の学習支援	2		障がい者の学習支援	2		障がい者の学習支援	2	
選択科目	3416	休講 学校特別支援インターンシップ	2	—		学校特別支援インターンシップ	2		学校特別支援インターンシップ	2		学校特別支援インターンシップ	2	
選択科目	3151	グローバルセッションと教育	2	×	時間割外	グローバルセッションと教育	2		グローバルセッションと教育	2		グローバルセッションと教育	2	
選択科目	3151	発達障がい基礎	2	×		発達障がい基礎	2		発達障がい基礎	2		発達障がい基礎	2	
選択科目	3182	世界の教育と子育て	2	×		世界の教育と子育て	2		世界の教育と子育て	2		世界の教育と子育て	2	

2026年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 小学校 授業一覧表

対象＝2020年度～2022年度入学生

教育職員免許法施行規則6条に定める科目 (本冊子P44参照)

●日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)

各科目の履修条件等は「学修の手引き」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【幼稚園課程申請者】が履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者】が履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択	2026年度開講					2025年度開講					2024年度開講					2023年度開講				
	コード番号	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目			
必修	3714	教育原理	2	×		教育原理	2	×		教育原理	2	×		教育原理	2	×				
必修	3712	教職概論	2	×		教職概論	2	×		教職概論	2	×		教職概論	2	×				
必修	3455	初等教育の制度と社会	2	×		初等教育の制度と社会	2	×		初等教育の制度と社会	2	×		初等教育の制度と社会	2	×				
1科目 選択必修	3426	初等教育心理学	2	×		初等教育心理学[1] 初等教育心理学[2]	2	×		初等教育心理学[1] 初等教育心理学[2]	2	×		初等教育心理学[1] 初等教育心理学[2]	2	×				
選択	3401	発達心理学	2	×		発達心理学	2	×		発達心理学	2	×		発達心理学	2	×				
必修	3163	児童への特別支援教育	2	×		児童への特別支援教育	2	×		児童への特別支援教育	2	×		児童への特別支援教育	2	×				
必修	3603	教育課程論	2	×		教育課程論	2	×		教育課程論	2	×		教育課程論	2	×				
必修	3456	初等道徳教育論	2	×		初等道徳教育論	2	×		初等道徳教育論[1]	2	×		初等道徳教育論	2	×				
必修	3457	初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	×		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	×		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	×		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	×				
1科目 選択必修	3405	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[1]	2	×				
1科目 選択必修	3406	初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)[2]	2	×				
必修	3458	初等生徒指導論	2	×		初等生徒指導論	2	×		初等生徒指導論	2	×		初等生徒指導論	2	×				
必修	3489	初等教育相談	2	×		初等教育相談	2	×		初等教育相談	2	×		初等教育相談	2	×				
1科目 選択必修	3523	教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×		教育実習事前・事後指導(初等)[1]	1	×				
1科目 選択必修	3524	●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×		●教育実習事前・事後指導(初等)[2]	1	×				
1科目 選択必修	3525	教育実習(初等)[1]	4	×		教育実習(初等)[1]	4	×		教育実習(初等)[1]	4	×		教育実習(初等)[1]	4	×				
1科目 選択必修	3526	●教育実習(初等)[2]	4	×		●教育実習(初等)[2]	4	×		●教育実習(初等)[2]	4	×		●教育実習(初等)[2]	4	×				
1科目 選択必修	3527	教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×		教職・保育実践演習(小・幼・保)[1]	2	×				
1科目 選択必修	3528	●教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×		●教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×		●教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×		●教職・保育実践演習(小・幼・保)[2]	2	×				

教科及び教科の指導法に関する科目

必修/選択	2026年度開講					2025年度開講					2024年度開講					2023年度開講				
	コード番号	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目	科目 [授業] 名	単位	重複	オンライン科目			
1科目 選択必修	3429	国語の内容・構成[1]	2	×		国語の内容・構成[1]	2	×		国語の内容・構成[1]	2	×		国語の内容・構成[1]	2	×				
1科目 選択必修	3613	●国語の内容・構成[2]	2	×		●国語の内容・構成[2]	2	×		●国語の内容・構成[2]	2	×		●国語の内容・構成[2]	2	×				
選択	3430	社会科の内容・構成1	2	×		社会科の内容・構成1	2	×		社会科の内容・構成1	2	×		社会科の内容・構成1	2	×				
選択	3431	社会科の内容・構成2	2	×		社会科の内容・構成2	2	×		社会科の内容・構成2	2	×		社会科の内容・構成2	2	×				
1科目 選択必修	3432	算数の内容・構成[1]	2	×		算数の内容・構成[1]	2	×		算数の内容・構成[1]	2	×		算数の内容・構成[1]	2	×				
1科目 選択必修	3614	●算数の内容・構成[2]	2	×		●算数の内容・構成[2]	2	×		●算数の内容・構成[2]	2	×		●算数の内容・構成[2]	2	×				
1科目 選択必修	3433	理科の内容・構成	2	×		理科の内容・構成	2	×		理科の内容・構成	2	×		理科の内容・構成	2	×				
1科目 選択必修	3438	家庭科の内容・構成[1]	2	×		家庭科の内容・構成[1]	2	×		家庭科の内容・構成[1]	2	×		家庭科の内容・構成[1]	2	×				
1科目 選択必修	3439	家庭科の内容・構成[2]	2	×		家庭科の内容・構成[2]	2	×		家庭科の内容・構成[2]	2	×		家庭科の内容・構成[2]	2	×				
1科目 選択必修	3713	生活科の内容・構成[1]	2	×		生活科の内容・構成[1]	2	×		生活科の内容・構成[1]	2	×		生活科の内容・構成[1]	2	×				
1科目 選択必修	3615	●生活科の内容・構成[2]	2	×		●生活科の内容・構成[2]	2	×		●生活科の内容・構成[2]	2	×		●生活科の内容・構成[2]	2	×				
1科目 選択必修	3435	音楽(楽器演奏1)	2	×		音楽(楽器演奏1)[1-1]	2	×		音楽(楽器演奏1)[1-1]	2	×		音楽(楽器演奏1)[1]	2	×				
1科目 選択必修	3621	●音楽(楽器演奏1)[2]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[2]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[2]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[2]	2	×				
1科目 選択必修	3622	●音楽(楽器演奏1)[3]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[3]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[3]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[3]	2	×				
1科目 選択必修	3623	●音楽(楽器演奏1)[4]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[4]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[4]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[4]	2	×				
1科目 選択必修	3624	●音楽(楽器演奏1)[5]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[5]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[5]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[5]	2	×				
1科目 選択必修	3625	●音楽(楽器演奏1)[6]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[6]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[6]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[6]	2	×				
1科目 選択必修	3626	●音楽(楽器演奏1)[7]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[7]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[7]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[7]	2	×				
1科目 選択必修	3627	●音楽(楽器演奏1)[8]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[8]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[8]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[8]	2	×				
1科目 選択必修	3628	●音楽(楽器演奏1)[9]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[9]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[9]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[9]	2	×				
1科目 選択必修	3629	●音楽(楽器演奏1)[10]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[10]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[10]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[10]	2	×				
1科目 選択必修	3630	●音楽(楽器演奏1)[11]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[11]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[11]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[11]	2	×				
1科目 選択必修	3631	●音楽(楽器演奏1)[12]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[12]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[12]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[12]	2	×				
1科目 選択必修	3632	●音楽(楽器演奏1)[13]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[13]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[13]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[13]	2	×				
1科目 選択必修	3633	●音楽(楽器演奏1)[14]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[14]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[14]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[14]	2	×				
1科目 選択必修	3634	●音楽(楽器演奏1)[15]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[15]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[15]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[15]	2	×				
1科目 選択必修	3635	●音楽(楽器演奏1)[16]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[16]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[16]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[16]	2	×				
1科目 選択必修	3636	●音楽(楽器演奏1)[17]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[17]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[17]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[17]	2	×				
1科目 選択必修	3637	●音楽(楽器演奏1)[18]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[18]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[18]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[18]	2	×				
1科目 選択必修	3638	●音楽(楽器演奏1)[19]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[19]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[19]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[19]	2	×				
1科目 選択必修	3639	●音楽(楽器演奏1)[20]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[20]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[20]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[20]	2	×				
1科目 選択必修	3640	●音楽(楽器演奏1)[21]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[21]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[21]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[21]	2	×				
1科目 選択必修	3641	●音楽(楽器演奏1)[22]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[22]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[22]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[22]	2	×				
1科目 選択必修	3642	●音楽(楽器演奏1)[23]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[23]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[23]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[23]	2	×				
1科目 選択必修	3643	●音楽(楽器演奏1)[24]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[24]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[24]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[24]	2	×				
1科目 選択必修	3644	●音楽(楽器演奏1)[25]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[25]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[25]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[25]	2	×				
1科目 選択必修	3645	●音楽(楽器演奏1)[26]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[26]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[26]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[26]	2	×				
1科目 選択必修	3646	●音楽(楽器演奏1)[27]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[27]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[27]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[27]	2	×				
1科目 選択必修	3647	●音楽(楽器演奏1)[28]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[28]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[28]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[28]	2	×				
1科目 選択必修	3648	●音楽(楽器演奏1)[29]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[29]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[29]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[29]	2	×				
1科目 選択必修	3649	●音楽(楽器演奏1)[30]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[30]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[30]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[30]	2	×				
1科目 選択必修	3650	●音楽(楽器演奏1)[31]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[31]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[31]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[31]	2	×				
1科目 選択必修	3651	●音楽(楽器演奏1)[32]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[32]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[32]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[32]	2	×				
1科目 選択必修	3652	●音楽(楽器演奏1)[33]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[33]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[33]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[33]	2	×				
1科目 選択必修	3653	●音楽(楽器演奏1)[34]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[34]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[34]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[34]	2	×				
1科目 選択必修	3654	●音楽(楽器演奏1)[35]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[35]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[35]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[35]	2	×				
1科目 選択必修	3655	●音楽(楽器演奏1)[36]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[36]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[36]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[36]	2	×				
1科目 選択必修	3656	●音楽(楽器演奏1)[37]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[37]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[37]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[37]	2	×				
1科目 選択必修	3657	●音楽(楽器演奏1)[38]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[38]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[38]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[38]	2	×				
1科目 選択必修	3658	●音楽(楽器演奏1)[39]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[39]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[39]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[39]	2	×				
1科目 選択必修	3659	●音楽(楽器演奏1)[40]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[40]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[40]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[40]	2	×				
1科目 選択必修	3660	●音楽(楽器演奏1)[41]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[41]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[41]	2	×		●音楽(楽器演奏1)[41]	2					

2026年度「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」授業一覧表

「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」は、実際に教育実習を行う教科と担当教員を確認して登録すること。

注1) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注2) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。網掛け・太字は履修を推奨する学年、「-」は履修不可です。

**対象＝2019年度以降入学生対象 教職課程（中学校・高校） 全学科・全教科 受講者
教育の基礎的理解に関する科目等（「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」）**

実習教科	授業コード	科目 [授業] 名	単位数	種別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オンライン 科目	履修可能学年				担当者	重複履修
								1年	2年	3年	4年		
社会科 地理歴史科 公民科	8547	教育実習事前・事後指導（中高）[社会・地歴・公民3]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	清水雅貴	×	
	8548	教育実習1 [社会3]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8549	教育実習2 [地歴・公民3]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
国語科	8550	教育実習事前・事後指導（中高）[国語]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	津田博幸	×	
	8551	教育実習1 [国語]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8552	教育実習2 [国語]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
英語科	8553	教育実習事前・事後指導（中高）[英語]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	佐藤真理子	×	
	8554	教育実習1 [英語]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8555	教育実習2 [英語]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
美術科	8558	教育実習事前・事後指導（中高）[美術]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	詫摩昭人	×	
	8559	教育実習1 [美術]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8560	教育実習2 [美術]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
保健体育科	8561	教育実習事前・事後指導（中高）[保健体育1]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	制野俊弘	×	
	8562	教育実習1 [保健体育]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8563	教育実習2 [保健体育]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8568	教育実習事前・事後指導（中高）[保健体育2]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	山田満月	×	
	8569	教育実習1 [保健体育]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
	8570	教育実習2 [保健体育]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
商業科	8564	教育実習事前・事後指導（中高）[商業]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	村田大学	×	
	8565	教育実習2 [商業]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	
情報科	8566	教育実習事前・事後指導（中高）[情報]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4	小林稔	×	
	8567	教育実習2 [情報]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	4		×	

※「教育実習」は、取得希望の免許の校種により、単位修得しなければならない授業が異なる。履修登録の際に、注意すること。

取得希望教員免許状	単位修得しなければならない授業
中学校/高等学校 両方	・教育実習事前・事後指導（中高）1単位 ・教育実習1 4単位
中学校のみ	
高等学校のみ	・教育実習事前・事後指導（中高）1単位 ・教育実習2 2単位

2026年度 現代人間学部 人間科学科 保健体育科(中学) 授業一覧表

対象=2020年度以降入学生

教育職員免許法施行規則6 6条に定める科目(本冊子P44参照)

8単位	日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等(本冊子P54参照)

2391単位	教師論(2単位) 教育心理学(2単位) 教育原理(4単位) 特別支援教育概論(2単位) 道徳教育論(2単位) 総合的な学習の時間の指導法(2単位) 特別活動論(2単位) 教育方法論(2単位) ▼情報技術活用論(2単位) 生徒・進路指導論(2単位) 教育相談論(2単位) 教育実習事前・事後指導(中高)(1単位) 教育実習1(4単位) 教職実践演習(中高)(2単位)
--------	---

▼「情報技術活用論」は、2020~2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。
 各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4200番台、4400番台の科目→人間科学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

必修/選択/選択必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講				
	科目名	単位	必修	選択	科目名	単位	必修	選択	科目名	単位	必修	選択	科目名	単位	必修	選択	
31単位	1科目 選択必修	4251	スポーツ方法学実習(器械体操1)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操1)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操1)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操1)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操1)	1	○
		4252	スポーツ方法学実習(器械体操2)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操2)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操2)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操2)	1	○	スポーツ方法学実習(器械体操2)	1	○
	1科目 選択	4249	スポーツ方法学実習(体づくり運動1)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動1)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動1)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動1)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動1)	1	○
		4250	スポーツ方法学実習(体づくり運動2)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動2)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動2)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動2)	1	○	スポーツ方法学実習(体づくり運動2)	1	○
	1科目 選択必修	4255	スポーツ方法学実習(陸上競技1)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技1)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技1)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技1)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技1)	1	○
		4256	スポーツ方法学実習(陸上競技2)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技2)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技2)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技2)	1	○	スポーツ方法学実習(陸上競技2)	1	○
	1科目 選択必修	4241	スポーツ方法学実習(水泳1)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳1)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳1)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳1)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳1)	1	○
		4242	スポーツ方法学実習(水泳2)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳2)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳2)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳2)	1	○	スポーツ方法学実習(水泳2)	1	○
	1科目 選択必修	4239	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス1)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス1)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス1)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス1)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス1)	1	○
		4240	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス2)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス2)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス2)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス2)	1	○	スポーツ方法学実習(ストレッチ&ダンス2)	1	○
		4253	スポーツ方法学実習(柔道1)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道1)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道1)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道1)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道1)	1	○
		4254	スポーツ方法学実習(柔道2)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道2)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道2)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道2)	1	○	スポーツ方法学実習(柔道2)	1	○
		4243	スポーツ方法学実習(バレー1)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー1)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー1)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー1)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー1)	1	○
		4244	スポーツ方法学実習(バレー2)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー2)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー2)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー2)	1	○	スポーツ方法学実習(バレー2)	1	○
		4245	スポーツ方法学実習(バドミントン)	1	○	スポーツ方法学実習(バドミントン)	1	○	スポーツ方法学実習(バドミントン)	1	○	スポーツ方法学実習(バドミントン)	1	○	スポーツ方法学実習(バドミントン)	1	○
		4246	スポーツ方法学実習(サッカー)	1	○	スポーツ方法学実習(サッカー)	1	○	スポーツ方法学実習(サッカー)	1	○	スポーツ方法学実習(サッカー)	1	○	スポーツ方法学実習(サッカー)	1	○
		4247	スポーツ方法学実習(卓球)	1	○	スポーツ方法学実習(卓球)	1	○	スポーツ方法学実習(卓球)	1	○	スポーツ方法学実習(卓球)	1	○	スポーツ方法学実習(卓球)	1	○
		4248	スポーツ方法学実習(テニス)	1	○	スポーツ方法学実習(テニス)	1	○	スポーツ方法学実習(テニス)	1	○	スポーツ方法学実習(テニス)	1	○	スポーツ方法学実習(テニス)	1	○
	1科目 選択必修	4257	スポーツ方法学実習(バスケットボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール1)	1	○
		4258	スポーツ方法学実習(バスケットボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(バスケットボール2)	1	○
		4259	スポーツ方法学実習(フットサル)	1	○	スポーツ方法学実習(フットサル)	1	○	スポーツ方法学実習(フットサル)	1	○	スポーツ方法学実習(フットサル)	1	○	スポーツ方法学実習(フットサル)	1	○
		4260	スポーツ方法学実習(ソフトボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール1)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール1)	1	○
		4261	スポーツ方法学実習(ソフトボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール2)	1	○	スポーツ方法学実習(ソフトボール2)	1	○
必修		4408	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×
		4236	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×
		4238	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×
	4273	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×										
	4215	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×										
	4216	障害児運動支援学	2	×	障害児運動支援学	2	×										
	4220	発育発達論	2	×	健康教育学	2	×										
	4226	表現運動学	2	×	表見運動学	2	×										
1科目 選択	4237	コーチング論	2	×	コーチング論	2	×										
	4274	スポーツマーケティング論	2	×	スポーツマーケティング論	2	×										
生理学(運動生理学を含む。)	4222	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×										
	4233	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×										
衛生学・公衆衛生学	4208	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×										
	4209	衛生学	2	×	衛生学	2	×										
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	4214	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×										
	4223	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×										
	4401	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題A	2	×	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8516	保健体育科教育法1	4	×	保健体育科教育法1	4	×										
	8517	保健体育科教育法2	4	×	保健体育科教育法2	4	×										

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

4単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数 福祉介護論(2単位) 学校経営と学校図書館(2単位) 学校図書館メディアの構成(2単位) 学習指導と学校図書館(2単位) 読書と豊かな人間性(2単位) 情報メディアの活用(2単位)
-----	--

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2026年度 現代人間学部 人間科学科 保健体育科（高校） 授業一覧表

対象=2020年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

25.7単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
--------	--

▼「情報技術活用論」は、2020～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程において「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4200番台、4400番台の科目→人間科学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択/必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講					
		科目コード	科目名	単位	履修														
27単位	必修/選択	4251	スポーツ方法学実習(器械体操1)	1	○														
		4252	スポーツ方法学実習(器械体操2)	1	○														
		4249	スポーツ方法学実習(体づくり運動1)	1	○														
		4250	スポーツ方法学実習(体づくり運動2)	1	○														
		4255	スポーツ方法学実習(陸上競技1)	1	○														
		4256	スポーツ方法学実習(陸上競技2)	1	○														
		4241	スポーツ方法学実習(水泳1)	1	○														
		4242	スポーツ方法学実習(水泳2)	1	○														
		4239	スポーツ方法学実習(ストレッチング&ダンス1)	1	○														
		4240	スポーツ方法学実習(ストレッチング&ダンス2)	1	○														
		4253	スポーツ方法学実習(柔道1)	1	○														
		4254	スポーツ方法学実習(柔道2)	1	○														
		4243	スポーツ方法学実習(バレー1)	1	○														
		4244	スポーツ方法学実習(バレー2)	1	○														
		4245	スポーツ方法学実習(バドミントン)	1	○														
		4246	スポーツ方法学実習(サッカー)	1	○														
		4247	スポーツ方法学実習(卓球)	1	○														
		4248	スポーツ方法学実習(テニス)	1	○														
		4257	スポーツ方法学実習(バスケットボール1)	1	○														
		4258	スポーツ方法学実習(バスケットボール2)	1	○														
		4259	スポーツ方法学実習(フットサル)	1	○														
		4260	スポーツ方法学実習(ソフトボール1)	1	○														
		4261	スポーツ方法学実習(ソフトボール2)	1	○														
		27単位	必修/選択	4408	スポーツ社会学	2	×	4408	スポーツ社会学	2	×	4408	スポーツ社会学	2	×	4408	スポーツ社会学	2	×
				4236	運動学	2	×	4236	運動学	2	×	4236	運動学	2	×	4236	運動学	2	×
				4238	スポーツ心理学	2	×	4238	スポーツ心理学	2	×	4238	スポーツ心理学	2	×	4238	スポーツ心理学	2	×
4273	スポーツマネジメント論			2	×	4273	スポーツマネジメント論	2	×	4273	スポーツマネジメント論	2	×	4273	スポーツマネジメント論	2	×		
4215	健康管理学概論			2	×	4215	健康管理学概論	2	×	4215	健康管理学概論	2	×	4215	健康管理学概論	2	×		
4216	障害児運動支援学			2	×	4216	障害児運動支援学	2	×	4216	障害児運動支援学	2	×	4216	障害児運動支援学	2	×		
4220	発育発達論			2	×	4220	発育発達論	2	×	4220	発育発達論	2	×	4220	発育発達論	2	×		
4226	健康教育学			2	×	4226	健康教育学	2	×	4226	健康教育学	2	×	4226	健康教育学	2	×		
4237	コーチング論			2	×	4237	コーチング論	2	×	4237	コーチング論	2	×	4237	コーチング論	2	×		
4274	スポーツマーケティング論			2	×	4274	スポーツマーケティング論	2	×	4274	スポーツマーケティング論	2	×	4274	スポーツマーケティング論	2	×		
27単位	必修/選択	4222	運動生理学	2	×														
		4233	スポーツトレーニング論	2	×														
27単位	必修/選択	4208	公衆衛生学	2	×														
		4209	衛生学	2	×														
27単位	必修/選択	4214	学校保健学	2	×														
		4223	スポーツ医学と救急処置	2	×														
		4401	現代社会と心身問題A	2	×	4401	現代社会と心身問題B	2	×	4401	現代社会と心身問題A	2	×	4401	現代社会と心身問題B	2	×		
27単位	必修/選択	8516	保健体育科教育法1	4	×														
		8517	保健体育科教育法2	4	×														

大学が独自に設定する科目 (他教科教育法を含めることはできない)

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
------	---

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2026年度 表現学部 総合文化学科 国語科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
3	道徳教育論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位）
9	教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
1	教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習1（4単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
5	
単位	

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

28単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講					2025年度開講		2024年度開講		2023年度開講		
			授業コード	科目[授業]名	単位	必修	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位		
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	必修	5326	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	日本語学序論1	2	日本語学序論1	2	日本語学序論1	2	
		5327	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	日本語学序論2	2	日本語学序論2	2	日本語学序論2	2	
	選択	5336	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	日本語を学ぶ1	2	日本語を学ぶ1	2	日本語を学ぶ1	2	
		5337	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	日本語を学ぶ2	2	日本語を学ぶ2	2	日本語を学ぶ2	2	
		5338	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	日本語を学ぶ3	2	日本語を学ぶ3	2	日本語を学ぶ3	2	
		5339	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	日本語を学ぶ4	2	日本語を学ぶ4	2	日本語を学ぶ4	2	
		5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	日本語のしくみを考える	4	日本語のしくみを考える	4	日本語のしくみを考える	4	
	国文学（国文学史を含む。）	必修	5301	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	日本文学序論1	2	日本文学序論1	2	日本文学序論1	2
			5302	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	日本文学序論2	2	日本文学序論2	2	日本文学序論2	2
		選択	5110	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	日本の文化と文学1	2	日本の文化と文学1	2	日本の文化と文学1	2
5111			日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	日本の文化と文学2	2	日本の文化と文学2	2	日本の文化と文学2	2	
5112			日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	日本の文化と文学3	2	日本の文化と文学3	2	日本の文化と文学3	2	
休講			日本の文化と文学4	2	—	近現代の文学1	2	近現代の文学1	2	近現代の文学1	2	近現代の文学1	2	
休講			近現代の文学1	2	—	近現代の文学2	2	近現代の文学2	2	近現代の文学2	2	近現代の文学1	2	
5314			近現代の文学2	2	○	漢文学の世界	2	漢文学の世界	2	漢文学の世界	2	近現代の文学2	2	
5321			漢文学の世界	2	○	現代文学のメディア・ミックス	4	現代文学のメディア・ミックス	4	現代文学のメディア・ミックス	4	漢文学の世界	2	
5909			現代文学のメディア・ミックス	4	○	日本近現代文学の多様性	4	日本近現代文学の多様性	4	日本近現代文学の多様性	4	現代文学のメディア・ミックス	4	
5914	日本近現代文学の多様性	4	○	古代の文化と言語表現	4	古代の文化と言語表現	4	古代の文化と言語表現	4	日本近現代文学の多様性	4			
5910	古代の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	近世の文化と言語表現	4	近世の文化と言語表現	4	古代の文化と言語表現	4			
5902	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	近世の文化と言語表現	4	近世の文化と言語表現	4	近世の文化と言語表現	4			
漢文学	1科目 選択必修	5201	中国古典のこぼ1	2	○	中国古典のこぼ1	2	中国古典のこぼ1	2	中国古典のこぼ1	2	中国古典のこぼ1	2	
		5202	中国古典のこぼ2	2	○	中国古典のこぼ2	2	中国古典のこぼ2	2	中国古典のこぼ2	2	中国古典のこぼ2	2	
書道（書写を中心とする。）	1科目 選択必修	5324	書道1	2	○	書道1	2	書道1	2	書道1	2	書道1	2	
		5325	書道2	2	○	書道2	2	書道2	2	書道2	2	書道2	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修	8509	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	国語科教育法1	4	国語科教育法1	4	国語科教育法1	4	
		8510	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	国語科教育法2	4	国語科教育法2	4	国語科教育法2	4	

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

4単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
-----	--

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2026年度 表現学部 総合文化学科 国語科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数学、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2575単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
--------	--

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目等」として数えられません。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択/選択必修	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講				
			科目コード	科目〔授業〕名	単位	※履修	科目〔授業〕名	単位	※履修	科目〔授業〕名	単位	※履修	科目〔授業〕名	単位	※履修				
	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	必修	5326	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	○	日本語学序論1	2	○	日本語学序論1	2	○	日本語学序論1	2	○	
			5327	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	○	日本語学序論2	2	○	日本語学序論2	2	○	日本語学序論2	2	○	
		選択	5336	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	
			5337	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	
			5338	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	
			5339	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	
			5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	
			5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	
		国文学（国文学史を含む。）	必修	5301	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○
				5302	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○
	選択		5110	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	
			5111	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	
			5112	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	
	休講	日本の文化と文学4	2	—	近現代の文学1	2	—	近現代の文学1	2	—	近現代の文学1	2	—	日本の文化と文学4	2	—			
	休講	近現代の文学1	2	—	近現代の文学2	2	—	近現代の文学2	2	—	近現代の文学2	2	—	近現代の文学1	2	—			
漢文学	1科目選択必修	5201	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○		
		5202	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○		
	選択	5321	現代文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	現代文学の世界	2	○		
		5909	現代文学のメディア・ミックス	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○		
		5914	日本近現代文学の多様性	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○		
		5910	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○		
		5902	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修	8509	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×		
		8510	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×		

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
------	---

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2026年度 表現学部 総合文化学科 英語科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2 3 9 1 5 1 単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 道徳教育論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習1（4単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
----------------------------------	---

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

28 単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講				
			科目コード	科目「授業」名	単位	単位	科目「授業」名	単位	単位	科目「授業」名	単位	単位	科目「授業」名	単位	単位	科目「授業」名	単位	単位	
英語学	必修		5410	英語学序論1	2	×	英語学序論1	2											
			5411	英語学序論2	2	×	英語学序論2	2											
	選択		5417	語・音・意味をさぐる1	2	○	音声学1	2											
			5418	語・音・意味をさぐる2	2	○	音声学2	2											
			休講	英語のしくみを考える	4	—	英語のしくみを考える	4											
			5908	英語コミュニケーションと文化	4	○	英語コミュニケーションと文化	4											
			休講	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2											
			5420	外国語習得理論	2	×	外国語習得理論	2											
	英語文学	必修		5401	英米文学序論1	2	×	英米文学序論1	2	英米文学序論1	2								
				5402	英米文学序論2	2	×	英米文学序論2	2	英米文学序論2	2								
		選択		5403	英語の古典文芸1	2	○	英語の古典文芸1	2	英語の古典文芸1	2								
				5404	英語の古典文芸2	2	○	英語の古典文芸2	2	英語の古典文芸2	2								
				休講	英語を学ぶ1	2	—	英語を学ぶ4	2	英語を学ぶ4	2								
				休講	英語を学ぶ2	2	—	ことばの詩学	4	ことばの詩学	4								
			休講	英語を学ぶ3	2	—													
			5424	英語を学ぶ4	2	×													
英語コミュニケーション		1セット 選択必修	休講	セット	英語で語る1	2	—	セット	英語で語る1	2	セット	英語で語る1	2	セット	英語で語る1	2	セット	英語で語る1	2
			休講	セット	英語で語る2	2	—	セット	英語で語る2	2	セット	英語で語る2	2	セット	英語で語る2	2	セット	英語で語る2	2
	5427		セット	英語で語る3	2	○	セット	英語で語る3	2	セット	英語で語る3	2	セット	英語で語る3	2	セット	英語で語る3	2	
	5428		セット	英語で語る4	2	○	セット	英語で語る4	2	セット	英語で語る4	2	セット	英語で語る4	2	セット	英語で語る4	2	
	休講		セット	英語文章表現1	2	—	セット	英語文章表現1	2	セット	英語文章表現1	2	セット	英語文章表現1	2	セット	英語文章表現1	2	
	休講		セット	英語文章表現2	2	—	セット	英語文章表現2	2	セット	英語文章表現2	2	セット	英語文章表現2	2	セット	英語文章表現2	2	
異文化理解	必修		5115	日英比較文化論1	2	○	日英比較文化論1	2											
			5116	日英比較文化論2	2	○	日英比較文化論2	2											
	選択		5408	英語圏の文化1	2	×	英語圏の文化1	2											
			5409	英語圏の文化2	2	×	英語圏の文化2	2											
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修		8511	英語科教育法1	4	×	英語科教育法1	4											
	必修		8512	英語科教育法2	4	×	英語科教育法2	4											

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

4 単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
---------	--

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2026年度 表現学部 総合文化学科 英語科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

257単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
-------	--

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講					2025年度開講					2024年度開講					2023年度開講				
			科目〔授業〕名		単位	単	科目〔授業〕名		単位	単	科目〔授業〕名		単位	単	科目〔授業〕名		単位	単				
			標準コード																			
	英語学	必修	5410	英語学序論1	2	×	英語学序論1	2	○	英語学序論1	2	○	英語学序論1	2	○	英語学序論1	2	○				
			5411	英語学序論2	2	×	英語学序論2	2	○	英語学序論2	2	○	英語学序論2	2	○	英語学序論2	2	○				
		選択	5417	語・音・意味をさぐる1	2	○	音声学1	2	○	音声学1	2	○	音声学1	2	○	音声学1	2	○				
			5418	語・音・意味をさぐる2	2	○	音声学2	2	○	音声学2	2	○	音声学2	2	○	音声学2	2	○				
			休講	英語のしくみを考える	4	—	英語のしくみを考える	4	—	英語のしくみを考える	4	—	英語のしくみを考える	4	—	英語のしくみを考える	4	—				
			5908	英語コミュニケーションと文化	4	○	英語コミュニケーションと文化	4	○	英語コミュニケーションと文化	4	○	英語コミュニケーションと文化	4	○	英語コミュニケーションと文化	4	○				
			休講	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—				
			5420	外国語習得理論	2	×	外国語習得理論	2	○	外国語習得理論	2	○	外国語習得理論	2	○	外国語習得理論	2	○				
		英語文学	必修	5401	英米文学序論1	2	×	英米文学序論1	2	○	英米文学序論1	2	○	英米文学序論1	2	○	英米文学序論1	2	○			
				5402	英米文学序論2	2	×	英米文学序論2	2	○	英米文学序論2	2	○	英米文学序論2	2	○	英米文学序論2	2	○			
	選択		5403	英語の古典文芸1	2	○	英語の古典文芸1	2	○	英語の古典文芸1	2	○	英語の古典文芸1	2	○	英語の古典文芸1	2	○				
			5404	英語の古典文芸2	2	○	英語の古典文芸2	2	○	英語の古典文芸2	2	○	英語の古典文芸2	2	○	英語の古典文芸2	2	○				
			休講	英語を学ぶ1	2	—	英語を学ぶ4	2	—	英語を学ぶ4	2	—	英語を学ぶ4	2	—	英語を学ぶ2	2	—				
	休講	英語を学ぶ2	2	—	ことばの詩学	4	—	ことばの詩学	4	—	ことばの詩学	4	—	英語を学ぶ4	2	—						
	休講	英語を学ぶ3	2	—			—			—			—	ことばの詩学	4	—						
5424	英語を学ぶ4	2	×			—			—			—			—							
5903	ことばの詩学	4	○			—			—			—			—							
英語コミュニケーション	1セット 選択必修	休講	セ	「英語で語る1	2	—	セ	「英語で語る1	2	—	セ	「英語で語る1	2	—	セ	「英語で語る1	2	—				
		休講	ト	「英語で語る2	2	—	ト	「英語で語る2	2	—	ト	「英語で語る2	2	—	ト	「英語で語る2	2	—				
		5427	セ	「英語で語る3	2	○	セ	「英語で語る3	2	○	セ	「英語で語る3	2	○	セ	「英語で語る3	2	○				
		5428	ト	「英語で語る4	2	○	ト	「英語で語る4	2	○	ト	「英語で語る4	2	○	ト	「英語で語る4	2	○				
		休講	セ	「英語文章表現1	2	—	セ	「英語文章表現1	2	—	セ	「英語文章表現1	2	—	セ	「英語文章表現1	2	—				
		休講	ト	「英語文章表現2	2	—	ト	「英語文章表現2	2	—	ト	「英語文章表現2	2	—	ト	「英語文章表現2	2	—				
異文化理解	必修	5115	日英比較文化論1	2	○	日英比較文化論1	2	○	日英比較文化論1	2	○	日英比較文化論1	2	○	日英比較文化論1	2	○					
		5116	日英比較文化論2	2	○	日英比較文化論2	2	○	日英比較文化論2	2	○	日英比較文化論2	2	○	日英比較文化論2	2	○					
	選択	5408	英語圏の文化1	2	×	英語圏の文化1	2	○	英語圏の文化1	2	○	英語圏の文化1	2	○	英語圏の文化1	2	○					
		5409	英語圏の文化2	2	×	英語圏の文化2	2	○	英語圏の文化2	2	○	英語圏の文化2	2	○	英語圏の文化2	2	○					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修	8511	英語科教育法1	4	×	英語科教育法1	4	○	英語科教育法1	4	○	英語科教育法1	4	○	英語科教育法1	4	○					
		8512	英語科教育法2	4	×	英語科教育法2	4	○	英語科教育法2	4	○	英語科教育法2	4	○	英語科教育法2	4	○					

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
------	---

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2026年度 表現学部 芸術学科 美術科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数学、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2 3 9 1 5 単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 道徳教育論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習1（4単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
-----------------------------	---

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の6000番台の科目→芸術学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専門科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目コード	科目	授業名	単位	科目コード	科目	授業名	単位	科目コード	科目	授業名	単位	科目コード	科目	授業名	単位
28単位	1科目 選択必修	6201	絵画材料の研究1	4	○	6201	絵画材料の研究1	4	○	6201	絵画材料の研究1	4	○	6201	絵画材料の研究1	4	○
		6205	絵画表現の研究B1	4	○	6205	絵画表現の研究B1	4	○	6205	絵画表現の研究B1	4	○	6205	絵画表現の研究B1	4	○
		6206	絵画表現の研究B2	4	○	6206	絵画表現の研究B2	4	○	6206	絵画表現の研究B2	4	○	6206	絵画表現の研究B2	4	○
		6212	版画技法1(銅版・木版)	4	○	6212	版画技法1(銅版・木版)	4	○	6212	版画技法1(銅版・木版)	4	○	6212	版画技法1(銅版・木版)	4	○
		6215	日本古典技法1(墨で描く)	4	○	6215	日本古典技法1(墨で描く)	4	○	6215	日本古典技法1(墨で描く)	4	○	6215	日本古典技法1(墨で描く)	4	○
		6216	日本古典技法2(にかわで描く)	4	○	6216	日本古典技法2(にかわで描く)	4	○	6216	日本古典技法2(にかわで描く)	4	○	6216	日本古典技法2(にかわで描く)	4	○
	1科目 選択必修	6131	彫刻表現の基礎1	4	○	6131	彫刻表現の基礎1	4	○	6131	彫刻表現の基礎1	4	○	6131	彫刻表現の基礎1	4	○
		6132	彫刻表現の基礎2	4	○	6132	彫刻表現の基礎2	4	○	6132	彫刻表現の基礎2	4	○	6132	彫刻表現の基礎2	4	○
		6207	現代美術の造形技法研究1	4	×					6207	現代美術の造形技法研究1	4	×				
		6208	現代美術の造形技法研究2	4	×					6208	現代美術の造形技法研究2	4	×				
1科目 選択必修	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	
	6410	アートカタログ編集術	2	×	6410	アートカタログ編集術	2	×	6410	アートカタログ編集術	2	×	6410	アートカタログ編集術	2	×	
必修	6312	クラフト造形の基礎	4	×	6312	クラフト造形の基礎	4	×	6312	クラフト造形の基礎	4	×	6312	クラフト造形の基礎	4	×	
	6213	版画技法2(シルクスクリーン・リトグラフ)	4	○	6213	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○	6213	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○	6213	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○	
1科目 選択必修	6108	芸術の基礎理論	2	×	6108	芸術の基礎理論	2	×	6108	芸術の基礎理論	2	×	6108	芸術の基礎理論	2	×	
	6107	現代美術史基礎	2	×	6107	現代美術史基礎	2	×	6107	現代美術史基礎	2	×	6107	現代美術史基礎	2	×	
	6109	日本/世界写真史	2	○	6109	日本/世界写真史	2	○	6109	日本/世界写真史	2	○	6109	日本/世界写真史	2	○	
	6118	現代絵画論基礎1	2	×	6118	現代絵画論基礎1	2	×	6118	現代絵画論基礎1	2	×	6118	現代絵画論基礎1	2	×	
	6112	日本美術史1(上代-近世)	2	×	6112	日本美術史1(上代-近世)	2	×	6112	日本美術史1(上代-近世)	2	×	6112	日本美術史1(上代-近世)	2	×	
	6113	日本美術史2(近代)	2	×	6113	日本美術史2(近代)	2	×	6113	日本美術史2(近代)	2	×	6113	日本美術史2(近代)	2	×	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	必修	8514	美術科教育法1	4	×	8514	美術科教育法1	4	×	8514	美術科教育法1	4	×	8514	美術科教育法1	4	×
	必修	8515	美術科教育法2	4	×	8515	美術科教育法2	4	×	8515	美術科教育法2	4	×	8515	美術科教育法2	4	×

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

4 単 位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
-------------	--

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2026年度 表現学部 芸術学科 美術科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P44 参照）	
8 単位	日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2 単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子 P54 参照）	
2 5 7 5 単位	教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 特別支援教育概論（2 単位） 総合的な学習の時間の指導法（2 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位） ▼情報技術活用論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中・高）（1 単位） 教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中・高）（2 単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の6000番台の科目→芸術学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P54)を参照

免状法施行規則の規定に定める科目区分		2026年度開講					2025年度開講					2024年度開講					2023年度開講				
		科目コード	科目 [授 業] 名	単位	履修	科目コード	科目 [授 業] 名	単位	履修	科目コード	科目 [授 業] 名	単位	履修	科目コード	科目 [授 業] 名	単位	履修				
2 4 単 位	絵画（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6201	絵画材料の研究 1	4	○	6201	絵画材料の研究 1	4	○	6201	絵画材料の研究 1	4	○	6201	絵画材料の研究 1	4	○			
			6205	絵画表現の研究B1	4	○	6205	絵画表現の研究B1	4	○	6205	絵画表現の研究B1	4	○	6205	絵画表現1	4	○			
			6206	絵画表現の研究B2	4	○	6206	絵画表現の研究B2	4	○	6206	絵画表現の研究B2	4	○	6206	絵画表現2	4	○			
		選択	6212	版画技法1（銅版・木版）	4	○	6212	版画技法1（銅版・木版）	4	○	6212	版画技法1（銅版・木版）	4	○	6212	版画技法1（銅版・木版）	4	○			
			6215	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	6215	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	6215	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	6215	日本古典技法1（墨で描く）	4	○			
			6216	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○	6216	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○	6216	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○	6216	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○			
	彫刻	1科目 選択必修	6131	彫刻表現の基礎 1	4	○	6131	彫刻表現の基礎 1	4	○	6131	彫刻表現の基礎 1	4	○	6131	彫刻表現の基礎 1	4	○			
			6132	彫刻表現の基礎 2	4	○	6132	彫刻表現の基礎 2	4	○	6132	彫刻表現の基礎 2	4	○	6132	彫刻表現の基礎 2	4	○			
			6207	現代美術の造形技法研究1	4	×	6207	現代美術の造形技法研究1	4	×	6207	現代美術の造形技法研究1	4	×	6207	現代美術の造形技法研究1	4	×			
		選択	6208	現代美術の造形技法研究2	4	×	6208	現代美術の造形技法研究2	4	×	6208	現代美術の造形技法研究2	4	×	6208	現代美術の造形技法研究2	4	×			
			6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○	6141	文字とレイアウトの基礎	4	○			
			6410	アートカタログ編集術	2	×	6410	アートカタログ編集術	2	×	6410	アートカタログ編集術	2	×	6410	アートカタログ編集術	2	×			
デザイン（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6108	芸術の基礎理論	2	×	6108	芸術の基礎理論	2	×	6108	芸術の基礎理論	2	×	6108	芸術の基礎理論	2	×				
		6107	現代美術史基礎	2	×	6107	現代美術史基礎	2	×	6107	現代美術史基礎	2	×	6107	現代美術史基礎	2	×				
		6109	日本／世界写真史	2	○	6109	日本／世界写真史	2	○	6109	日本／世界写真史	2	○	6109	日本／世界写真史	2	○				
	選択	6118	現代絵画論基礎1	2	×	6118	現代絵画論基礎1	2	×	6118	現代絵画論基礎1	2	×	6118	現代絵画論基礎1	2	×				
		6112	日本美術史 1（上代～近世）	2	×	6112	日本美術史 1（上代～近世）	2	×	6112	日本美術史 1（上代～近世）	2	×	6112	日本美術史 1（上代～近世）	2	×				
		6113	日本美術史 2（近代）	2	×	6113	日本美術史 2（近代）	2	×	6113	日本美術史 2（近代）	2	×	6113	日本美術史 2（近代）	2	×				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修	8514	美術科教育法1	4	×	8514	美術科教育法1	4	×	8514	美術科教育法1	4	×	8514	美術科教育法1	4	×				
	選択	8515	美術科教育法2	4	×	8515	美術科教育法2	4	×	8515	美術科教育法2	4	×	8515	美術科教育法2	4	×				

大学が独自に設定する科目		（他教科教育法を含めることはできない）
12 単 位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位） 学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）	

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習 1（4 単位）を履修すること。

2026年度 経済経営学部 経済学科 社会科(中学) 授業一覧表

対象=2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目 (本冊子P44参照)

8 単 位	日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作(2単位)
-------------	--

教育の基礎的理解に関する科目等 (本冊子P54参照)

2 3 9 1 単 位	教師論(2単位) 教育心理学(2単位) 教育原理(4単位) 特別支援教育概論(2単位) 道徳教育論(2単位) 総合的な学習の時間の指導法(2単位) 特別活動論(2単位) 教育方法論(2単位) ▼情報技術活用論(2単位) 生徒・進路指導論(2単位) 教育相談論(2単位) 教育実習事前・事後指導(中高)(1単位) 教育実習1(4単位) 教職実践演習(中高)(2単位)
----------------------------	---

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P45、54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

4 4 単 位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修 選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講					
			科目名	単 位	履 修 可 否	科目名	単 位	履 修 可 否	科目名	単 位	履 修 可 否	科目名	単 位	履 修 可 否	科目名	単 位	履 修 可 否			
	日本史・ 外国史	必修	8595	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×		
		必修	8597	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×		
		選択	7009	現代経済史I	2	×	現代経済史I	2	×	現代経済史I	2	×	現代経済史I	2	×	現代経済史I	2	×		
			7010	現代経済史I[他学科生]	2	×	現代経済史II	2	×	現代経済史II	2	×	現代経済史II	2	×	現代経済史II	2	×		
			7011	現代経済史II	2	×	日本経済史A	2	×	日本経済史A	2	×	日本経済史A	2	×	日本経済史A	2	×		
			7012	現代経済史II[他学科生]	2	×	日本経済史B	2	×	日本経済史B	2	×	日本経済史B	2	×	日本経済史B	2	×		
			7351	日本経済史A	2	×	経済学史I	2	×	経済学史I	2	×	経済学史I	2	×	経済学史I	2	×		
			7352	日本経済史B	2	×	経済学史II	2	×	経済学史II	2	×	経済学史II	2	×	経済学史II	2	×		
			7325	経済学史I	2	×	農業経済史	2	×	農業経済史	2	×	農業経済史	2	×	農業経済史	2	×		
			7326	経済学史II	2	×	日本政治史	2	×	日本政治史	2	×	日本政治史	2	×	日本政治史	2	×		
			休講	グローバル化の経済史	2	—														
			休講	財政史	2	—														
			7400	農業経済史	2	×														
			7346	日本政治史	2	×														
			地理学 (地誌を含む。)	必修	8598	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×
				必修	8599	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×
		必修		8600	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	
		選択		7333	経済地理	2	×	経済地理	2	×	経済地理	2	×	経済地理	2	×	経済地理	2	×	
		「法学、 政治学」	1セット 選択必修	セ 7312	法学概論I(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論I(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論I(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論I(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論I(国際法を含む)	2	×	
				セ 7313	法学概論II(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論II(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論II(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論II(国際法を含む)	2	×	セ 法学概論II(国際法を含む)	2	×	
セ 7331	政治のシステムA(国際政治を含む)			2	×	セ 政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×	セ 政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×	セ 政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×	セ 政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×			
セ 7332	政治のシステムB(国際政治を含む)			2	×	セ 政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×	セ 政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×	セ 政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×	セ 政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×			
セ 7347	憲法I			2	×	セ 憲法I	2	×	セ 憲法I	2	×	セ 憲法I	2	×	セ 憲法I	2	×			
選択	7348		憲法II	2	×	憲法II	2	×	憲法II	2	×	憲法II	2	×	憲法II	2	×			
	7349		民法A	2	×	民法A	2	×	民法A	2	×	民法A	2	×	民法A	2	×			
	7350		民法B	2	×	民法B	2	×	民法B	2	×	民法B	2	×	民法B	2	×			
	7345		国際関係論	2	×	国際関係論	2	×	国際関係論	2	×	国際関係論	2	×	国際関係論	2	×			
	セ 7001		ミクロ経済学I	2	×	セ ミクロ経済学I	2	×	セ ミクロ経済学I	2	×	セ ミクロ経済学I	2	×	セ ミクロ経済学I	2	×			
「社会学、 経済学」	1セット 選択必修	セ 7003	ミクロ経済学II	2	×	セ ミクロ経済学II	2	×	セ ミクロ経済学II	2	×	セ ミクロ経済学II	2	×	セ ミクロ経済学II	2	×			
		セ 7002	ミクロ経済学I[他学科生]	2	×															
		セ 7004	ミクロ経済学II[他学科生]	2	×															
		セ 7005	マクロ経済学I	2	×	セ マクロ経済学I	2	×	セ マクロ経済学I	2	×	セ マクロ経済学I	2	×	セ マクロ経済学I	2	×			
	選択	セ 7007	マクロ経済学II	2	×	セ マクロ経済学II	2	×	セ マクロ経済学II	2	×	セ マクロ経済学II	2	×	セ マクロ経済学II	2	×			
		セ 7006	マクロ経済学I[他学科生]	2	×															
		セ 7008	マクロ経済学II[他学科生]	2	×															
		7353	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×	農業経済学	2	×	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×			
		7354	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×	資源エネルギー論I	2	×	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×			
		7357	国際経済学	2	×	資源エネルギー論II	2	×	国際経済学	2	×	国際経済学	2	×	国際経済学	2	×			
7358	農業経済学	2	×	環境経済学A	2	×	農業経済学	2	×	農業経済学	2	×	農業経済学	2	×					
7359	資源エネルギー論I	2	×	環境経済学B	2	×	資源エネルギー論I	2	×	資源エネルギー論I	2	×	資源エネルギー論I	2	×					
7360	資源エネルギー論II	2	×	財政学	2	×	資源エネルギー論II	2	×	資源エネルギー論II	2	×	資源エネルギー論II	2	×					
7361	環境経済学A	2	×				環境経済学A	2	×	環境経済学A	2	×	環境経済学A	2	×					
7362	環境経済学B	2	×				環境経済学B	2	×	環境経済学B	2	×	環境経済学B	2	×					
7370	公共経済学	2	×				公共経済学	2	×	公共経済学	2	×	公共経済学	2	×					
休講	財政学	2	—				財政学	2	×	財政学	2	×	財政学	2	×					
「哲学、 倫理学、 宗教学」	必修	8603	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×			
	選択	7404	経済哲学	2	×	経済哲学	2	×	経済哲学	2	×	経済哲学	2	×	経済哲学	2	×			
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)	必修	8507	社会科・歴史科教育法	4	×	社会科・歴史科教育法	4	×	社会科・歴史科教育法	4	×	社会科・歴史科教育法	4	×	社会科・歴史科教育法	4	×			
	必修	8508	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×			

大学が独自に設定する科目 (他教科教育法を含めることはできない)

4 単 位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数 福祉介護論(2単位) 学校経営と学校図書館(2単位) 学校図書館メディアの構成(2単位) 学習指導と学校図書館(2単位) 読書と豊かな人間性(2単位) 情報メディアの活用(2単位)
-------------	--

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2026年度 経済経営学部 経済学科 地理歴史科 (高校) 授業一覧表

対象=2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目 (本冊子P44参照)

8単位	日本国憲法 (2単位) 体育 (2単位) 外国語コミュニケーション (2単位) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 (2単位)
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等 (本冊子P54参照)

2575単位	教師論 (2単位) 教育心理学 (2単位) 教育原理 (4単位) 特別支援教育概論 (2単位) 総合的な学習の時間の指導法 (2単位) 特別活動論 (2単位) 教育方法論 (2単位) ▼情報技術活用論 (2単位) 生徒・進路指導論 (2単位) 教育相談論 (2単位) 教育実習事前・事後指導 (中高) (1単位) 教育実習2 (2単位) 教職実践演習 (中高) (2単位)
--------	---

▼「情報技術活用論」は、2019~2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P45、54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択/修	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講					
			科目コード	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位					
	日本史	必修	8595	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×	
			選択	7351	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2	×
				7352	日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×
				7400	農業経済史		2	×	農業経済史		2	×	農業経済史		2	×	日本政治史		2	×
				7346	日本政治史		2	×	日本政治史		2	×	日本政治史		2	×				
	外国史	必修	8597	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×	
			選択	7009	現代経済史I		2	×	現代経済史I		2	×	現代経済史I		2	×	現代経済史I		2	×
				7010	現代経済史I [他学科生]		2	×	現代経済史II		2	×	現代経済史II		2	×	現代経済史II		2	×
				7011	現代経済史II		2	×	経済学史I		2	×	経済学史I		2	×	経済学史I		2	×
				7012	現代経済史II [他学科生]		2	×	経済学史II		2	×	経済学史II		2	×	経済学史II		2	×
7325				経済学史I		2	×					ソ連経済の歴史と現代ロシア経済		2	×	グローバル化の経済史		2	×	
7326				経済学史II		2	×									ソ連経済の歴史と現代ロシア経済		2	×	
休講				グローバル化の経済史		2	—													
休講	財政史		2	—																
人文地理学・自然地理学	必修	8598	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×		
		選択	8600	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×	
			7333	経済地理		2	×	経済地理		2	×	経済地理		2	×	経済地理		2	×	
地誌	必修	8599	地誌		4	×	地誌		4	×	地誌		4	×	地誌		4	×		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	必修	8507	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×		

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目等」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論 (2単位) 福祉介護論 (2単位) 学校経営と学校図書館 (2単位) 学校図書館メディアの構成 (2単位) 学習指導と学校図書館 (2単位) 読書と豊かな人間性 (2単位) 情報メディアの活用 (2単位)
------	---

※社会と地理歴史の教員免許状を取得する場合は、教育実習1 (4単位) を履修すること。

2026年度 経済経営学部 経済学科 公民科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2 2.5 7.5 単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
-----------------------	--

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→現代人間学部共通科目を参照

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P45、54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

先許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		授業コード	科目[授業]名	単位	備考	授業コード	科目[授業]名	単位	備考	授業コード	科目[授業]名	単位	備考	授業コード	科目[授業]名	単位	備考
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	1セット 選択必修	7312	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	×	7312	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	×	7312	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	×	7312	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	×
		7313	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	×	7313	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	×	7313	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	×	7313	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	×
		7331	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×	7331	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×	7331	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×	7331	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	×
		7332	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×	7332	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×	7332	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×	7332	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	×
	選択	7347	憲法Ⅰ	2	×	7347	憲法Ⅰ	2	×	7347	憲法Ⅰ	2	×	7347	憲法Ⅰ	2	×
		7348	憲法Ⅱ	2	×	7348	憲法Ⅱ	2	×	7348	憲法Ⅱ	2	×	7348	憲法Ⅱ	2	×
		7349	民法A	2	×	7349	民法A	2	×	7349	民法A	2	×	7349	民法A	2	×
		7350	民法B	2	×	7350	民法B	2	×	7350	民法B	2	×	7350	民法B	2	×
		7345	国際関係論	2	×	7345	国際関係論	2	×	7345	国際関係論	2	×	7345	国際関係論	2	×
		7345	国際関係論	2	×	7345	国際関係論	2	×	7345	国際関係論	2	×	7345	国際関係論	2	×
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	1セット 選択必修	7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×	7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×	7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×	7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×
		7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×	7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×	7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×	7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×
		7006	マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	7006	マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	7006	マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	7006	マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×
		7008	マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×	7008	マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×	7008	マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×	7008	マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×
		7353	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×	7353	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×	7353	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×	7353	現代経済理論A(国際経済を含む)	2	×
		7354	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×	7354	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×	7354	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×	7354	現代経済理論B(国際経済を含む)	2	×
	選択	7001	ミクロ経済学Ⅰ	2	×	7001	ミクロ経済学Ⅰ	2	×	7001	ミクロ経済学Ⅰ	2	×	7001	ミクロ経済学Ⅰ	2	×
		7002	ミクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	7002	ミクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	7002	ミクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	7002	ミクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×
		7003	ミクロ経済学Ⅱ	2	×	7003	農業経済学	2	×	7003	国際経済学	2	×	7003	国際経済学	2	×
		7004	ミクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×	7004	資源エネルギー論Ⅰ	2	×	7004	農業経済学	2	×	7004	資源エネルギー論Ⅰ	2	×
		7357	国際経済学	2	×	7357	資源エネルギー論Ⅱ	2	×	7357	資源エネルギー論Ⅱ	2	×	7357	資源エネルギー論Ⅱ	2	×
		7358	農業経済学	2	×	7358	環境経済学A	2	×	7358	資源エネルギー論Ⅱ	2	×	7358	環境経済学A	2	×
		7359	資源エネルギー論Ⅰ	2	×	7359	環境経済学B	2	×	7359	環境経済学A	2	×	7359	環境経済学B	2	×
		7360	資源エネルギー論Ⅱ	2	×	7360	財政学	2	×	7360	環境経済学B	2	×	7360	公共経済学	2	×
7361	環境経済学A	2	×	7361	環境経済学A	2	×	7361	公共経済学	2	×	7361	財政学	2	×		
7362	環境経済学B	2	×	7362	環境経済学B	2	×	7362	財政学	2	×	7362	財政学	2	×		
7370	公共経済学	2	×	7370	公共経済学	2	×	7370	公共経済学	2	×	7370	公共経済学	2	×		
休講	財政学	2	—	休講	財政学	2	—	休講	財政学	2	—	休講	財政学	2	—		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	必修	8603	哲学概論	4	×	8603	哲学概論	4	×	8603	哲学概論	4	×	8603	哲学概論	4	×
		3003	心理学概論	2	×	3003	心理学概論	2	×	3003	心理学概論	2	×	3003	心理学概論	2	×
	選択	7404	経済哲学	2	×	7404	経済哲学	2	×	7404	経済哲学	2	×	7404	経済哲学	2	×
7405		経済倫理	2	×	7405	経済倫理	2	×	7405	経済倫理	2	×	7405	経済倫理	2	×	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	必修	8508	社会科・公民科教育法	4	×	8508	社会科・公民科教育法	4	×	8508	社会科・公民科教育法	4	×	8508	社会科・公民科教育法	4	×

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
------	---

※社会と公民の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2026年度 経済経営学部 経営学科 商業科（高校） 授業一覧表

対象＝2025年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8 単 位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-------------	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2 5 7 単 位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
-----------------------	--

▼「情報技術活用論」の履修について、2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択/必修/選択	2026年度開講				2025年度開講						
			授業コード	科目[授業]名	単位	単位	授業コード	科目[授業]名	単位	単位			
2 4 単 位	商業の 関係科目	1セット 選択必修	7501	セ	基本経営学A	2	×	セ	基本経営学A	2			
			7503	ット	基本経営学B	2	×	ット	基本経営学B	2			
			7502	セ	基本経営学A[他学科生]	2	×						
			7504	ット	基本経営学B[他学科生]	2	×						
				選択	7505		経営基本管理A	2	×		入門簿記A	2	
		7880			経営基本管理B	2	×		企業論Ⅰ	2			
		7507			入門簿記A	2	×		企業論Ⅱ	2			
		7508			入門簿記A[他学科生]	2	×		マーケティング論A	2			
		7807			企業論Ⅰ	2	×		マーケティング論B	2			
		7808			企業論Ⅱ	2	×		現代流通論A	2			
		7809			マーケティング論A	2	×		現代流通論B	2			
		7810			マーケティング論B	2	×		会社法A	2			
		7811			現代流通論A	2	×		会社法B	2			
		7812			現代流通論B	2	×		財務会計論	2			
		7887			会社法A	2	×		会計学	2			
		7888			会社法B	2	×		マーケティング・コミュニケーションⅠ	2			
		7902			財務会計論	2	×		マーケティング・コミュニケーションⅡ	2			
		7901			会計学	2	×		マーケティング・リサーチⅠ	2			
		7893			マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×		マーケティング・リサーチⅡ	2			
		7894			マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×		財務管理論	2			
		7895			マーケティング・リサーチⅠ	2	×		応用簿記B（工業簿記）	2			
		7896			マーケティング・リサーチⅡ	2	×		生産システム論A	2			
		7955			財務管理論	2	×		生産システム論B	2			
		7898			応用簿記B（工業簿記）	2	×						
7959		生産システム論A	2	×									
7960		生産システム論B	2	×									
	職業指導	必修	7889		職業指導	4	×	職業指導	4				
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	必修	8518		商業科教育法	4	×	商業科教育法	4				

2027年度以降
順次掲載され
ていきます。

大学が独自に設定する科目（他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない）

12 単 位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
--------------	---

2026年度 経済経営学部 経営学科 商業科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度～2024年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2 2 5 7 5 単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
-----------------------------	--

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
			標準コード	科目[授業]名	単位	備考	科目[授業]名	単位	備考	科目[授業]名	単位	備考	科目[授業]名	単位	備考	科目[授業]名	単位	備考
2 4 単位	商業の 関係科目	1科目 選択必修	7509	基本経営学	4	×	基本経営学	4		基本経営学	4		基本経営学	4		基本経営学	4	
			7510	基本経営学[他学科生]	4	×												
		選択	7511	経営基本管理	4	×	経営基本管理	4		経営基本管理	4		経営基本管理	4		経営基本管理	4	
			7512	入門簿記	2	×	入門簿記	2		入門簿記	2		入門簿記	2		入門簿記	2	
			7513	入門簿記[他学科生]	2	×	企業論Ⅰ	2		企業論Ⅰ	2		企業論Ⅰ	2		企業論Ⅰ	2	
			7807	企業論Ⅰ	2	×	企業論Ⅱ	2		企業論Ⅱ	2		企業論Ⅱ	2		企業論Ⅱ	2	
			7808	企業論Ⅱ	2	×	マーケティング論A	2		マーケティング論A	2		マーケティング論A	2		マーケティング論A	2	
			7809	マーケティング論A	2	×	マーケティング論B	2		マーケティング論B	2		マーケティング論B	2		マーケティング論B	2	
			7810	マーケティング論B	2	×	現代流通論A	2		現代流通論A	2		現代流通論A	2		現代流通論A	2	
			7811	現代流通論A	2	×	現代流通論B	2		現代流通論B	2		現代流通論B	2		現代流通論B	2	
			7812	現代流通論B	2	×	会社法A	2		会社法A	2		会社法A	2		会社法A	2	
			7887	会社法A	2	×	会社法B	2		会社法B	2		会社法B	2		会社法B	2	
			7888	会社法B	2	×	財務会計論	2		商業簿記	2		商業簿記	2		商業簿記	2	
			7902	財務会計論	2	×	会計学	2		会計学	2		会計学	2		会計学	2	
			7901	会計学	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2		マーケティング・コミュニケーションⅠ	2		マーケティング・コミュニケーションⅠ	2		マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	
			7893	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2		マーケティング・コミュニケーションⅡ	2		マーケティング・コミュニケーションⅡ	2		マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	
			7894	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×	マーケティング・リサーチⅠ	2		マーケティング・リサーチⅠ	2		マーケティング・リサーチⅠ	2		マーケティング・リサーチⅠ	2	
			7895	マーケティング・リサーチⅠ	2	×	マーケティング・リサーチⅡ	2		マーケティング・リサーチⅡ	2		マーケティング・リサーチⅡ	2		マーケティング・リサーチⅡ	2	
			7896	マーケティング・リサーチⅡ	2	×	財務管理論	2		財務管理論	2		財務管理論	2		財務管理論	2	
			7955	財務管理論	2	×	応用簿記B(工業簿記)	2		工業簿記	2		工業簿記	2		工業簿記	2	
			7898	応用簿記B(工業簿記)	2	×	生産システム論A	2		原価計算	2		原価計算	2		原価計算	2	
			7959	生産システム論A	2	×	生産システム論B	2		生産システム論A	2		生産システム論A	2		生産システム論A	2	
			7960	生産システム論B	2	×				生産システム論B	2		生産システム論B	2		生産システム論B	2	
				職業指導	必修	7889	職業指導	4	×	職業指導	4		職業指導	4		職業指導	4	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	必修	8518	商業科教育法	4	×	商業科教育法	4		商業科教育法	4		商業科教育法	4		商業科教育法	4	

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない)

12 単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
----------	---

2026年度 経済経営学部 経営学科 情報科（高校） 授業一覧表

対象＝2024年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

2575単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
--------	--

▼「情報技術活用論」の履修について、2026年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

開講科目「コンピュータ[A]」～「コンピュータ[C]」は卒業までにいずれか一つ履修可能とされていますが、教職課程情報科を履修している場合、初回授業にて担当教員から許可を得た者に限り、二つ以上履修可能とします。

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択/選択必修	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				科目[授業]名	単位
			科目コード	科目[授業]名	単位	履修	科目コード	科目[授業]名	単位	履修	科目コード	科目[授業]名	単位	履修		
24単位	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	必修	7818	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×			2027年度以降 順次掲載されていきます。	
			選択	7907	情報メディア産業論	2	×	情報メディア産業論	2	×	情報メディア産業論I	2	×			
				7908	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×			
				7909	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×			
				7963	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×			
				7964	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×			
	コンピュータ・情報処理	1科目 選択必修	7819	コンピュータ[A]	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×				
			7820	コンピュータ[B]	2	×										
			7821	コンピュータ[C]	2	×										
			7822	コンピュータリテラシー基礎1	2	×	コンピュータリテラシー基礎1	2	×	コンピュータリテラシー基礎1	2	×				
	情報システム	必修	7905	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×				
			7860	情報処理技術論I-2	2	×	情報処理技術論I-2	2	×	情報処理技術論I-2	2	×				
		選択	7910	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×				
			7911	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×				
情報通信ネットワーク	必修	7906	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×					
		7862	情報処理技術論II-2	2	×	情報処理技術論II-2	2	×	情報処理技術論II-2	2	×					
マルチメディア表現・マルチメディア技術	必修	7903	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×					
		7904	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×					
	選択	7824	コンピュータリテラシー応用I	2	×	コンピュータリテラシー応用I	2	×	コンピュータリテラシー応用I	2	×					
		7802	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修	8519	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×					

大学が独自に設定する科目（他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない）

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
------	---

2026年度 経済経営学部 経営学科 情報科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度～2023年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P44参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 数学、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P54参照）

25 75 単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
----------------	--

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

開講科目「コンピュータ[A]」～「コンピュータ[C]」は卒業までにいずれか一つ履修可能とされていますが、教職課程情報科を履修している場合で、初回授業にて担当教員から許可を得た者に限り、二つ以上履修可能とします。

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P54)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

28 単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分 必修/選択 必修/選択	2026年度開講				2025年度開講				2024年度開講				2023年度開講			
		科目コード	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位	履修
情報社会・情報倫理	必修	7818	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×
	選択	7963	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×
		7964	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	1科目 選択必修	7819	コンピュータ[A]	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×
		7820	コンピュータ[B]	2	×												
		7821	コンピュータ[C]	2	×												
	選択	7822	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×
情報システム（実習を含む。）	必修	7905	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×
	必修	7860	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×
	必修	7910	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×
	必修	7911	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	必修	7906	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×
	選択	7862	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	必修	7903	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×
	必修	7904	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×
	選択	7824	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×
		7802	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×
		7803	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×
情報と職業	必修	7907	情報メディア産業論	2	×	情報メディア産業論	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×
	必修	7909	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×
	選択	7908	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	必修	8519	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない）

12 単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
----------	---

諸資格課程

諸資格課程専用科目（8000番台科目）

授業一覧表 P 73

図書館司書課程

スケジュールと受講上の注意..... P 74

授業一覧表（2015～2026年度入学生） P 75

学校図書館司書教諭課程

スケジュールと受講上の注意..... P 76

授業一覧表（2015～2026年度入学生） P 77

社会教育主事課程

スケジュールと受講上の注意..... P 78

授業一覧表（2020～2026年度入学生） P 79

授業一覧表（2015～2019年度入学生） P 80

旧規則による科目の単位と新規則による科目の単位の

読替えについて（2019年度以前入学生） P 81

博物館学芸員課程

スケジュールと受講上の注意..... P 84

授業一覧表（2015～2026年度入学生） P 85

2026年度 諸資格課程専用科目 授業一覧表

下表と各課程の授業一覧表を照らし合わせて、履修計画を立てること。

- 注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。
- 注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜時・教室で、対面にて履修者を決定します。
- 注3) 種別「条件付」とは……あらかじめ指定する科目の単位修得が必要などの条件がある授業です。授業の備考欄を参照のこと。
- 注4) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。
- 注5) 人数制限(抽選)優先条件とは…「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。
- 注6) オンライン科目「時間割外」とは…全授業回の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日5限までに課題提出する授業です。
- 注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「-」は履修不可です。

対象＝図書館司書課程・学校図書館司書教諭課程・社会教育主事課程・博物館学芸員課程履修者

授業コード	科目[授業]名	単位数	種別	人数制限(抽選)優先条件	開講期(形態)	オンライン科目	履修可能学年				担当者	重複履修	備考
							1年	2年	3年	4年			
8101	図書館概論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	山口 洋	×	
8102	図書館制度・経営論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	山口 洋	×	
8103	図書館情報技術論	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	松井 勇起	×	
8104	図書館サービス概論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	山口 洋	×	
8105	情報サービス論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	中嶋 康	×	
8106	読書と豊かな人間性	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	石澤 伊久美	×	
8107	情報サービス演習1	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	—	3	4	山口 洋	×	
8108	情報サービス演習2	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	—	3	4	山口 洋	×	
8109	図書館情報資源概論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	山口 洋	×	
8110	情報資源組織論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	山口 洋	×	
8111	情報資源組織演習	4	条件付	—	通年	—	—	—	3	4	山口 洋	×	「情報資源組織論」修得者のみ履修可。 図書館司書課程授業一覧表の注記を参照
8112	図書館サービス・情報資源特論	2	なし	—	後期	—	—	—	3	4	中嶋 康	×	
8113	図書館実習	2	条件付許可	—	通年	—	—	—	3	4	山口 洋	×	図書館司書課程授業一覧表の注記を参照 4月許可手続き期間に履修者決定
8116	学校経営と学校図書館	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	稲生 知子	×	
8117	学校図書館メディアの構成	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	松田 ユリ子	×	
8118	学習指導と学校図書館	2	なし	—	前期	時間割外	—	2	3	4	渡辺 光輝	×	
8119	情報メディアの活用	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	中嶋 康	×	
8131	現代の子どもと社会教育	4	なし	—	通年	—	—	2	3	4	打越 雅祥	○	
8132	生涯学習支援論	4	なし	—	通年	—	—	2	3	4	草野 滋之	○	
8133	社会教育経営論	4	なし	—	通年	—	—	2	3	4	江頭 晃子	○	
8123	社会教育実習	4	条件付許可	—	通年	—	—	—	3	4	角田 季美枝	○	社会教育主事課程授業一覧表の注記を参照。 4月許可手続き期間に履修者決定
8124	博物館概論	2	なし	—	前期	—	1	2	3	4	菅沼 万里絵	×	
8125	博物館経営論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	半田 滋男	×	
8126	博物館資料論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	福島 さとみ	×	
8127	博物館展示論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	佐藤 実	×	
8128	博物館教育論	2	なし	—	後期	—	—	2	3	4	大高 幸	×	
8129	博物館情報・メディア論	2	なし	—	前期	—	—	2	3	4	佐藤 実	×	
8130	博物館実習	3	条件付クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	半田 滋男	×	博物館学芸員課程授業一覧表の注記を参照 開拓有資格者のみ履修可能

※上記の科目は全て卒業所要単位数に含まれない。履修計画の際には充分注意すること。

図書館司書課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
履修条件に基づき必要な単位を修得する。	
図書館司書課程資格判定対象者名簿掲示（卒業年次生のみ）	12月
図書館司書課程資格判定結果掲示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
図書館司書課程資格単位取得証明書交付（判定合格者のみ）	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。図書館司書課程の受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

(1) 必修科目

法規上の必修科目はもれなく履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

例：法規上の科目「児童サービス論」を履修するために、本学授業科目「読書と豊かな人間性」の単位を修得する。

「図書館概論」は8000番台科目（資格課程専用科目）ですが、1年次から履修することができます。2年次以上で履修する場合は、司書課程の受講申請が必要です。

(2) 選択科目

法規上の選択科目について、2科目以上の履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

例1：法規上の科目「図書館基礎特論」と「図書館実習」を履修するために、本学授業科目「アートカタログ編集術」と「図書館実習」を単位修得する。

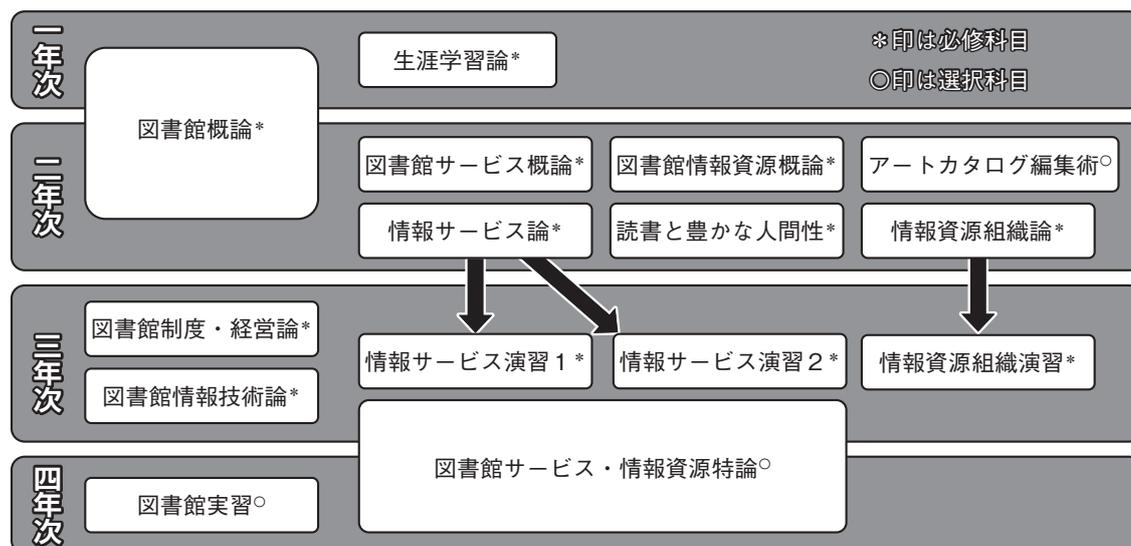
例2：法規上の科目「図書館サービス特論」と「図書館情報資源論」を履修するために本学授業科目「図書館サービス・情報資源特論」を単位修得する。

(3) 卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

(4) 推奨履修プラン

下図は推奨する履修の授業・タイミングを示したものです。実際の履修可能学年や履修条件は授業一覧表を確認してください。



① 「図書館概論」は基礎となる科目のため、1年次または2年次に履修することを推奨します。

② 「情報サービス論」を履修していないと「情報サービス演習1、2」の授業を理解することは、かなり難しくなります。途中でくじけたりしないためにも、「情報サービス演習1、2」を履修する前に、「情報サービス論」を履修することを強く推奨します。

2026年度 図書館司書課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は図書館司書課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4000番台の科目→人間科学科授業一覧表を参照

下表の6000番台の科目→芸術学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P73)を参照

対象＝全学科【2015年度～2026年度入学生・新規則による科目】

法規上の科目		2026年度開講				備考	2025年度開講		2024年度開講		2023年度開講	
		科目名	授業コード	科目[授業]名	単 位		重 複	科目[授業]名	単 位	科目[授業]名	単 位	科目[授業]名
必修科目	基礎科目	生涯学習概論	4018	生涯学習論	2	○	生涯学習論	2	生涯学習論	2	生涯学習論	2
		図書館概論	8101	図書館概論	2	×	図書館概論	2	図書館概論	2	図書館概論	2
		図書館制度・経営論	8102	図書館制度・経営論	2	×	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2
		図書館情報技術論	8103	図書館情報技術論	2	×	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2
	図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	8104	図書館サービス概論	2	×	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2
		情報サービス論	8105	情報サービス論	2	×	情報サービス論	2	情報サービス論	2	情報サービス論	2
		児童サービス論	8106	読書と豊かな人間性	2	×	読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2
		情報サービス演習	8107	情報サービス演習1	2	×	情報サービス演習1	2	情報サービス演習1	2	情報サービス演習1	2
	8108		情報サービス演習2	2	×	情報サービス演習2	2	情報サービス演習2	2	情報サービス演習2	2	
	資源に関する科目	図書館情報資源概論	8109	図書館情報資源概論	2	×	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2
		情報資源組織論	8110	情報資源組織論	2	×	注1	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	情報資源組織論
情報資源組織演習		8111	情報資源組織演習	4	×	注1	情報資源組織演習	4	情報資源組織演習	4	情報資源組織演習	4
選択科目	3より2科目以上選択(7科目)注	図書館基礎特論	6410	アトカカグ 編集術	2	×	アトカカグ 編集術	2	アトカカグ 編集術	2	アトカカグ 編集術	2
		図書館サービス特論	8112	図書館サービス・情報資源特論	2	×	図書館サービス・情報資源特論	2	図書館サービス・情報資源特論	2	図書館サービス・情報資源特論	2
	図書館情報資源特論											
	図書・図書館史	/										
	図書館施設論	/										
	図書館総合演習	/										
	図書館実習	8113	図書館実習	2	×	注2	図書館実習	2	図書館実習	2	図書館実習	2

注1：法規上の科目「情報資源組織演習」の履修は法規上の科目「情報資源組織論」を取得済みであることを条件とする。

注2：法規上の科目「図書館実習」の履修は正規生のみ認める（科目等履修生は注3を参照の上、資格要件を満たすこと）。
なお、法規上の科目「図書館概論」、「図書館制度・経営論」、「図書館情報技術論」、「図書館サービス概論」を取得済みであることを条件とする。

注3：選択科目は、「法規上の科目」より2科目以上選択すること。
（例：本学授業科目「図書館サービス・情報資源特論」（2単位）を単位修得すると、法規科目「図書館サービス特論」と「図書館情報資源特論」の2科目を取得する。）

学校図書館司書教諭課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
教職課程に必要な単位を履修する。	
学校図書館司書教諭課程に必要な単位を修得する。	
学校図書館司書教諭資格判定対象者名簿掲示（卒業年次生のみ）	12月
学校図書館司書教諭資格判定結果掲示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
教育職員免許状交付 （卒業後の手続き）	3月
学校図書館司書教諭講習課程書類審査手続き	7月
学校図書館司書教諭講習修了証書交付	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。学校図書館司書教諭課程の受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

（1）受講条件

本学では小学校、中学校または高等学校の教職課程を受講申請した者のみに、学校図書館司書教諭課程の受講申請を認めています。また、卒業後、学校図書館司書教諭講習課程書類審査手続きの対象となるのは、教育職員免許状を交付された者に限ります。

（2）卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

（3）その他

学校図書館司書教諭に関する科目以外に「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」および「図書館概論」の履修を推奨します。

2026年度 学校図書館司書教諭課程 授業一覧表

資格課程で開講している科目のうち、下表の科目は学校図書館司書教諭課程の科目として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P73)を参照

対象=全学科(2015～2026年度入学生)

学校図書館司書教諭に関する科目（学校図書館司書教諭講習規程第3条に基づく）							
法規上の科目		授業 コード	2026年度開講			2023～2025年度開講	
科 目 名			科 目 [授 業] 名	単 位	重 複	科 目 [授 業] 名	単 位
必 修 科 目	学校経営と学校図書館	8116	学校経営と学校図書館	2	×	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	8117	学校図書館メディアの構成	2	×	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	8118	学習指導と学校図書館	2	×	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	8106	読書と豊かな人間性	2	×	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	8119	情報メディアの活用	2	×	情報メディアの活用	2

社会教育主事課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
履修条件に基づき必要な単位を修得する。	
社会教育主事資格判定対象者名簿掲示（卒業年次生のみ）	12月
社会教育主事資格判定結果掲示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
社会教育主事資格単位取得証明書交付（判定合格者のみ）	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。社会教育主事課程受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

(1) 必修科目

法規上の必修科目はもれなく履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目はどの区分から選択しても構いません。

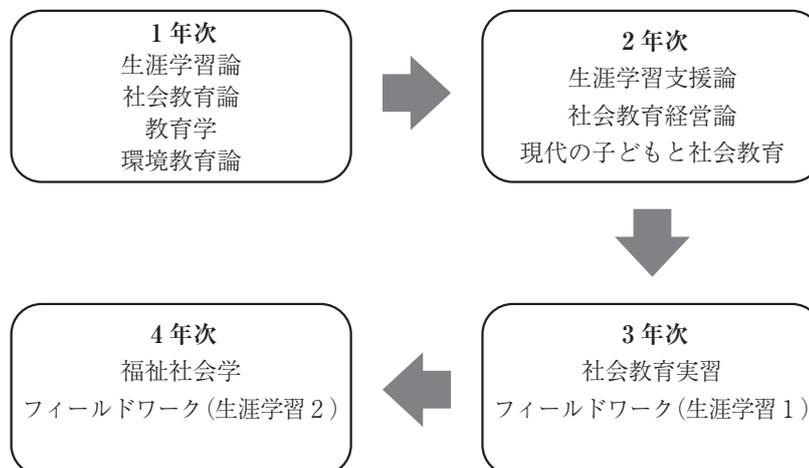
(3) 卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

(4) 履修例

- ①「社会教育論」は「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」の単位修得者のみ履修が可能です。「社会教育論」を履修する前に、必ず「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」を修得してください。
- ②新旧の課程にかかわらず、「生涯学習支援論」、「社会教育経営論」、「現代の子どもと社会教育」、「社会教育実習」の全科目を修得することを強く推奨します。
- ③法規上の科目「社会教育特講（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」は全分野をまんべんなく履修することを強く推奨します。

●履修例(新課程：2020年度以降入学生対象)



2026年度 社会教育主事課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は社会教育主事課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の1001～1099番の科目→共通教養課程授業一覧表を参照

下表の3101～3999番の科目→心理教育学科授業一覧表を参照

下表の4001～4999番の科目→人間科学科授業一覧表を参照

下表の7000番台の科目→経済学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P73)を参照

科目名に●印が付いている科目は【2020年度入学生のみ】対象となる科目です。

科目名に◆印が付いている科目は【2021年度以降入学生のみ】対象となる科目です。

対象＝全学科【2020年度～2026年度入学生・新規則による科目】

社会教育主事に関する科目(社会教育主事講習等規程第11条に基づく)												
法規上の科目		2026年度開講				備考	2025年度開講		2024年度開講		2023年度開講	
科目名	授業コード	科目[授業]名	単 位	履修	科目[授業]名		単 位	科目[授業]名	単 位	科目[授業]名	単 位	
必修科目	生涯学習概論	4018	生涯学習論	2	○	生涯学習論	2	生涯学習論	2	生涯学習論	2	
		4026	社会教育論	2	○	社会教育論	2	社会教育論	2	社会教育論	2	
	生涯学習支援論	8132	生涯学習支援論	4	○	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4	
	社会教育経営論	8133	社会教育経営論	4	○	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4	
	社会教育実習	8123	社会教育実習	4	○	注1	社会教育実習	4	社会教育実習	4	社会教育実習	4
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目												
選択科目	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	8131	現代の子どもと社会教育	4	○	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4	
8単位以上 選択必修	社会教育特講	3411	環境教育論	2	○	環境教育論	2	環境教育論	2	環境教育論	2	
		4320	現代の家族	2	×			現代の家族	2	現代の家族	2	
		4313	現代社会とジェンダーA	2	×		現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーA	2		
		4314	現代社会とジェンダーB	2	×		現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	
		休講	◆福祉社会学	2	—		福祉社会学A	2			福祉社会学A	
							福祉社会学B	2				
		4022	◆生命の政治学	2	×				生命の政治学	2		
		4403	障害・健常を考えるA	2	×				障害・健常を考えるA	2		
		休講	障害・健常を考えるB	2	—		障害・健常を考えるB	2			障害・健常を考えるB	
		8101	図書館概論	2	×		図書館概論	2	図書館概論	2	図書館概論	
		8104	図書館サービス概論	2	×		図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	
		8124	博物館概論	2	×		博物館概論	2	博物館概論	2	博物館概論	
		8125	博物館経営論	2	×		博物館経営論	2	博物館経営論	2	博物館経営論	
		8128	博物館教育論	2	×		博物館教育論	2	博物館教育論	2	博物館教育論	
		4612	●身体環境共生論演習8[岩本]	4	○		身体環境共生論演習8	4	身体環境共生論演習9	4	身体環境共生論演習9	
		4034	◆人間科学論演習6	4	○		人間科学論演習6	4	人間科学論演習6	4	人間科学論演習6	
		4027	フィールドワーク(生涯学習1)	2	○		フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドワーク(生涯学習1)	
		4028	フィールドワーク(生涯学習2)	2	○		フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドワーク(生涯学習2)	
		3004	教育学	2	×		教育学	2	教育学	2		
		3150	老年期の心理学	2	×		老年期の心理学	2	老年期の心理学	2	老年期の心理学	
1048	手話の世界	4	×		手話の世界	4	手話の世界	4	手話の世界			
1049	点字の世界	2	×		点字の世界	2	点字の世界	2	点字の世界			
7347	憲法I	2	×		憲法I	2	憲法I	2	憲法I			
7348	憲法II	2	×		憲法II	2	憲法II	2	憲法II			

注1: (2023年度以降入学生対象)「社会教育実習」の履修は「生涯学習論」「社会教育論」「生涯学習支援論」「社会教育経営論」の単位を修得済みであることを条件とする。

★新規則により、社会教育主事課程を修了した者は「社会教育士(養成課程)」の称号を得ることができます。

2026年度 社会教育主事課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は社会教育主事課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の1001～1099番の科目→共通教養課程授業一覧表を参照

下表の3101～3999番の科目→心理教育学科授業一覧表を参照

下表の4001～4999番の科目→人間科学科授業一覧表を参照

下表の7000番台の科目→経済学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P73)を参照

対象＝全学科【2015～2019年度入学生・旧規則による科目】

法規上の科目		2026年度開講				2025年度開講		2024年度開講		2023年度開講		
科目名		授業コード	科目[授業]名	単位	重複	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	
必修科目	生涯学習概論	4018	生涯学習論	2	○	生涯学習論	2	生涯学習論	2	生涯学習論	2	
		4026	社会教育論	2	○	社会教育論	2	社会教育論	2	社会教育論	2	
	社会教育計画	8133	社会教育経営論	4	○	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4	
1科目 4単位 以上 選択必修	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	8131	現代の子どもと社会教育	4	○	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4	
		8123	社会教育実習	4	○	社会教育実習	4	社会教育実習	4	社会教育実習	4	
3科目	社会教育特講Ⅰ	8132	生涯学習支援論	4	○	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4	
		3411	環境教育論	2	○	環境教育論	2	環境教育論	2	環境教育論	2	
		4320	現代の家族	2	×			現代の家族	2	現代の家族	2	
		4313	現代社会とジェンダーA	2	×	現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーA	2			
		4314	現代社会とジェンダーB	2	×	現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2	
								福祉社会学A	2		福祉社会学A	2
										福祉社会学B	2	
		4403	障害・健常を考えるA	2	×			障害・健常を考えるA	2			
休講	障害・健常を考えるB	2	一	障害・健常を考えるB	2				障害・健常を考えるB	2		
12単位以上 選択必修	社会教育特講Ⅱ	8101	図書館概論	2	×	図書館概論	2	図書館概論	2	図書館概論	2	
		8104	図書館サービス概論	2	×	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	
		8124	博物館概論	2	×	博物館概論	2	博物館概論	2	博物館概論	2	
		8125	博物館経営論	2	×	博物館経営論	2	博物館経営論	2	博物館経営論	2	
		8128	博物館教育論	2	×	博物館教育論	2	博物館教育論	2	博物館教育論	2	
		4612	身体環境共生論演習8[岩本]	4	○	身体環境共生論演習8	4	身体環境共生論演習9	4	身体環境共生論演習9	4	
		4027	フィールドワーク(生涯学習1)	2	○	フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドワーク(生涯学習1)	2	
		4028	フィールドワーク(生涯学習2)	2	○	フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドワーク(生涯学習2)	2	
社会教育特講Ⅲ	3004	教育学	2	×	教育学	2	教育学	2				
	3150	老年期の心理学	2	×	老年期の心理学	2	老年期の心理学	2	老年期の心理学	2		
	1048	手話の世界	4	×	手話の世界	4	手話の世界	4	手話の世界	4		
	1049	点字の世界	2	×	点字の世界	2	点字の世界	2	点字の世界	2		
	7347	憲法Ⅰ	2	×	憲法Ⅰ	2	憲法Ⅰ	2	憲法Ⅰ	2		
	7348	憲法Ⅱ	2	×	憲法Ⅱ	2	憲法Ⅱ	2	憲法Ⅱ	2		

①2020年4月から施行された「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」により、新課程が開設されました。2019年度以前入学生は移行措置により旧課程が適用されますが、卒業するまでに、上記の「社会教育主事に関する科目」のうち、社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得してください。修得していない場合には、新課程での要件が適用されます。

②2019年度以前に修得した「社会教育計画」は法規上の「社会教育計画」に、「社会教育特講演習1」、「社会教育特講演習2」は法規上の「社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目」として認められます。

③旧規則により、社会教育主事課程を修了すると同時に「社会教育士(養成課程)」の称号取得を希望する者は卒業するまでに「社会教育経営論」および「生涯学習支援論」の単位を修得してください。

2019年度以前入学生対象

旧規則による科目の単位と新規則による科目の単位の読替えについて

「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」（平成30年文部科学省令第5号）が、2018（平成30）年2月28日に公布され、2020年（令和2）年4月1日から施行されました。これに伴い、施行日（2020年4月1日）以降は、本学でも改正後の社会教育主事課程（以下、新課程）を開設しました。

原則として、2019年度以前入学生（一部を除きます。「※」を確認してください）は、改正前の社会教育主事課程（以下、旧課程）が適用され、旧課程に定められた科目の単位を修得することで社会教育主事任用資格を取得することができます。履修方法は、①旧課程適用者《2019年度から2020年度へ継続した学籍で大学に在学する者の場合（2019年度以前入学生）》の欄を参照してください。

※ただし、2019年度以前入学生でも、2019年度から2020年度以降へ継続した学籍のない者（下記に該当する者）の場合、旧課程受講の有無に関わらず新課程が適用されますので注意してください。

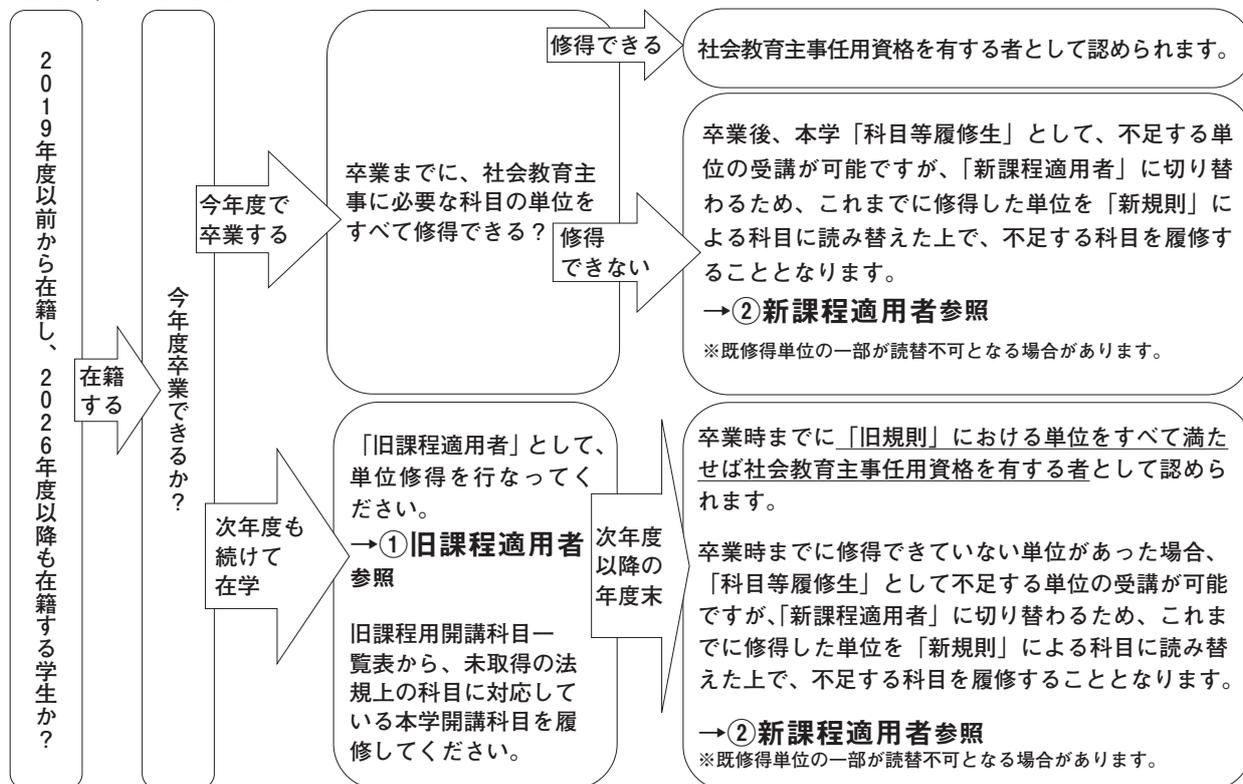
施行日（2020年4月1日）以後に、

- ・編入学した者
- ・転入学した者
- ・再入学した者
- ・科目等履修生として在籍している者

②新課程適用者となります

新課程適用者の履修方法は②新課程適用者《2019年度から2020年度以降へ継続した学籍のない者の場合（編入学生、転入学生、再入学生、科目等履修生）》の欄を参照してください。

●代表的なケースについてのチャート



※社会教育主事課程を修了し、かつ卒業までに「生涯学習支援論」および「社会教育経営論」の単位を修得した場合、「社会教育士（養成課程）」を名乗ることができます。

①旧課程適用者

2019年度から2020年度以降へ継続した学籍で大学に在学する者の場合（2019年度以前入学生）

「旧規則」で、「社会教育主事となる資格に必要なすべての単位」を修得してください。
但し【1】～【3】のとおり取り扱います。

旧規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
必修	生涯学習概論	生涯学習論講義	2単位
		社会教育論	2単位
	社会教育計画	社会教育計画	4単位
4単位以上 選択必修科目	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育特講演習1	4単位
		社会教育特講演習2	4単位
		社会教育実習	4単位
12単位以上 3単位以上 選択必修科目	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	
	社会教育特講Ⅰ		
	社会教育特講Ⅱ		
	社会教育特講Ⅲ		

【1】施行日（2020（令和2）年4月1日）までに「旧規則」による「社会教育主事に関する科目」のすべての単位を修得した者は、2020（令和2）年4月1日以降は「新規則」の社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得したものとみなす。〔附則4項〕

【2】2020（令和2）年4月1日前から引き続き在籍し、卒業するまでに「旧規則」による「社会教育主事に関する科目」のすべての単位を修得した者は、「新規則」の社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得したものとみなす。〔附則5項〕

【3】2020（令和2）年4月1日前から引き続き在籍し、卒業するまでに、次の表の左欄に掲げる新規則による科目の単位を修得した者は、右欄に掲げる旧規則による科目の単位を修得したものとみなす。〔附則6項〕

新規則による科目					旧規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数			法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
1	生涯学習概論	生涯学習論 / 生涯学習論講義	2単位	→	1	生涯学習概論	生涯学習論講義	2単位
2		社会教育論	2単位	→	2		社会教育論	2単位
3	社会教育経営論	社会教育経営論	4単位	→	3	社会教育計画	社会教育計画	4単位
4	生涯学習支援論	生涯学習支援論	4単位	→	4	社会教育特講Ⅰ	生涯学習支援論	4単位
5	社会教育実習	社会教育実習	4単位	→	5	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育実習	4単位
6	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	現代の子どもと社会教育	4単位	→	6		現代の子どもと社会教育	4単位
7	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照		→	7	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	
8				社会教育特講Ⅰ				
9				社会教育特講Ⅱ				
				→	9	社会教育特講Ⅲ		

なお、2020年度以降本学では旧課程適用者に対しても、新規則による授業科目を配置した。この科目の単位を修得した場合、新課程適用者に切り替わった場合にも、「新規則による科目」として有効となる。なお、2019年度以前に修得した「旧規則による科目」は、概論、特講、演習・実習・課題研究のみ「新規則による科目」として既修得単位とみなす。〔附則7項〕

②新課程適用者

2019年度から2020年度以降へ継続した学籍のない者の場合
(編入学生、転入学生、再入学生、科目等履修生)

「新規則」で、「社会教育主事となる資格に必要なすべての単位」を修得してください。
但し【1】～【2】のとおり取り扱います。

新規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
必修	生涯学習概論	生涯学習論／生涯学習論講義	2単位
		社会教育論	2単位
	生涯学習支援論	生涯学習支援論	4単位
	社会教育経営論	社会教育経営論	4単位
	社会教育実習	社会教育実習	4単位
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目			
選択	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	現代の子どもと社会教育	4単位
8単位以上 選択必修	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	

【1】 施行日（2020（令和2）年4月1日）までに「旧規則」による「社会教育主事に関する科目」のすべての単位を修得していれば、「新規則」の社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得したものとみなす。〔附則4項〕

【2】 施行日（2020（令和2）年4月1日）前に、次の表の左欄に掲げる旧規則による科目の単位を修得した者が、2020（令和2）年4月1日以降に新たに社会教育主事となる資格を得ようとする場合には、既に修得した旧科目の単位は、右欄に掲げる当該科目に相当する新規則による科目の単位を修得したものとみなす。〔附則7項〕

旧規則による科目					新規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数			法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
1	生涯学習概論	生涯学習論講義	2単位	→	1	生涯学習概論	生涯学習論／生涯学習論講義	2単位
2		社会教育論	2単位	→	2		社会教育論	2単位
3	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育実習	4単位	→	3	社会教育実習	社会教育実習	4単位
4		社会教育特講演習1	4単位	→	4	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目		
		社会教育特講演習2	4単位	→			社会教育特講演習2	4単位
5	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照		→	5	社会教育特講	2020年度以降の「資格課程の手びき」参照	
6	社会教育特講Ⅰ			→	6			
7	社会教育特講Ⅱ 社会教育特講Ⅲ			→	7			

博物館学芸員課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
履修条件に基づき必要な単位を修得する。	
次年度博物館実習参加有資格者名簿揭示	12月
博物館実習先開拓	名簿確認後
博物館実習開始	5月～
博物館実習日誌提出（「博物館実習」担当教員）	実習後の授業時
博物館学芸員資格判定対象者名簿揭示（卒業年次生のみ）	12月
博物館学芸員資格判定結果揭示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
博物館学芸員資格単位取得証明書交付（判定合格者のみ）	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。博物館学芸員課程受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

(1) 必修科目

法規上の必修科目はもれなく履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

例：法規上の科目「生涯学習概論」を履修するために、本学授業科目「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義I）」の単位を修得する。

「博物館概論」は8000番台科目（資格課程専用科目）ですが、1年次から履修することができます。2年次以上で履修する場合は、博物館学芸員課程の受講申請が必要です。

(2) 博物館実習

博物館実習先の開拓は学生本人が行います。ただし、「博物館実習開拓有資格者名簿」に記載されている者に限ります。詳細は教学支援課窓口で確認してください。

(3) 履修推奨科目

本課程の受講生は「履修推奨科目」の履修を推奨します。

(4) 卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

2026年度 博物館学芸員課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は博物館学芸員課程の科目として数えられます。各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4000番台の科目→心理教育学科／人間科学科授業一覧表を参照

下表の6000番台の科目→芸術学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P 73)を参照

対象＝全学科【2015～2026年度入学生・新規則による科目】

博物館学芸員に関する科目（博物館法施行規則第1条に基づく）								
法規上の科目		必修/ 選択必修	2026年度開講				2023～2025年度開講	
科目名			授業コード	科目〔授業〕名	単位	重複	備考	科目〔授業〕名
必修科目	生涯学習概論	必修	4018	生涯学習論	2	○		下記資料を参照してください ・2023年度～2025年度学修の手びき ・2023年度～2025年度資格課程の手びき
	博物館概論	必修	8124	博物館概論	2	×		
	博物館経営論	必修	8125	博物館経営論	2	×		
	博物館資料論	必修	8126	博物館資料論	2	×		
	博物館資料保存論	選択必修科目	6401	文化財と保存科学	2	×		
			6201	絵画材料の研究1	4	○		
			6202	絵画材料の研究2	4	×		
	博物館展示論	必修	8127	博物館展示論	2	×		
	博物館教育論	必修	8128	博物館教育論	2	×		
博物館情報・メディア論	必修	8129	博物館情報・メディア論	2	×			
博物館実習	必修	8130	博物館実習	3	×	注1		

注1：法規上の科目「博物館実習」の履修は「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」の単位を修得済みであることを条件とする。

本課程の受講生は「履修推奨科目」の中から、各自の専門分野に従って適宜履修することが望ましい。

履修推奨科目	心理教育学科専門科目	社会教育論
	人間科学科専門科目	社会教育論、現代社会とNGO・NPO
	現代人間学部共通科目	文化人類学、生態学
	総合文化学科専門科目	映像文化論1・2、ポピュラー・カルチャー、中国の歴史と文化
	芸術学科専門科目	芸術の基礎理論、近現代デザイン史基礎、現代デザインの基礎、クリエイティブ特別講義
	経済学科専門科目	行政学、公共経済学、公共政策A・B
	経営学科専門科目	NPO論、経営戦略論、競争戦略論、マーケティング論A・B、組織論A・B
	共通教養科目	歴史と遺跡A、生活のなかのデザイン、日常からの科学論A・B、イメージの歴史、生物の多様性A・B・C

memo

資格課程の手びき 2026

編集・発行／和光大学教学支援課

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1
TEL 044-989-7496

